

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月25日

大東建託健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	57750
組合名称	大東建託健康保険組合
形態	単一
業種	不動産業、物品賃貸業

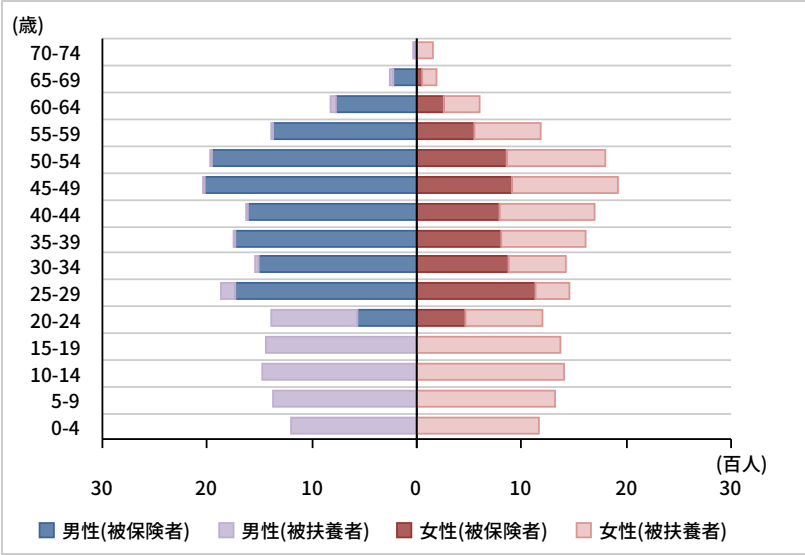
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	20,520名 男性65.7% (平均年齢42.83歳) * 女性34.3% (平均年齢40.48歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	37,719名	-名	-名
適用事業所数	19カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	1,033カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	94%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	48	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	12,235 / 14,704 = 83.2 %	
	被保険者	10,429 / 10,751 = 97.0 %	
	被扶養者	1,806 / 3,953 = 45.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	1,133 / 2,354 = 48.1 %	
	被保険者	1,131 / 2,241 = 50.5 %	
	被扶養者	2 / 113 = 1.8 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	24,290	1,184	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	43,400	2,115	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	89,450	4,359	-	-	-	-
	疾病予防費	705,320	34,372	-	-	-	-
	体育奨励費	3,000	146	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	100	5	-	-	-	-
	小計 …a	865,560	42,181	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	13,800,946	672,561	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	6.27		-	-	-	-

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	573人	25～29	1,728人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,507人	35～39	1,728人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,607人	45～49	2,027人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,951人	55～59	1,378人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	764人	65～69	230人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	19人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	469人	25～29	1,123人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	877人	35～39	806人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	783人	45～49	913人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	860人	55～59	557人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	250人	65～69	55人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	6人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,196人	5～9	1,367人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,470人	15～19	1,432人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	823人	25～29	136人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	34人	35～39	17人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	15人	45～49	14人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	14人	55～59	21人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	51人	65～69	37人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	20人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,163人	5～9	1,327人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,398人	15～19	1,371人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	745人	25～29	334人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	540人	35～39	800人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	900人	45～49	1,010人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	945人	55～59	626人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	345人	65～69	140人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	149人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 人数構成では45～49歳および50～54歳がボリュームゾーンとなっている。
- 被保険者は男性割合が66.9%でやや多く、被扶養者は女性割合が64.0%となっている。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・社員健康診断では、労働安全衛生法の健診項目に加え、健保の疾病予防事業として、年齢・性別により、複数のがん検査を一体的に実施している。さらに、事業主は、健診の結果、再検査となった社員に対する二次検査受診率100%達成に取り組んでいる。
- ・特定保健指導は、事業主との協働により、一定レベルの受診率となっている。今後は、指導開始時期の早期化・被扶養者への指導に着手する。
- ・被扶養者健診については、当組合の扶養率の高さから、受診率向上を最重要事業の一つとして位置づけ、受診率向上施策を実施していく。
- ・疾病予防を中心に幅広く保健事業を展開しているが、更なる参加率（利用率）向上のため、組合員への周知を強化する必要がある。
- ・母体企業人事部門内に「安全衛生課」が設置されているため、産業界・保健師・健保組合と連携して、健康推進を図れる体制となっている。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康ポータルサイト
保健指導宣伝	日々の記録チャレンジ
保健指導宣伝	健診結果改善チャレンジ
保健指導宣伝	健康クイズ
保健指導宣伝	電話健康相談
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知
保健指導宣伝	生活習慣病重症化予防通知
保健指導宣伝	腎疾患リスク通知
保健指導宣伝	重複受診・多剤処方通知
疾病予防	被保険者健康診断
疾病予防	被扶養者健康診断
疾病予防	無料歯科健診
疾病予防	口腔リスクチェック
疾病予防	脳ドック補助金
疾病予防	禁煙外来治療補助金
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	医薬品販売
体育奨励	ウォーキングラリー
その他	被扶養者電話健康指導

事業主の取組

1	定期健康診断の実施（二次検査、保健指導含む）
2	ストレスチェック
3	休職者への復職支援
4	新入社員研修、新入社員フォロー研修
5	メンタルヘルス研修
6	長時間労働者面談、面談後の保健指導
7	インフルエンザ等の感染症予防対策

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定保健指導事業 保健指導宣伝	3,4,5	特定保健指導	生活習慣病改善に関する指導の実施により、特定保健指導該当率の減少を図る。	全て	男女	40～74	基準該当者	34,225	【実施状況】 ※会計年度ベース 動機付け支援：953名 積極的支援：1,666名 【実施時期】 初回面談：1月～3月 継続支援：4月～6月	■事業主と連携し、就業時間内にICT面談を実施（新型コロナウイルス感染防止対策・テレワーク推進）	■経年対象者の指導内容マンネリ化 ■ICT面談による辞退率上昇	5
	2,5	健康ポータルサイト	健康ポータルサイト上での医療費通知・補助金申請・健診結果閲覧、その他健康チャレンジ等の実施により、利便性・健康リテラシーの向上を図る。	全て	男女	18～74	被保険者	13,089	【実施状況】 登録率：78.6% 【実施時期】 通年	■補助金メニューの充実化 ■各種健康イベントの実施 ■未登録者に対する再登録案内実施	■PC環境のない事業所への対応	4
	2,5	日々の記録チャレンジ	自身の健康状態把握による健康意識向上を目指す。	全て	男女	17～74	被保険者	--	--	--	--	--
	2,3	健診結果改善チャレンジ	目標を持った健診受診・自発的な健康増進意識の向上を目指す。	全て	男女	17～74	被保険者	0	【実施状況】 全ユーザーに対し健康状態に応じたポイントを付与 【実施時期】 7～6月	■インセンティブポイント付与 ■付与ポイントの随時見直し	■周知不足	3
	2	健康クイズ	健康に関するクイズへの回答を通じ、楽しみながらヘルスリテラシーを向上させる。	全て	男女	18～74	被保険者	--	--	--	--	--
	5,6	電話健康相談	事業の十分な周知により相談件数増加を図り、心身の健康維持・増進を目指す。	全て	男女	0～74	加入者全員	3,489	【実施状況】 健康相談件数（電話）：263件 メンタルヘルス相談件数（電話・面談）：58件 【実施時期】 通年	■母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	■周知不足 ■効果検証の実施	2
	2	医療費通知	医療費全体の理解を通じた健康管理に対する意識向上及び医療費適正化	全て	男女	0～74	加入者全員	1,056	【実施状況】 毎月、健康ポータルサイトの全ユーザーに対し通知 【実施時期】 通年	■健康ポータルサイトによるWEBでの閲覧	■紙面による配布希望者への対応	2
	7	ジェネリック医薬品差額通知	調剤費の抑制	全て	男女	17～74	基準該当者	1,482	【実施状況・時期】 被保険者：WEB通知 被扶養者：封書通知	■WEB・封書での通知	■WEB閲覧率向上	4
	3,4	生活習慣病重症化予防通知	生活習慣病リスクのある者に対する受診勧奨により、放置による重症疾患受療率を下げる。	全て	男女	18～74	基準該当者	9	【実施状況・時期】 被保険者：WEB通知 被扶養者：封書通知	■WEB・封書双方での通知	■タイムリーな効果検証 ■WEB通知の閲覧率向上	5
	3,4	腎疾患リスク通知	将来慢性腎臓病（CKD）を発症するリスクの高い方に医療機関の受診を勧奨することにより、人工透析が必要となる慢性腎不全等の重大疾病を予防する。	全て	男女	0～74	基準該当者	31	【実施状況・時期】 3月：52名	メールによる受診勧奨	受診勧奨後の受診までの積極的なフォロー不足	4
2,4	重複受診・多剤処方通知	医療機関への重複受診及び重複・多剤処方を防ぐことで、健康上の悪影響を防止する。	全て	男女	0～74	加入者全員	1,148	【実施状況・時期】 9月：71名	重複受診・多剤処方に関する同意メール提出による意識の向上	被扶養者に関する改善へのアプローチ	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
疾病予防	3,4	被保険者健康診断	がん検診を含めた健診受診により、疾病の早期発見・早期治療につなげる。	全て	男女	18～74	被保険者	414,735	【実施状況】 対象者数：19,658名 受診者数：18,785名 【実施時期】 4～12月	■事業主の定期健康診断と併せての実施 ■就業時間内での実施	■コロナ禍での医療機関予約・検査項目検討	4
	3	被扶養者健康診断	がん検診を含めた健診受診により、疾病の早期発見・早期治療につなげる。	全て	男女	16～74	被扶養者,任意継続者	49,197	【実施状況】 対象者数：6,015名 受診者数：2,388名 【実施時期】 6～3月	■被保険者経由での案内冊子送付 ■WEB申込 ■WEB申込サイトの機能拡充	■コロナ禍による受診控え	3
	3	無料歯科健診	歯科健診受診により異常放置を防止し、医療費抑制を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	95	【実施状況】 受診者：26名 【実施時期】 通年	■お知らせ配信による周知	■周知不足 ■対象者を選定しての受診勧奨	4
	3,4	口腔リスクチェック	口腔内を清潔・健康に保つことで、口腔内の疾患（むし歯・歯周病）予防や生活習慣病をはじめ全身の健康増進を図る。	全て	男女	18～74	被保険者	0	【実施状況】 実施者：1,040名 ハイリスク者：257名 ハイリスク者の受診率：49.0% 【実施時期】 4～6月（4/8～6/10）	■インセンティブポイント付与 ■お知らせ配信による受診勧奨	■周知不足	5
	3	脳ドック補助金	脳ドック受診の推奨により、脳関連疾患罹患・重症化を防ぐ。	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者	1,516	【実施状況】 補助人数：85名 【実施時期】 通年	■健康ポータルサイトによるWEB申請	■周知不足	5
	5	禁煙外来治療補助金	禁煙外来治療に対する補助金制度、事業主と協働による禁煙取組みにより、喫煙率を減少させる。	全て	男女	20～74	被保険者	27	【実施状況】 補助人数：2名 【実施時期】 通年	■健康ポータルサイトによるWEB申請	■周知不足	4
	3	インフルエンザ予防接種補助金	インフルエンザ集団感染に伴う従業員の労働力損失を防ぐ。	全て	男女	0～64	加入者全員	15,862	【実施状況】 被保険者：4,375名 被扶養者：3,621名 【実施時期】 10～12月	■就業時間内での接種が可能 ■健康ポータルサイトによるWEB申請	■コロナ禍での感染防止によりインフルエンザ予防接種の需要低下	5
	8	医薬品販売	安価での医薬品斡旋によりセルフメディケーションを推奨し、薬剤費の増額を防ぐ。	全て	男女	18～74	被保険者	17,219	【実施状況・時期】 ①6月：1,845名 ②10月：1,829名 ③2月：2,219名	■斡旋価格での販売に加え、健保組合での一部補助 ■WEB申込 ■禁煙促進商品の販売	■加入者のセルフメディケーション意識向上	4
体育奨励	5	ウォーキングラリー	チーム戦を含むキャンペーンの実施により、運動習慣の定着化を図る	全て	男女	6～74	被保険者	3,762	【実施状況】 参加者：1,062名 達成者：554名 【実施時期】 10～12月（10/5～12/3）	■お知らせ配信による周知 ■ユーザビリティへのこだわり ■UI/UXの改善	■周知不足 ■基盤アプリ登録率	4
その他	3,4,5	被扶養者電話健康指導	面談実施による健康支援により、一人当たり医療費の低下を図る。	全て	男女	60～73	その他	2,187	【実施状況】 対象者：499名 受診者：209名 【実施時期】 ①7～8月 ②2～3月	・毎年の継続架電によるリピーター確保 ・被保険者経由での指導勧奨	昨今の特殊詐欺等を懸念した電話に対する嫌悪感払拭	4

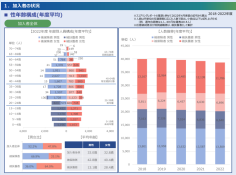

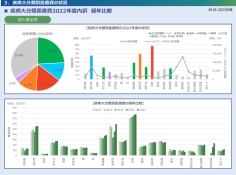
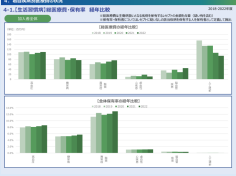

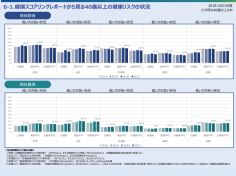
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

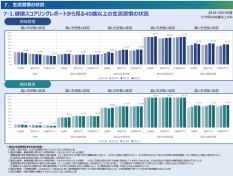
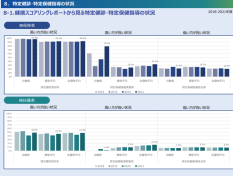
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断の実施（二次検査、保健指導含む）	労働安全衛生法に基づく実施 生活習慣病やメンタルヘルス等に関する個別指導	被保険者	男女	18～65	健診・二次検査：実施率 100%（休職者を除く） 特定保健指導：6月～翌3月まで実施、約1800名に対し実施	・全員が受診完了するまで、未受診者に対する受診督促を行っている ・社員の安全配慮義務として、二次検査の受診を必須としている ・就業時間中に実施、全国の支店へ産業医・保健師が出向いての実施	・本社・支店の巡回健診で受診せず、医療機関にて健診実施する社員が2割弱いる。健診費用だけでなく、結果到着の遅延にも繋がる。 ・異常値を放置し、健康上ハイリスクで勤務している者もいるため、出勤基準など更なる対応が必要	有
ストレスチェック	セルフケア（個人の気付き）と職場環境改善	被保険者	男女	18～65	実施率 95.1%（休職者等を除く）	・高ストレス者への個別支援（必要な人にキャリアカウンセリング実施）、全員へ学習支援ツールの提供 ・支店長・部門長に当社独自の組織レポートを返却し、部下に説明してもらう	2016年12月の法改正に向けた準備	無
休職者への復職支援	職場との連携による、円滑な復職への支援	被保険者	男女	18～65	随時実施 復職面談、復職後の半年間は定期フォロー	・休職中からの支援が確立している ・職場復帰支援プログラムが定着している	再休職とならないよう、確実な復職への支援の継続	無
新入社員研修、新入社員フォロー研修	社会人としての生活リズムと心理テストを通して、体調管理の基礎を学ぶ	被保険者	男女	18～28	・4月～5月まで実施、毎年約400名程度 ・各部門からの依頼による、毎年12回程度実施	・入社初期から社員に関われる ・本社や外部研修会場で実施 ・各職種や教育部門と協議し、内容を変えている	・実施時期を各部署に配慮直前に検討中 ・実施時間が短い	無
メンタルヘルス研修	職位に応じて、メンタルヘルスの知識、安全配慮、昇進時の体調管理について学ぶ	被保険者	男女	18～65	年間2テーマ実施（各7回程度） セルフケア・ラインケア、安全配慮に関する内容、未受講者へDVD配布	・多くの社員が受講できるよう回数を多く開催 ・各職種や教育部門と協議し、会社の特性を加味した内容	実施時間が短い	無
長時間労働者面談、面談後の保健指導	労働安全衛生法に基づき実施 脳、心臓血管疾患、メンタル不調の予防に関する個別指導	被保険者	男女	18～65	一定時間以上残業した社員全員に、体調確認のアンケートを実施。希望者及び統括産業医が必要と認めたものに産業医面談実施 必要時、体調確認のアンケート未回答者や産業医面談予定が実現されなかった社員へフォローを実施	・50人以上の支店には支店産業医が毎月巡視し、その際に実施 ・50人未満の支店、本社は統括産業医が面談 ・産業医は月に一度だが、保健師は常駐しているため、次回産業医巡視時まで、メールや電話による対応が可能。	毎月体調確認アンケートの対象者になる社員が多く、働き方、業務改善など職場の取り組みが必須 社員の中には、長時間労働予防の重要性を理解できていない者もあり、啓蒙教育が必要	無
インフルエンザ等の感染症予防対策	感染拡大の予防	被保険者	男女	18～65	インフルエンザシーズン前より全社員に向け注意喚起、全国の拠点情報をリアルタイムに吸い上げ、社員本人及びその同居の家族の罹患状況を把握、同時多発支店には指導、介入	各拠点のキーパーソン（衛生管理者）と連携	報告の遅い拠点からのスムーズな情報発信の促進 発症者の少ない拠点の成功要因分析	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		1. 加入者の状況【加入者構成の分析】	加入者構成の分析	-
イ		2. 医療費の状況【医療費・患者数分析】	医療費・患者数分析	-
ウ		3. 疾病大分類別医療費の状況【医療費・患者数分析】	医療費・患者数分析	-
エ		4. 着目疾病別医療費の状況【医療費・患者数分析】	医療費・患者数分析	-
オ		5. 医療費適正化の状況【後発医薬品分析】	後発医薬品分析	-
カ		6. 健康リスクの状況【健康リスク分析】	健康リスク分析	-

キ		7. 生活習慣の状況【健康リスク分析】	健康リスク分析	-
ク		8. 特定健診・特定保健指導の状況【特定健診分析】	特定健診分析	-

1. 加入者の状況

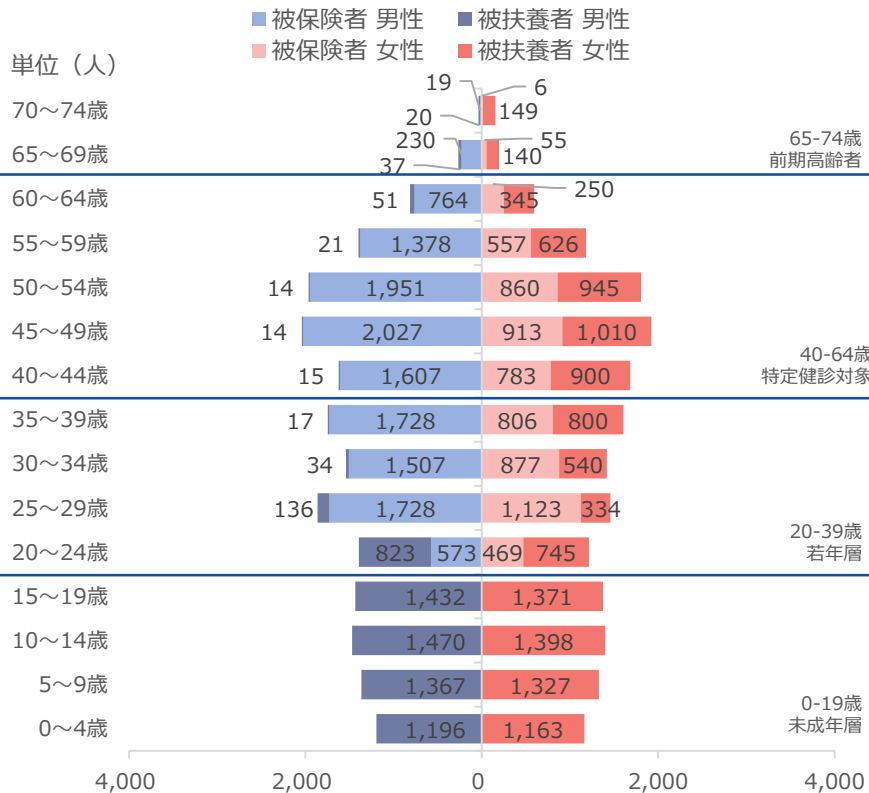
■ 性年齢構成(年度平均)

2018-2022年度

※スコアリングレポートの基準と併せて2022年4月断面の記号から算出
 ※人数は月単位の在籍期間に応じた人数で算出。小数点以下は切り上げ方式
 (例. 通年在籍者は1人、6か月在籍者は0.5人)
 ※任意継続者及び特例退職者は、被扶養者として集計

加入者全体

【2022年度 年齢別人員構成(年度平均)】



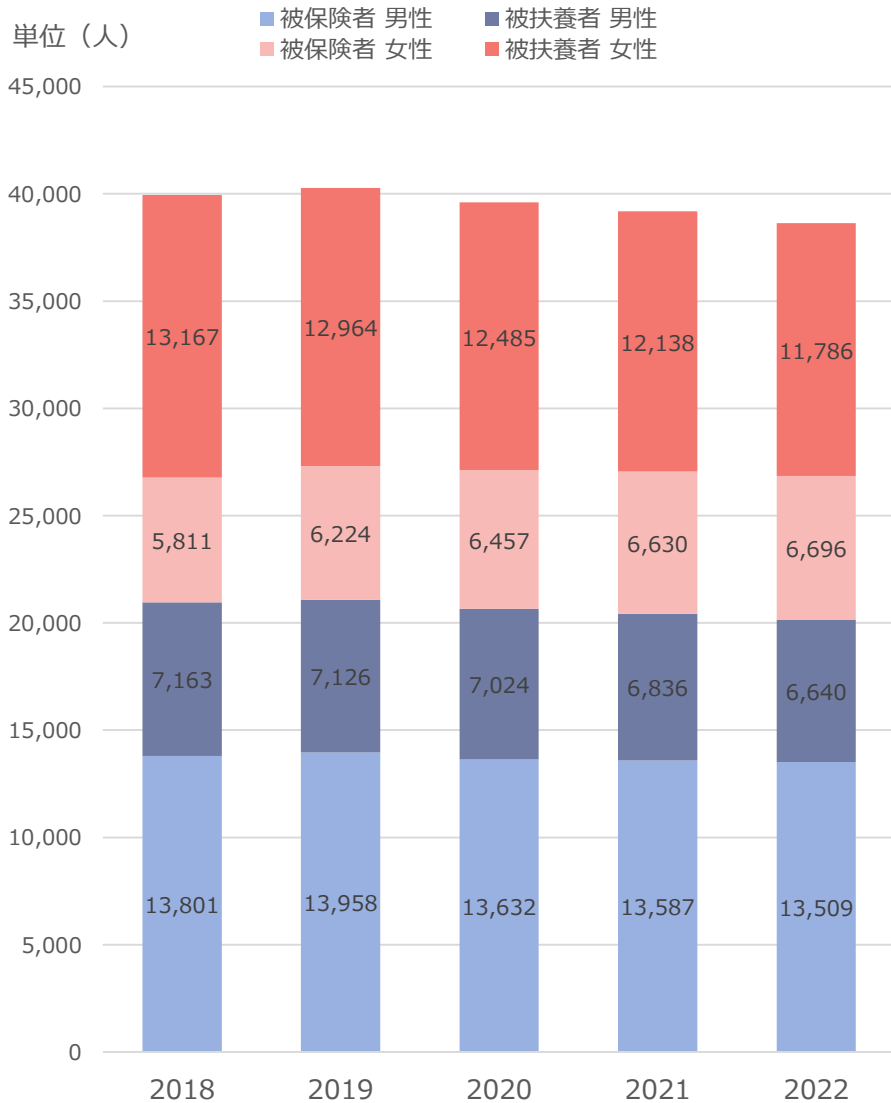
【男女比】

【平均年齢】

	男性	女性
加入者全体	52.2%	47.8%
被保険者	66.9%	33.1%
被扶養者	36.0%	64.0%

	加入者全体	被保険者	被扶養者
平均年齢	33.0歳	42.8歳	13.1歳
平均年齢	32.8歳	40.4歳	28.4歳

【人数推移(年度平均)】

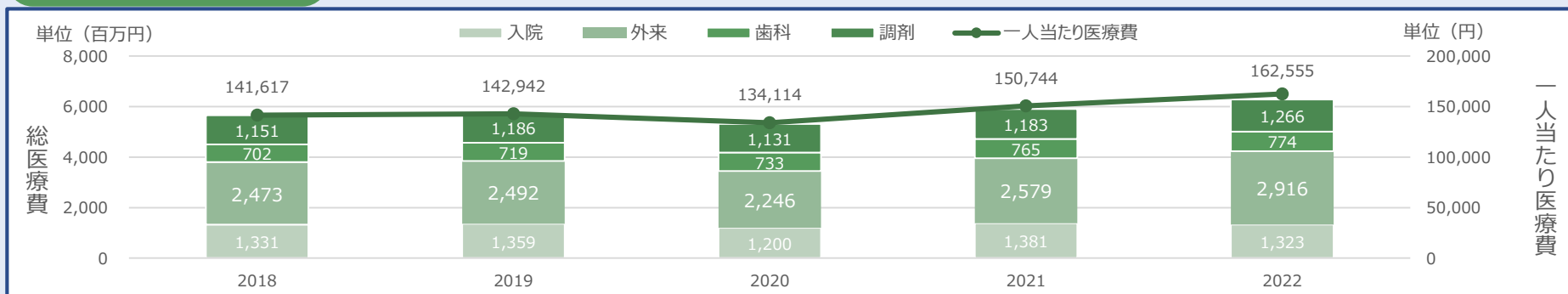


2. 医療費の状況

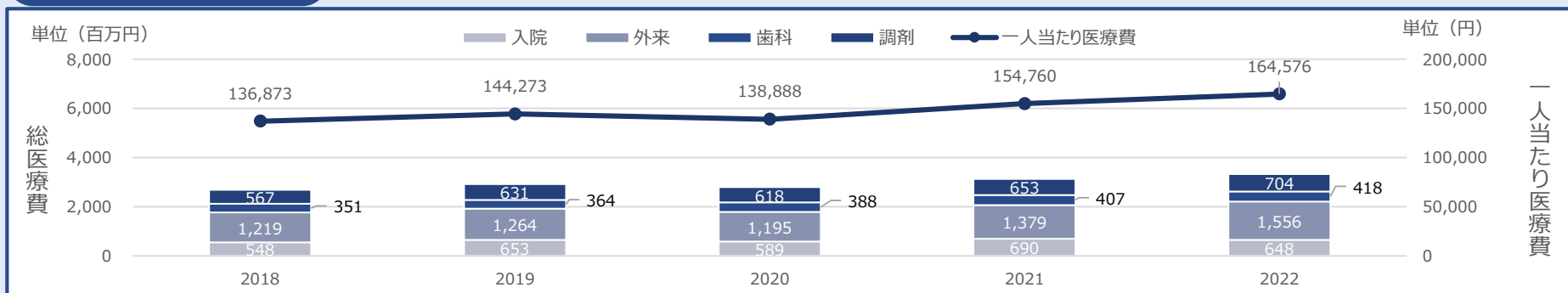
■ 総医療費・一人当たり医療費 経年比較

2018-2022年度

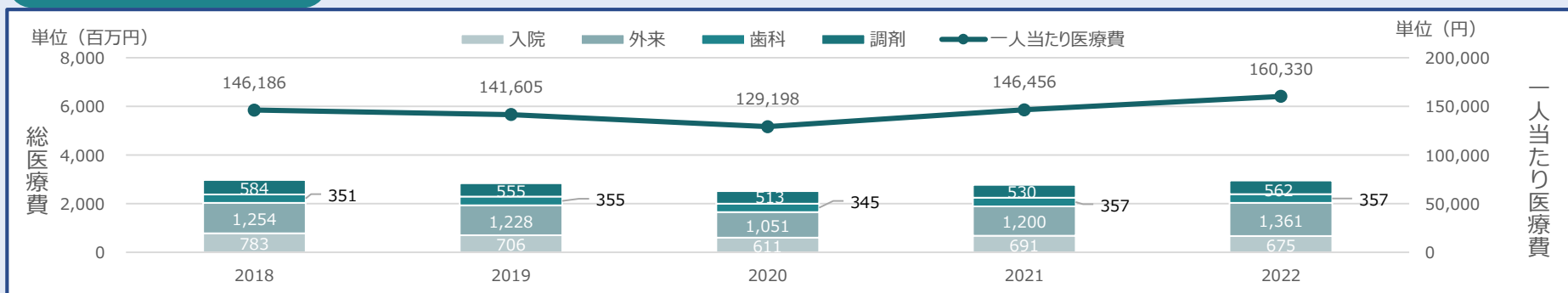
加入者全体



被保険者



被扶養者



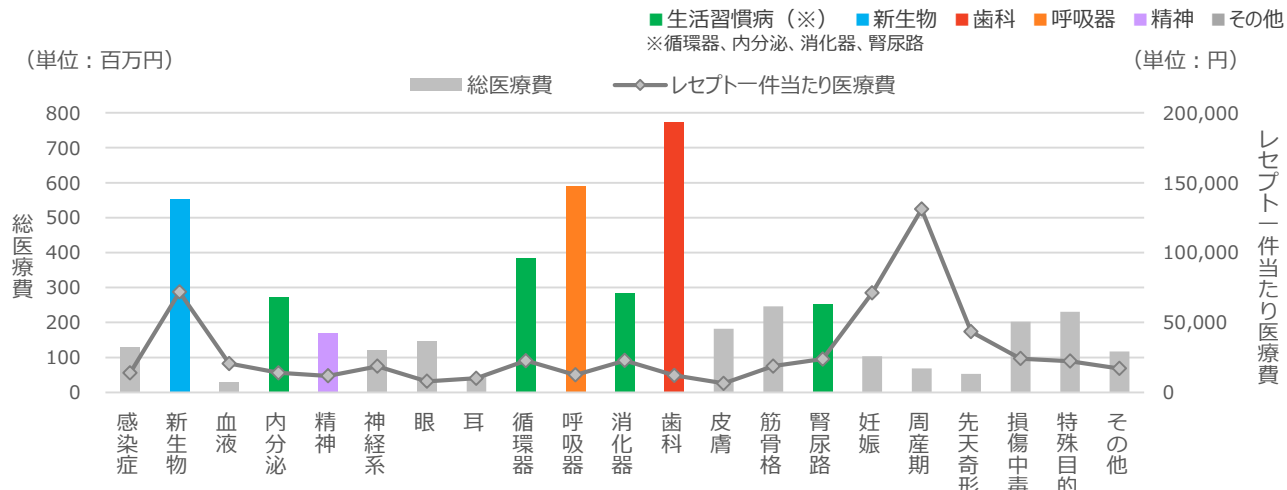
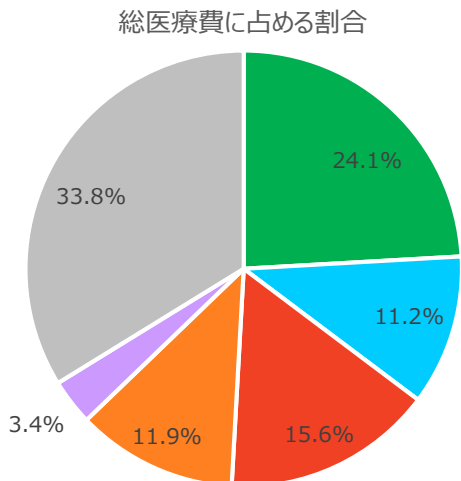
3. 疾病大分類別医療費の状況

■ 疾病大分類別医療費2022年度内訳 経年比較

2018-2022年度

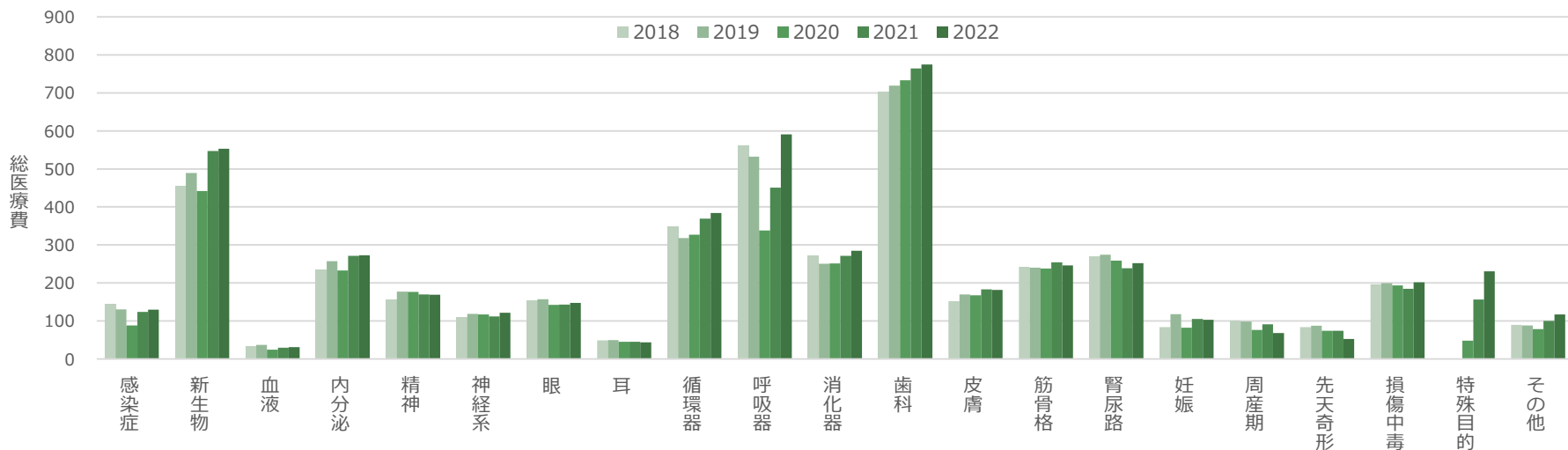
加入者全体

【疾病大分類別医療費の2022年度の状況】



(単位：百万円)

【疾病大分類別医療費の経年比較】



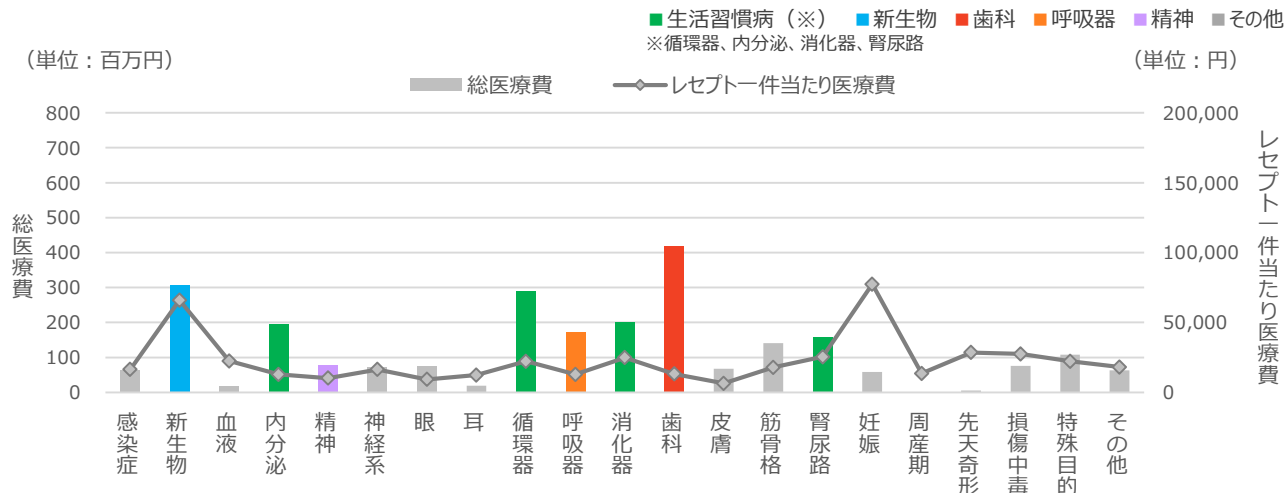
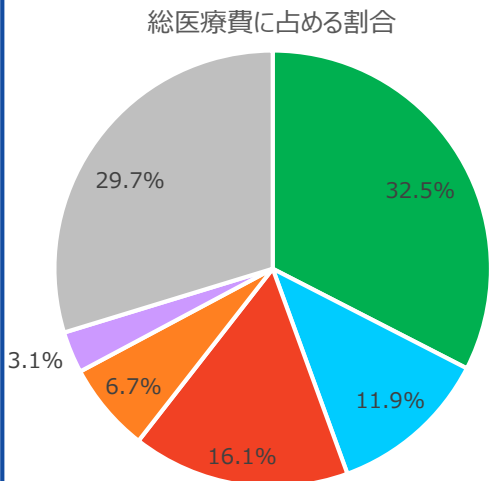
3. 疾病大分類別医療費の状況

■ 疾病大分類別医療費2022年度内訳 経年比較

2018-2022年度

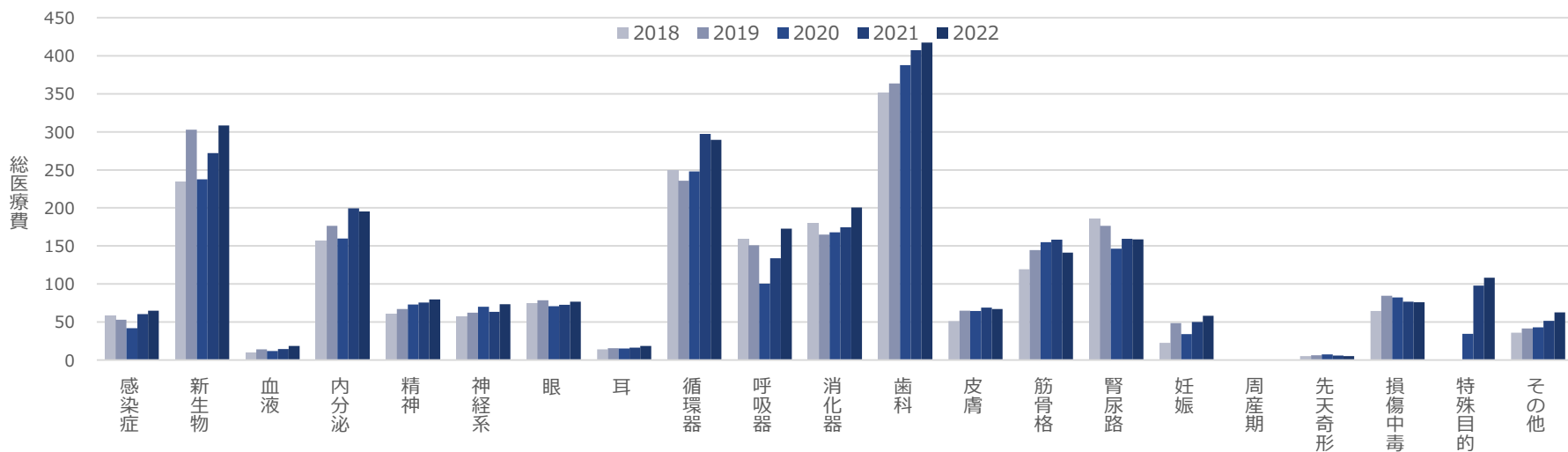
被保険者

【疾病大分類別医療費の2022年度の状況】



(単位：百万円)

【疾病大分類別医療費の経年比較】



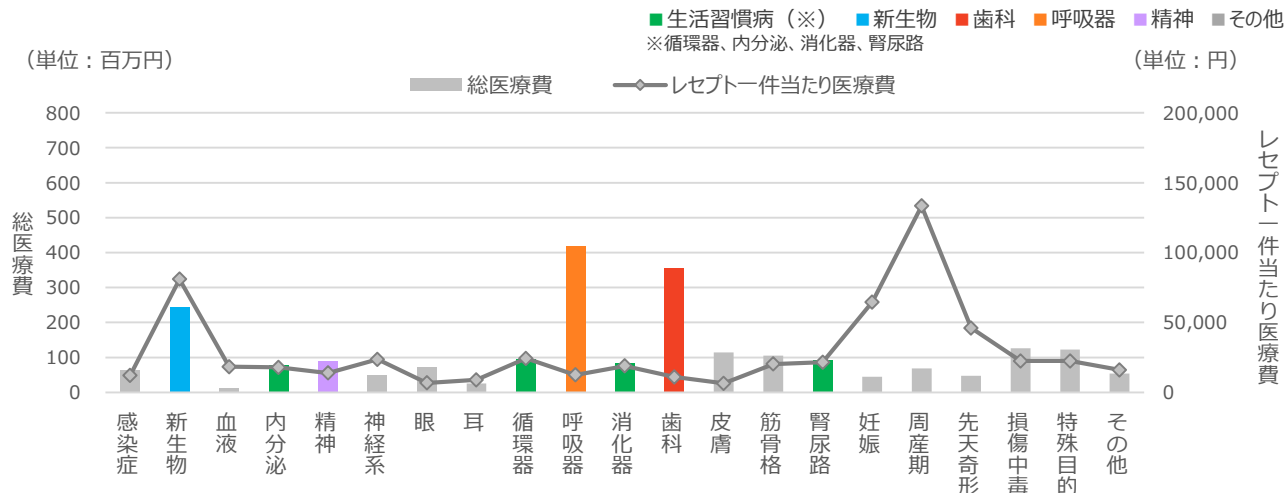
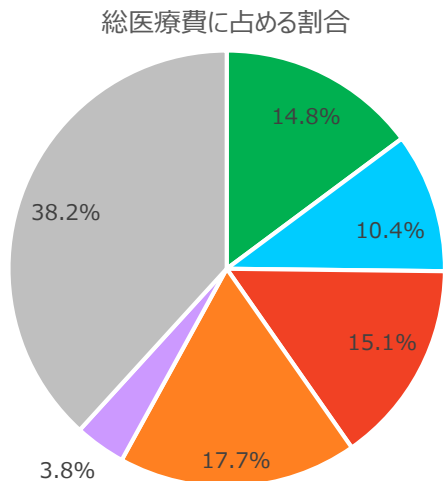
3. 疾病大分類別医療費の状況

■ 疾病大分類別医療費2022年度内訳 経年比較

2018-2022年度

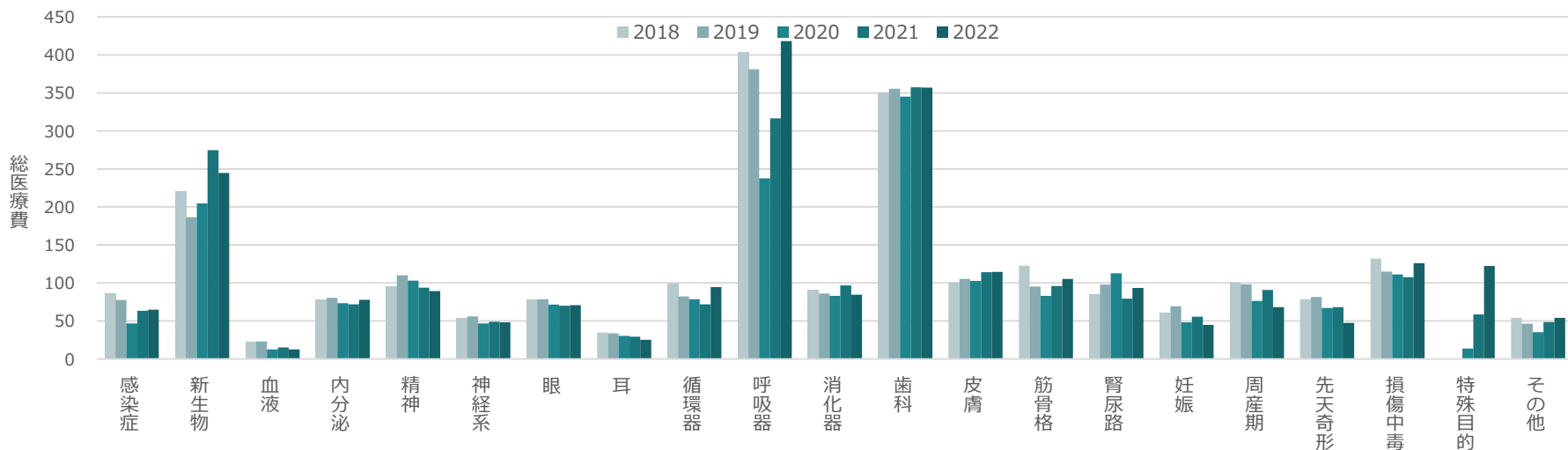
被扶養者

【疾病大分類別医療費の2022年度の状況】



(単位：百万円)

【疾病大分類別医療費の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

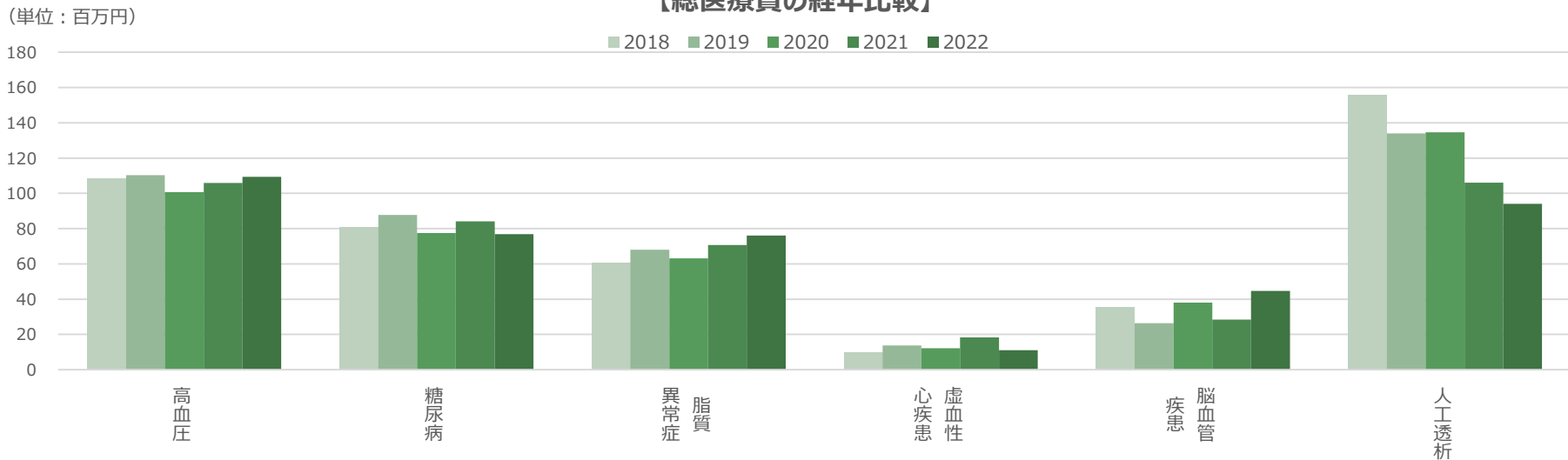
4-1.【生活習慣病】総医療費・保有率 経年比較

2018-2022年度

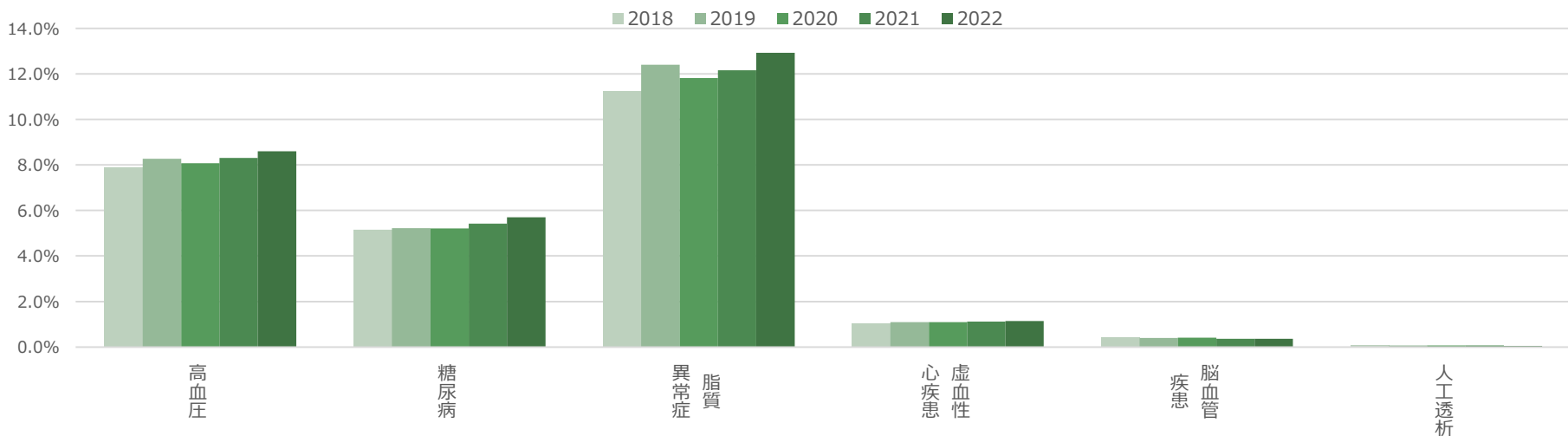
加入者全体

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

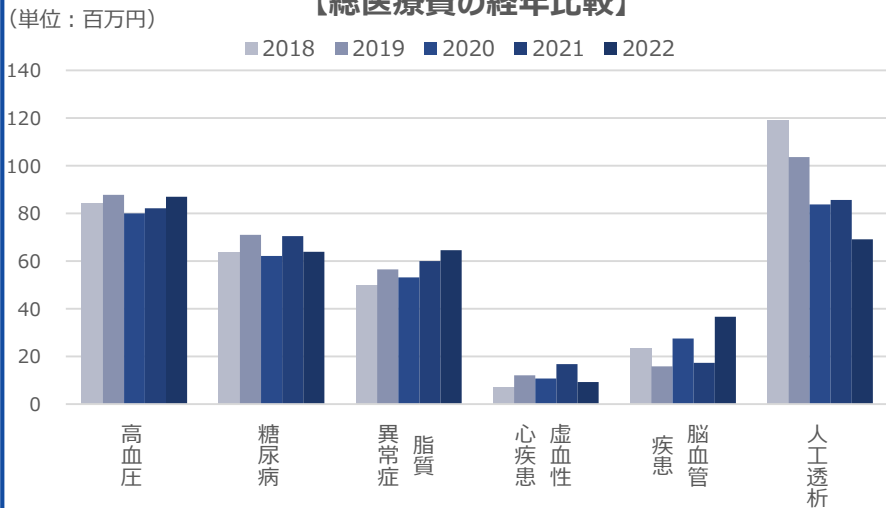
4-1.【生活習慣病】総医療費・保有率 経年比較

2018-2022年度

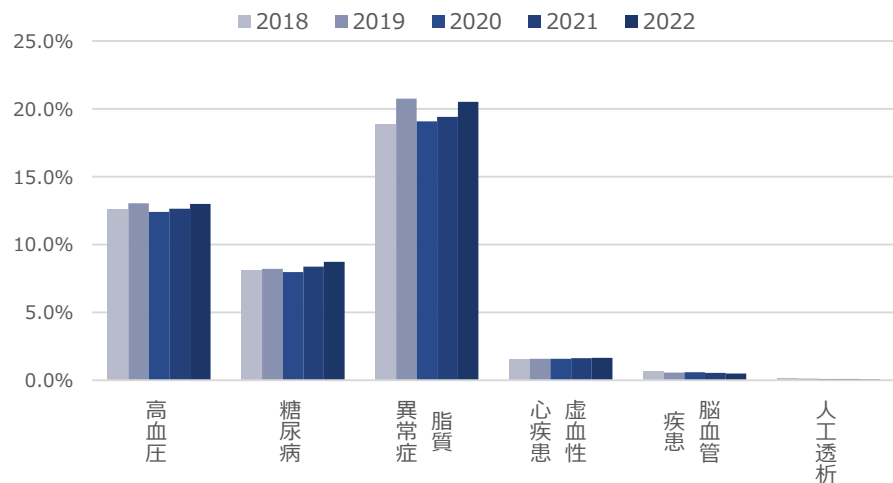
被保険者

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

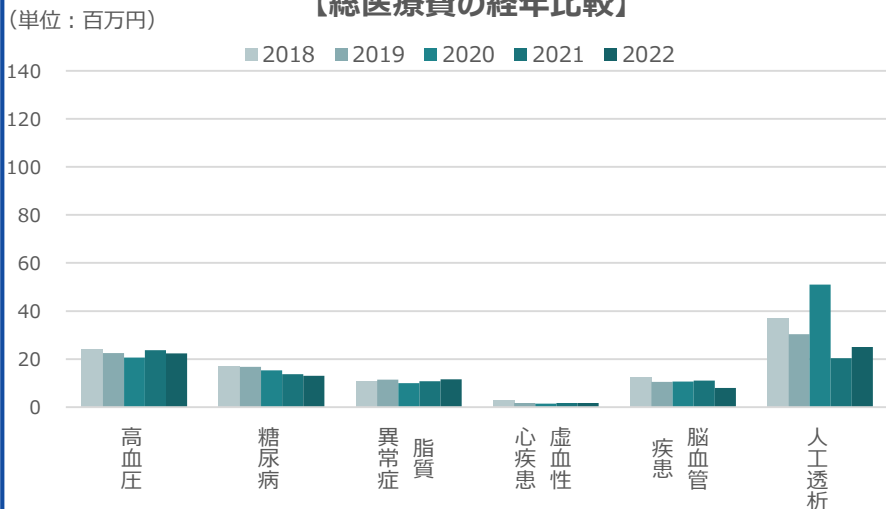


【全体保有率の経年比較】

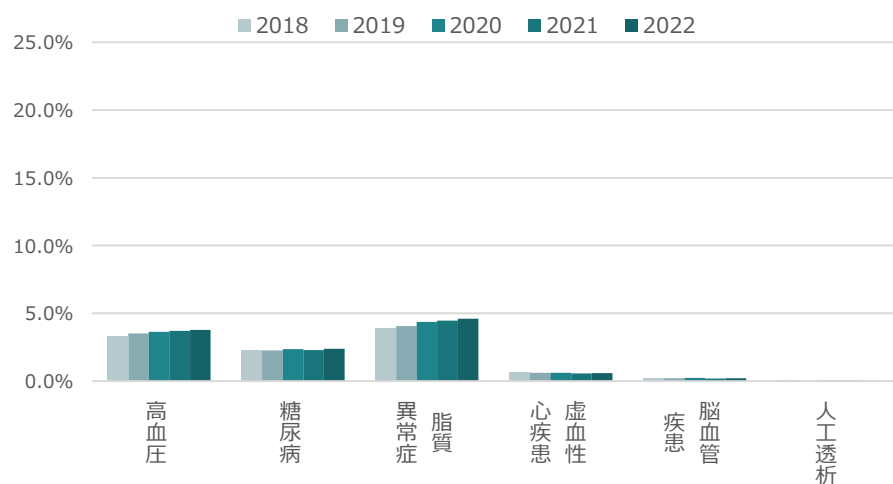


被扶養者

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

4-2.【新生物】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

※新生物のうち良性は含めていない

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）

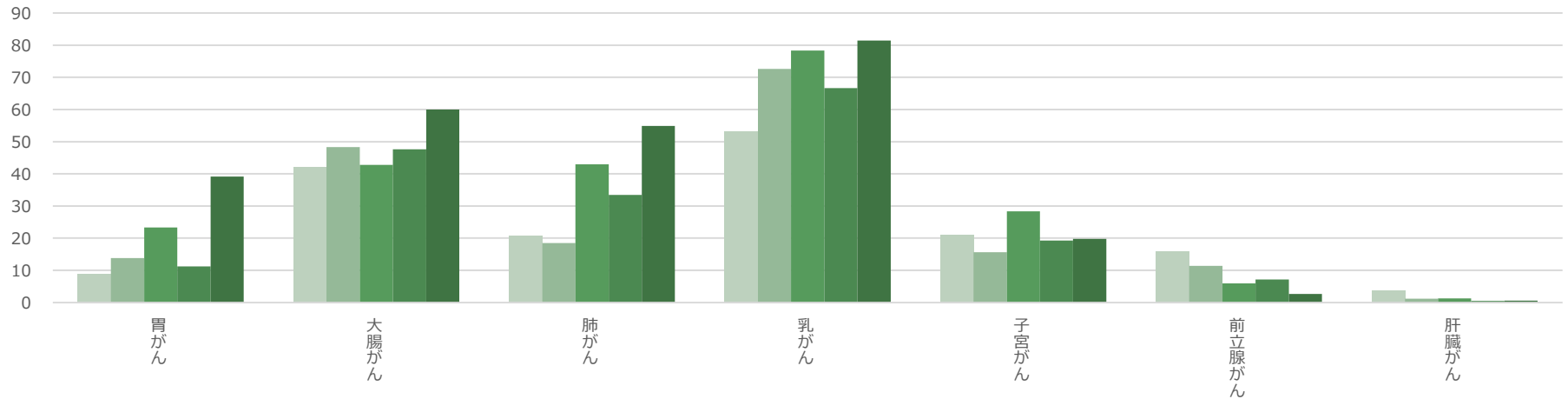
※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

加入者全体

(単位：百万円)

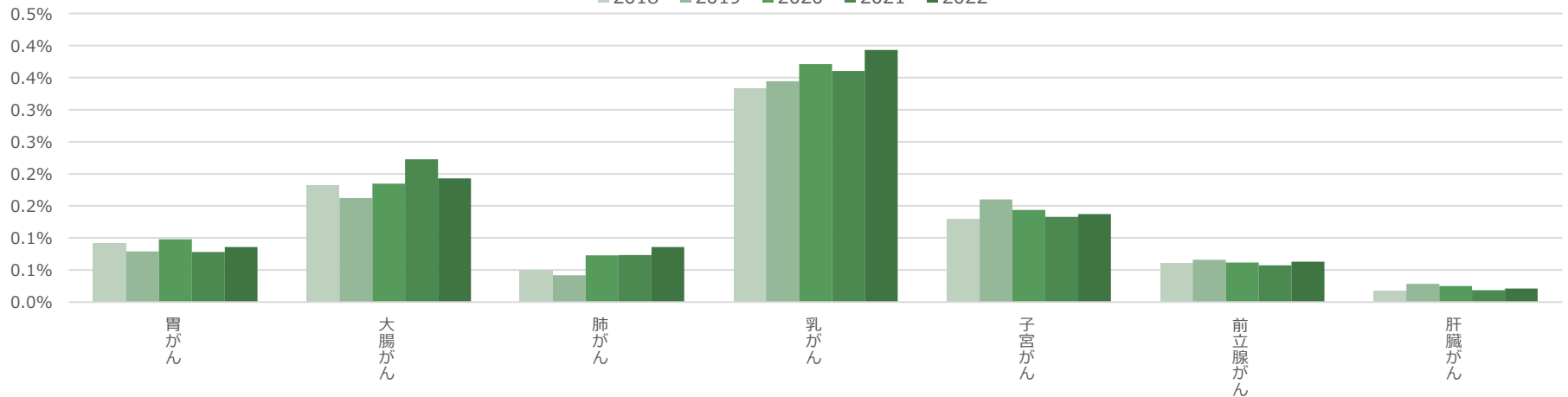
【総医療費の経年比較】

■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021 ■ 2022



【全体保有率の経年比較】

■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021 ■ 2022



4. 着目疾病別医療費の状況

4-2.【新生物】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

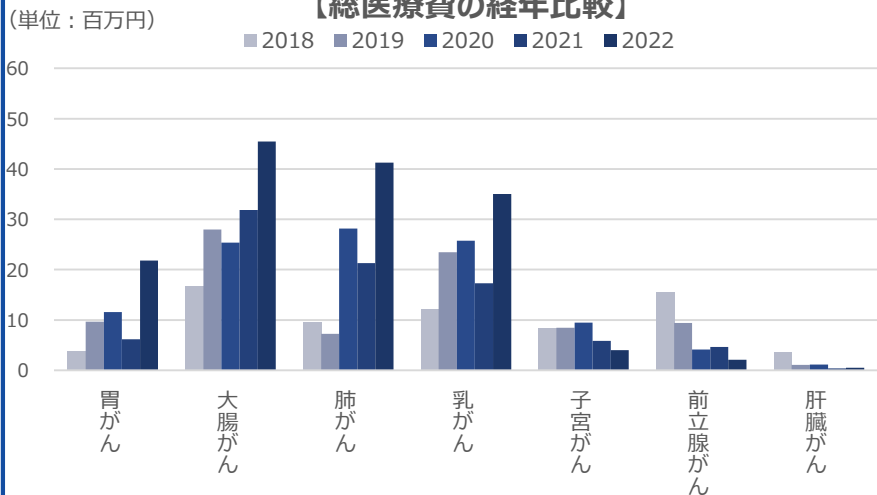
※新生物のうち良性は含めていない

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）

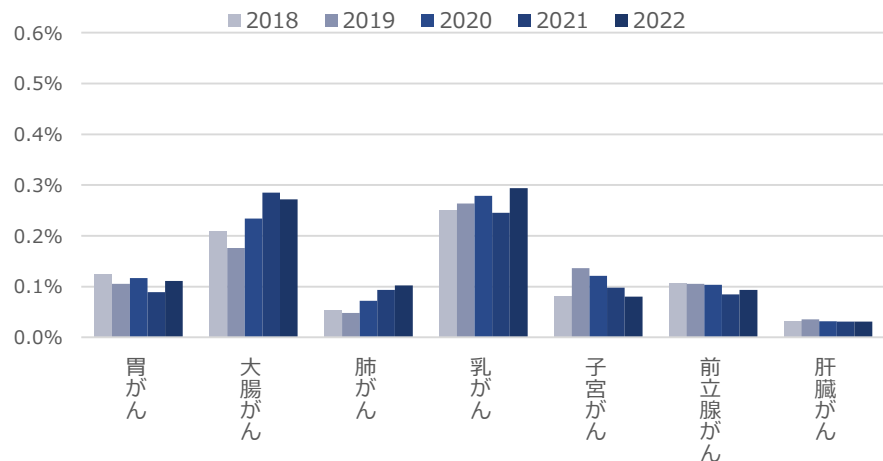
※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

被保険者

【総医療費の経年比較】

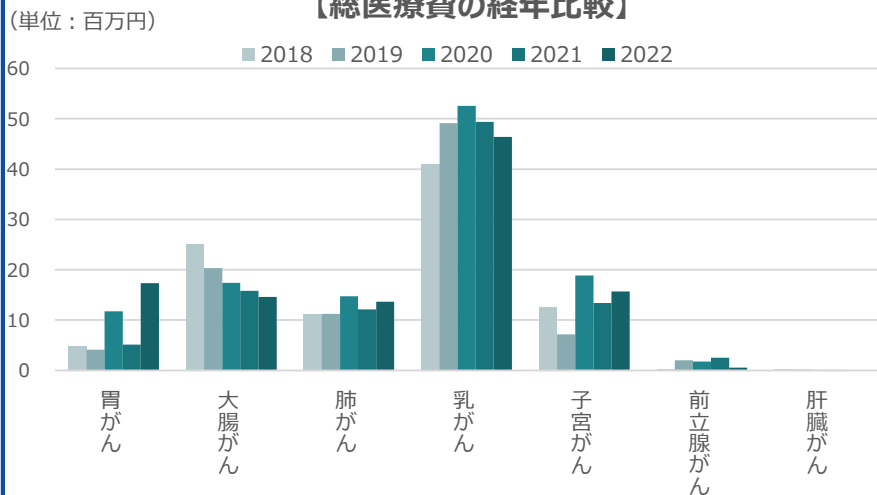


【全体保有率の経年比較】

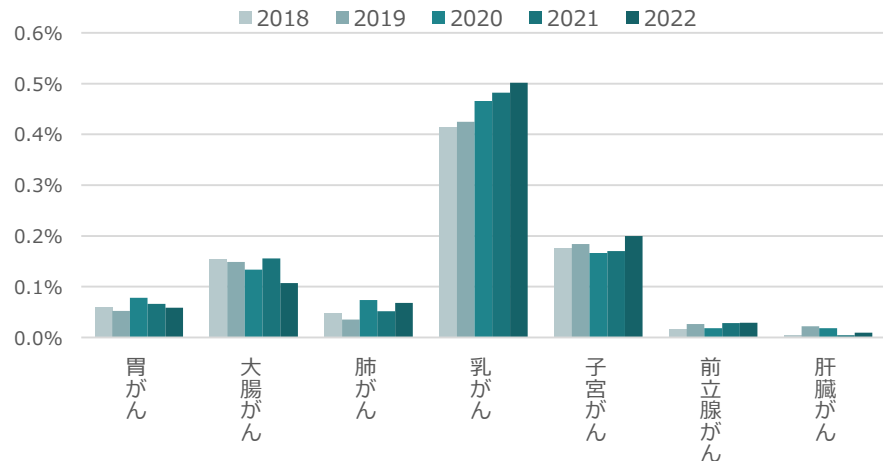


被扶養者

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

4-3.【精神疾患】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

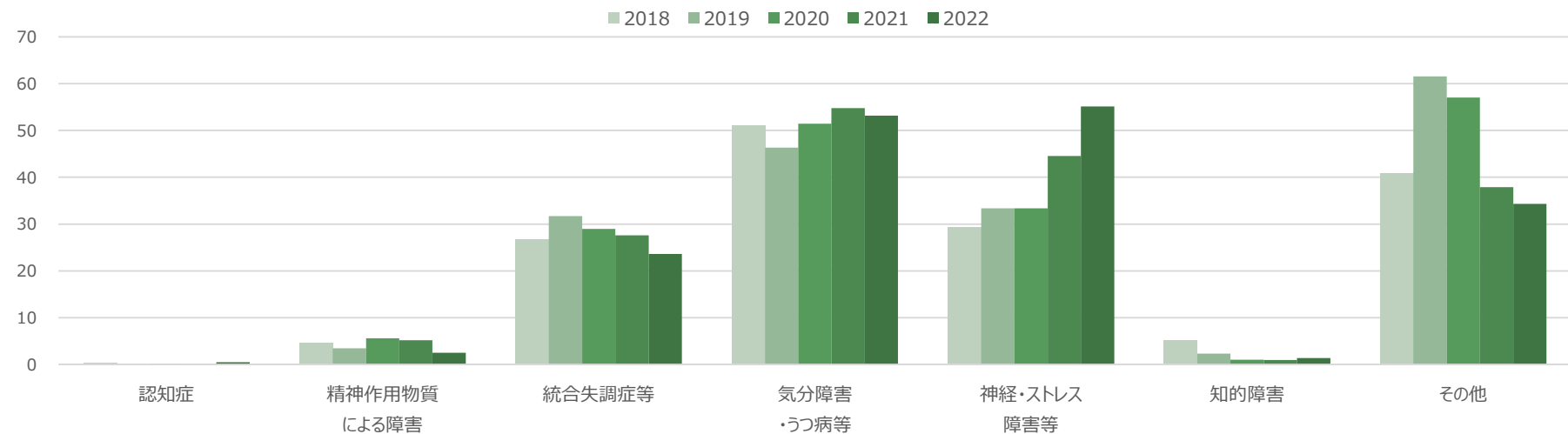
加入者全体

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）

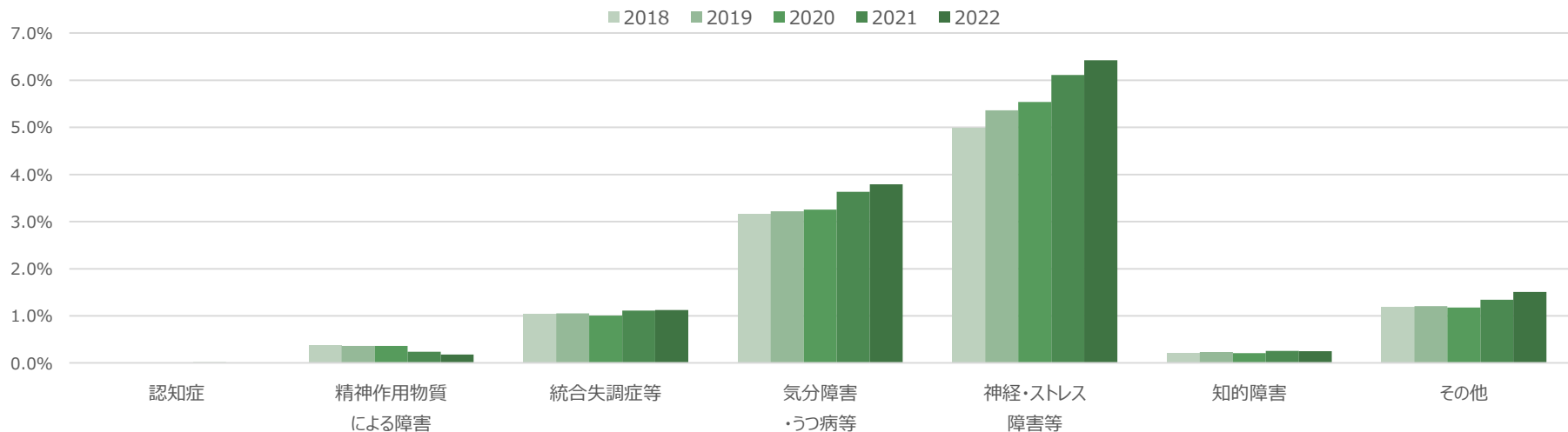
※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

(単位：百万円)



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

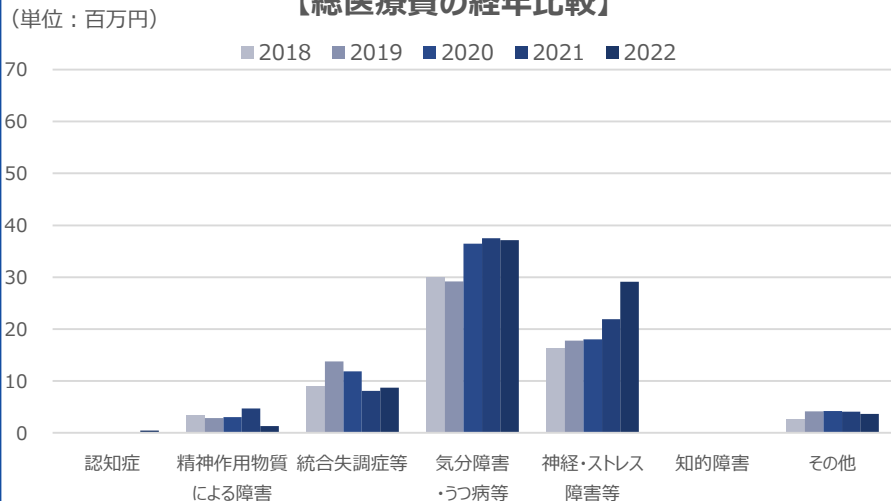
4-3.【精神疾患】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

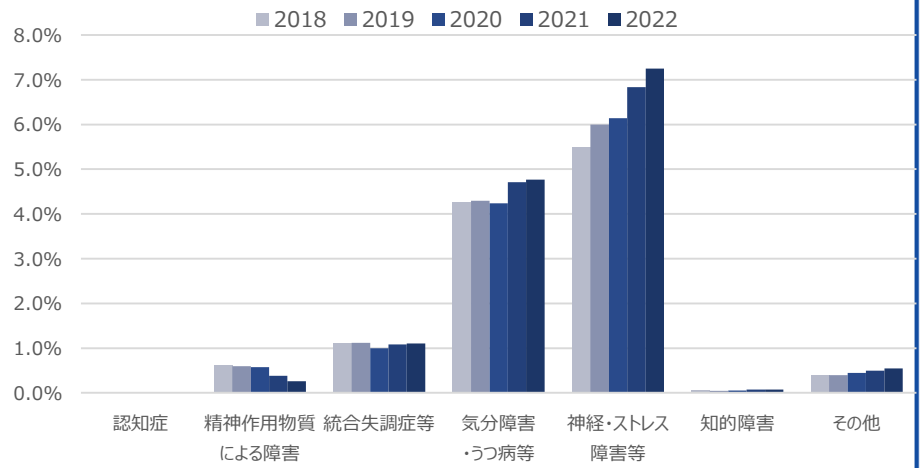
被保険者

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

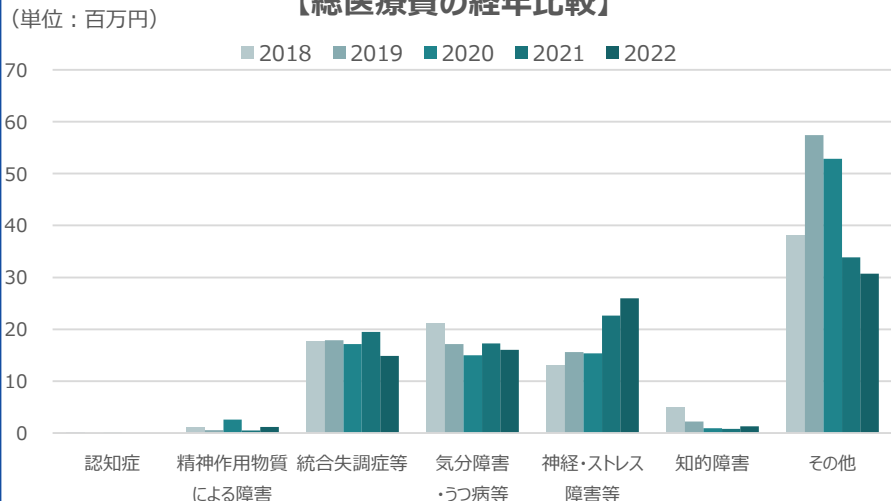


【全体保有率の経年比較】

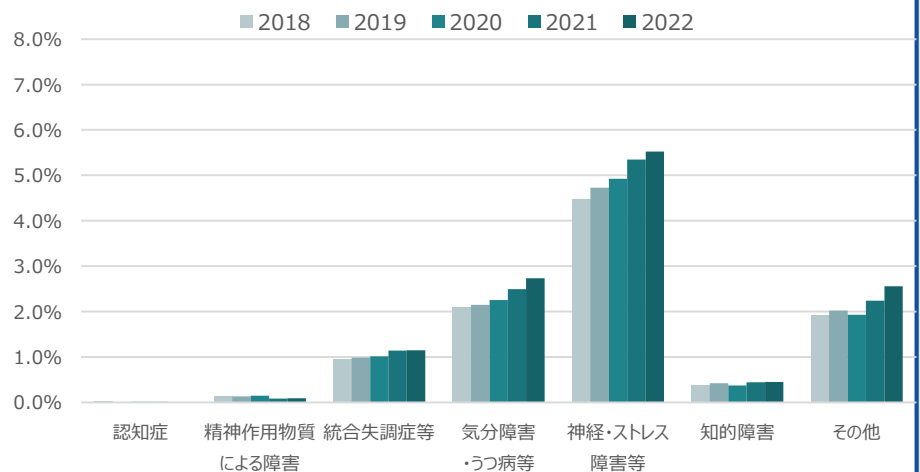


被扶養者

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

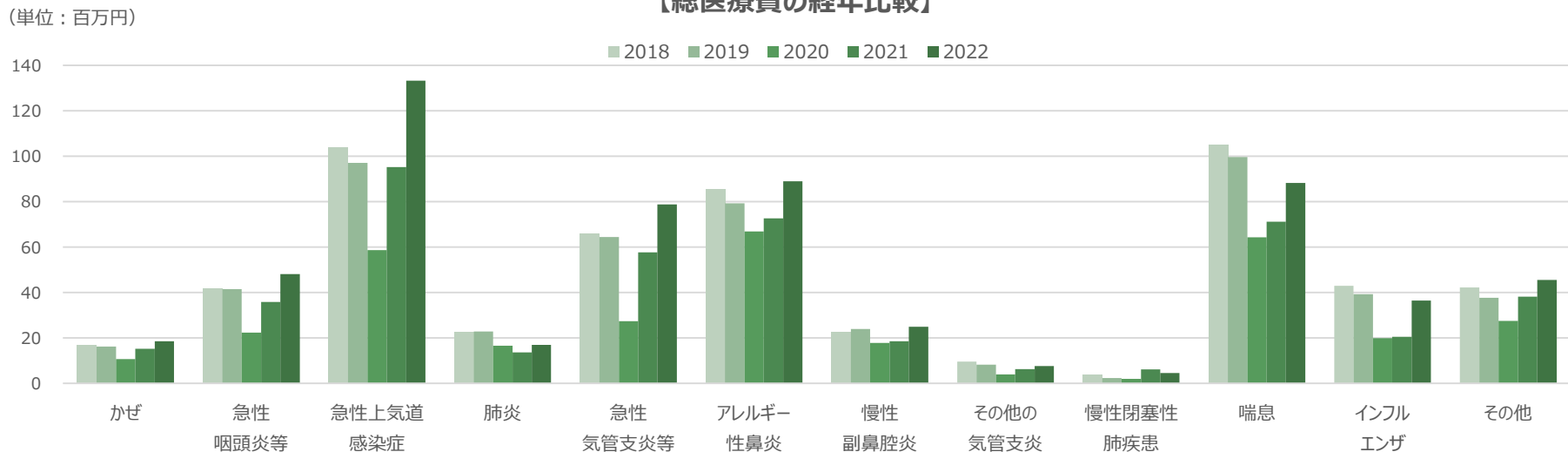
4-4.【呼吸器】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

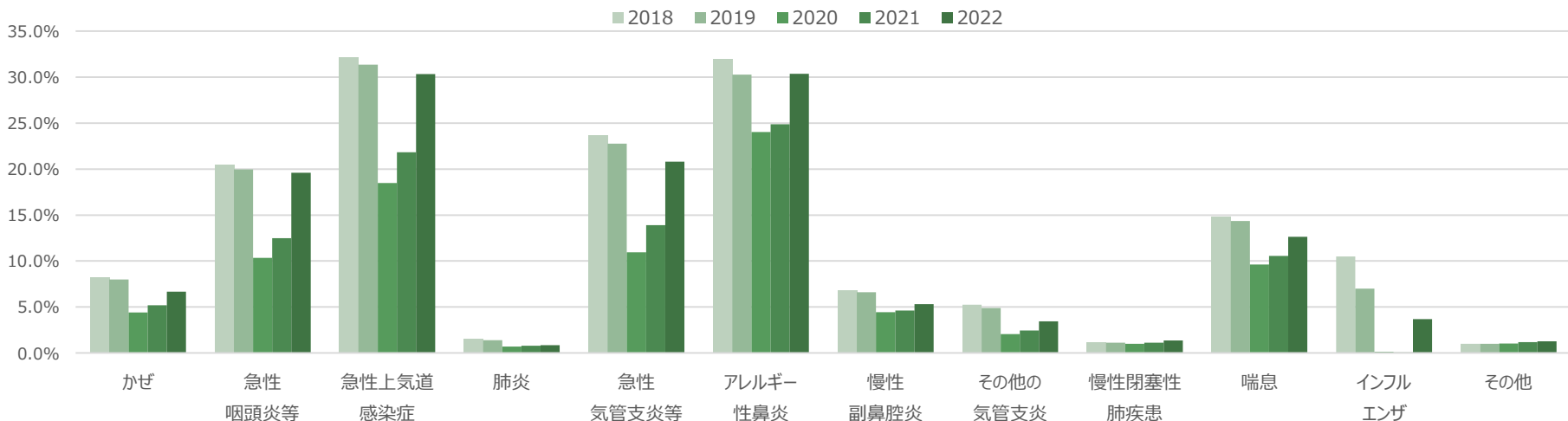
加入者全体

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

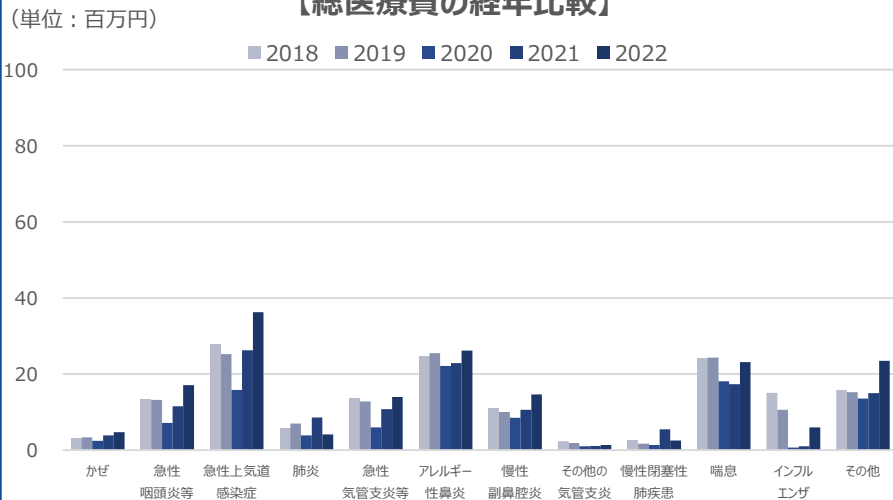
4-4.【呼吸器】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

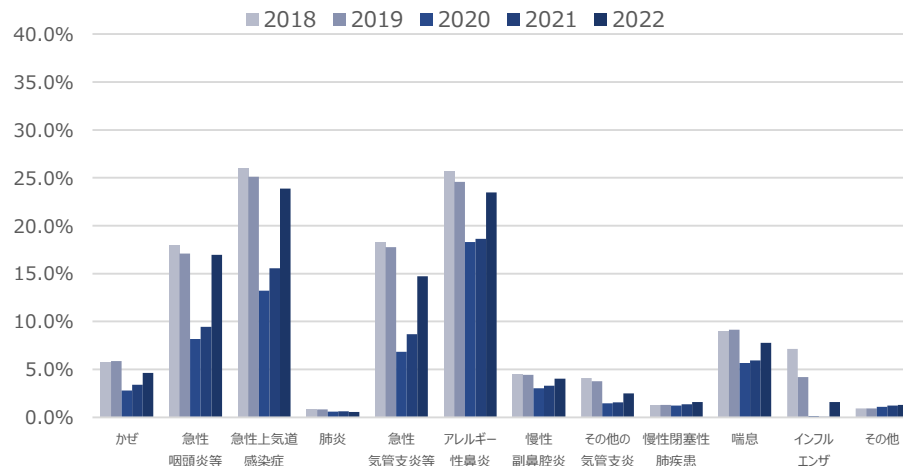
被保険者

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

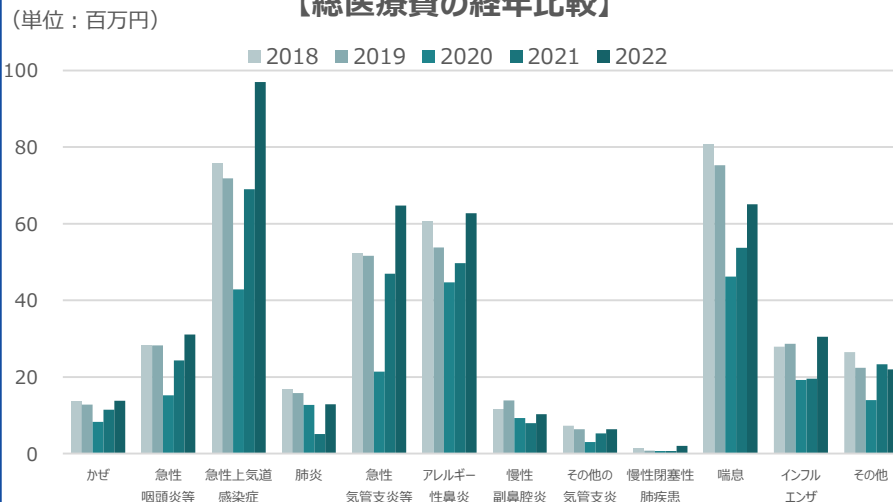


【全体保有率の経年比較】

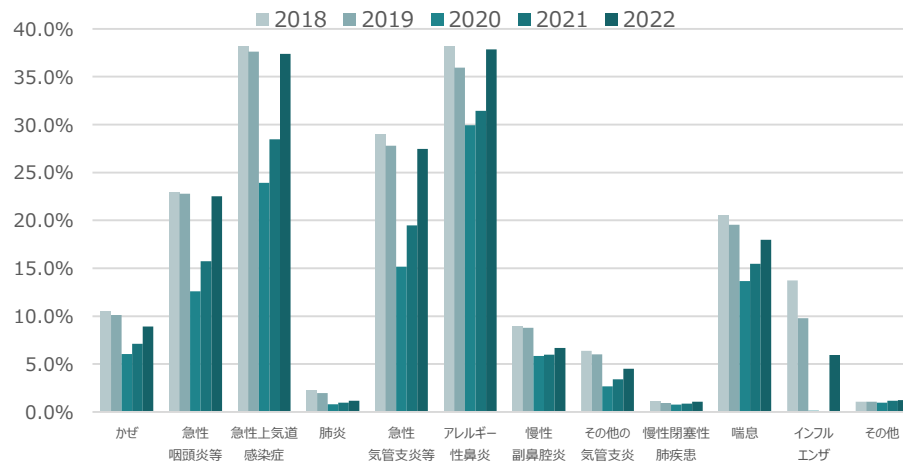


被扶養者

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

4-5.【歯科】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

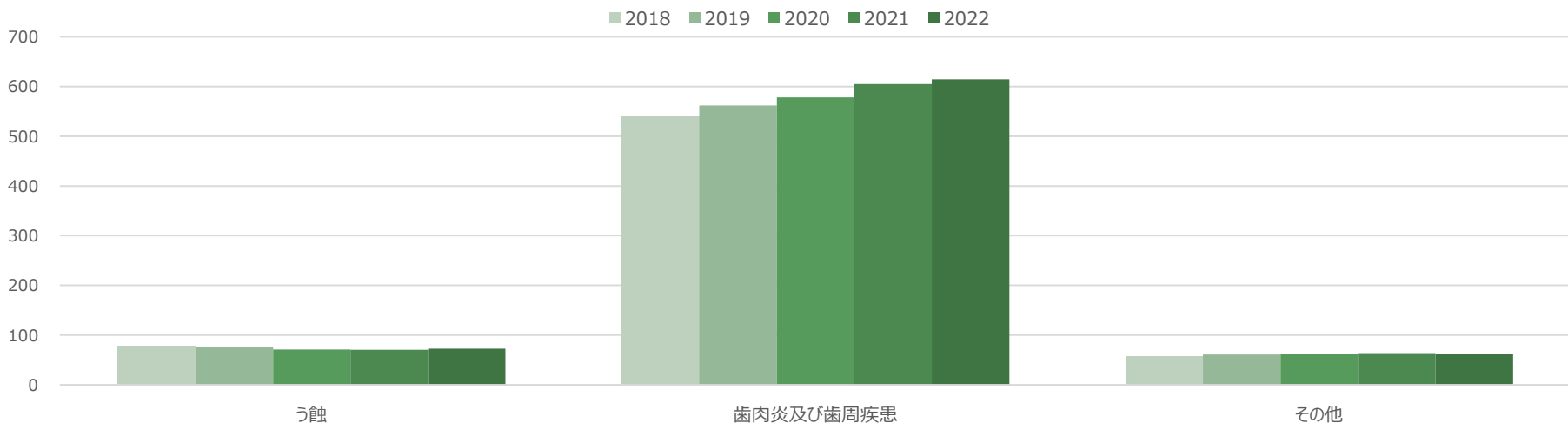
加入者全体

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）

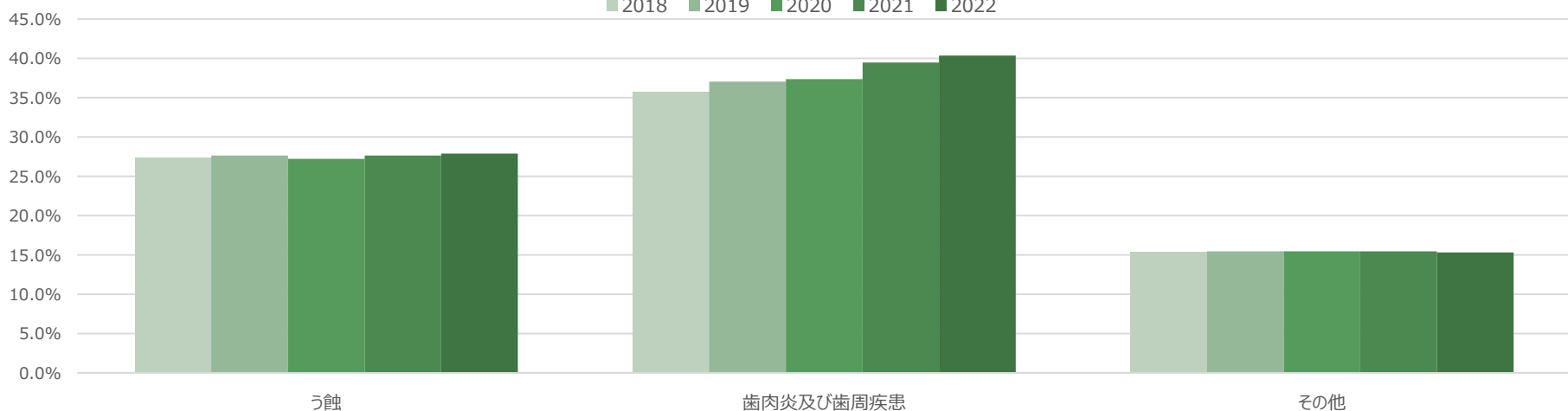
※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

(単位：百万円)



【全体保有率の経年比較】



4. 着目疾病別医療費の状況

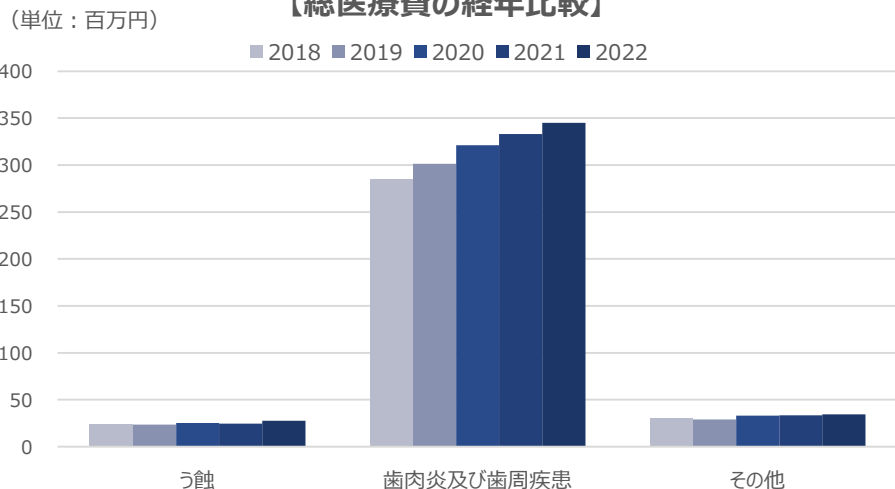
4-5.【歯科】総医療費・保有率・保有者数 経年比較

2018-2022年度

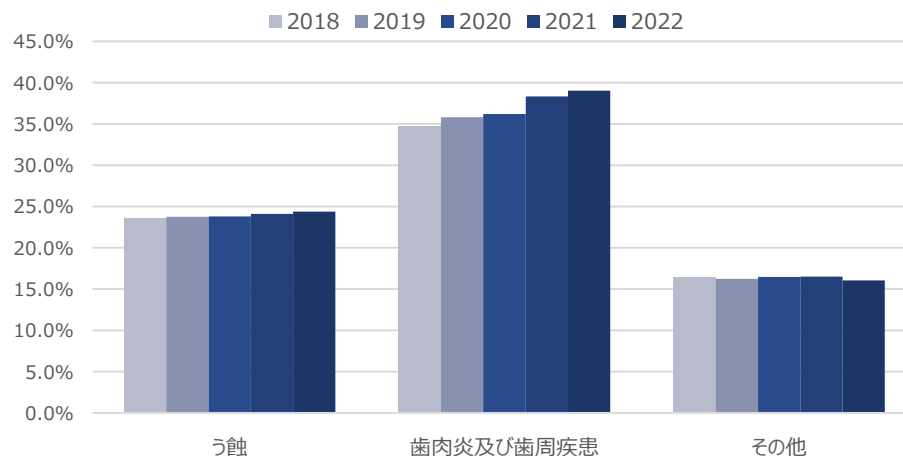
被保険者

※総医療費は主傷病扱いとなる疾病を保有するレセプトの金額を合算（疑い有を含む）
 ※保有率・保有者についてはレセプトに疑いなしの該当疾病を保有する人を保有者として定義して算出

【総医療費の経年比較】

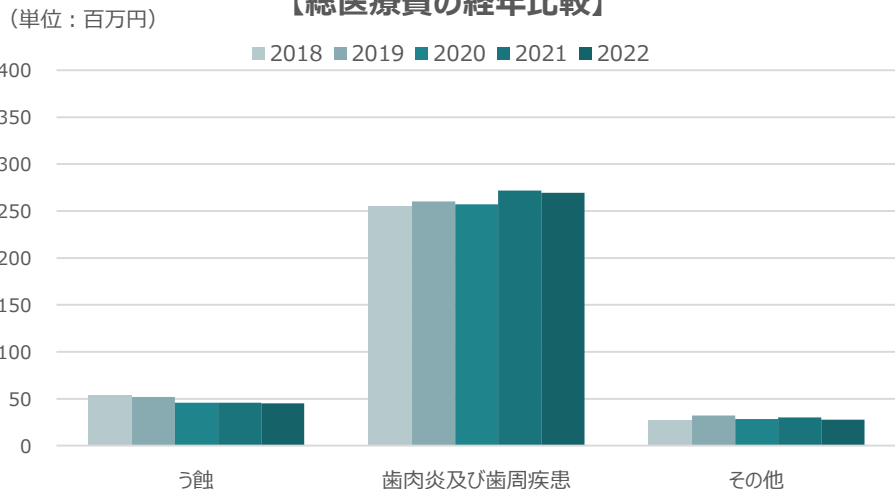


【全体保有率の経年比較】

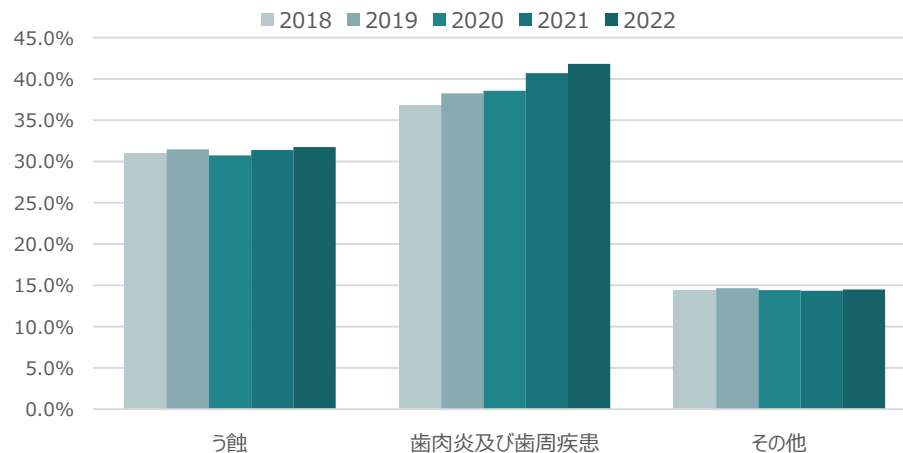


被扶養者

【総医療費の経年比較】



【全体保有率の経年比較】



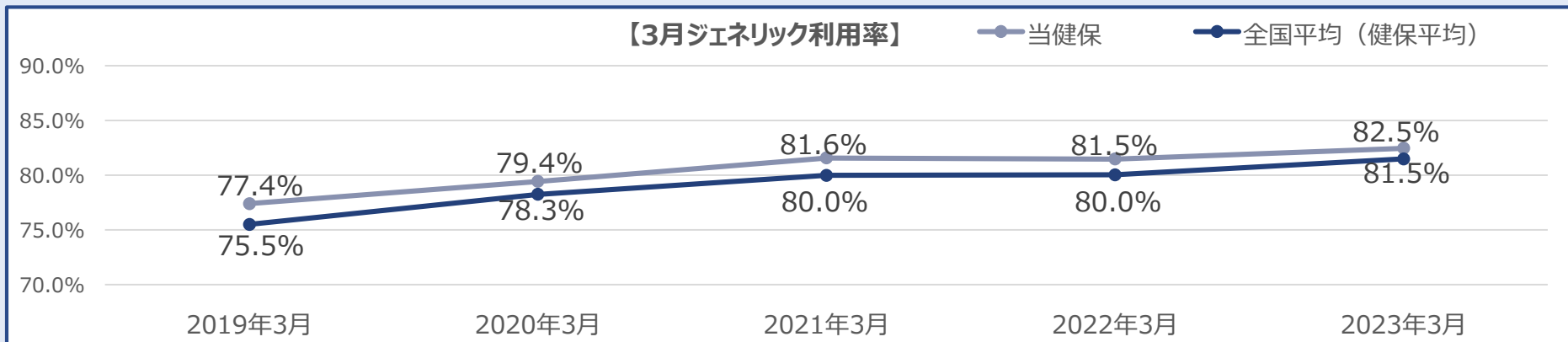
5. 医療費適正化の状況

■ ジェネリック利用率の推移

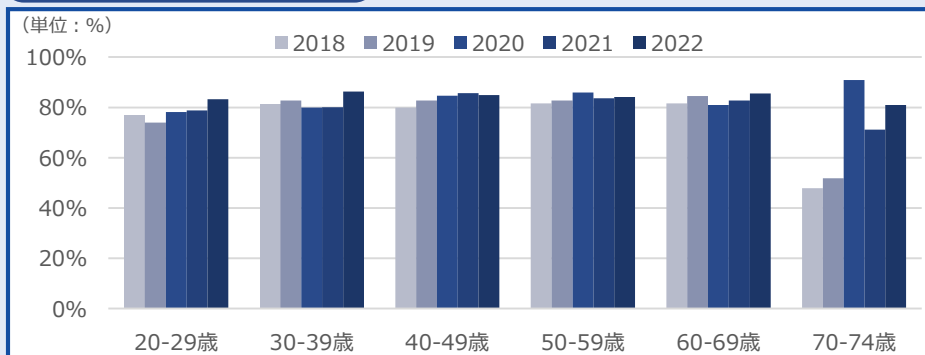
2018-2022年度

※上段の当健保・全国平均グラフは厚労省公表資料を加工
 ※※下段の年齢階層別グラフはレセプトデータより算出

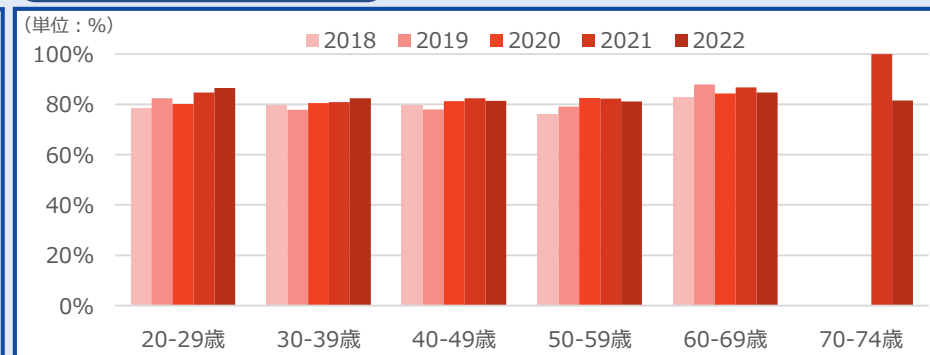
加入者全体



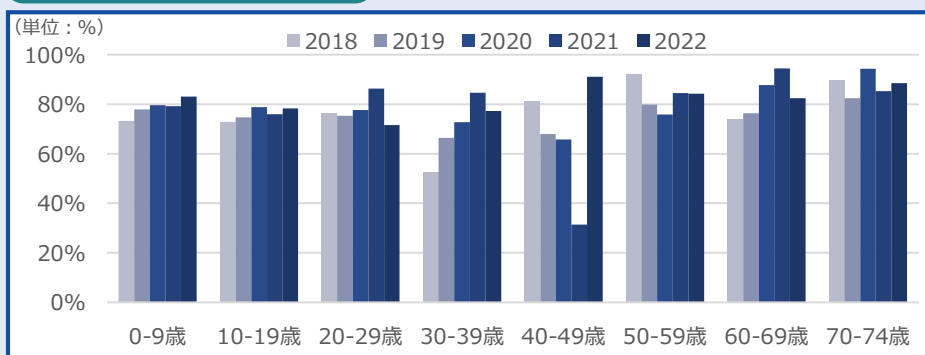
被保険者 (男性)



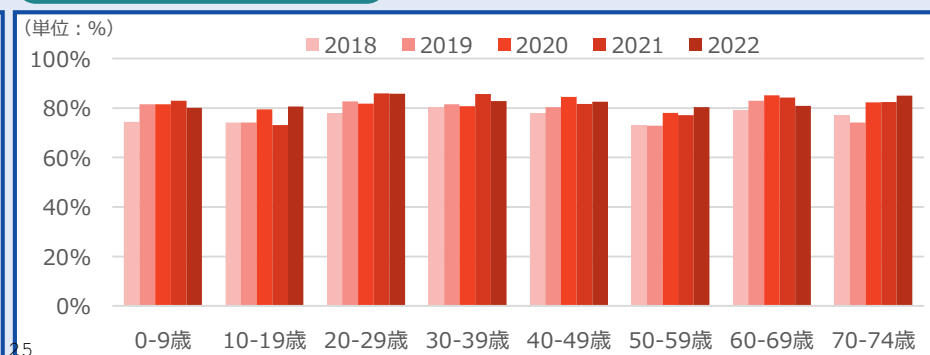
被保険者 (女性)



被扶養者 (男性)



被扶養者 (女性)

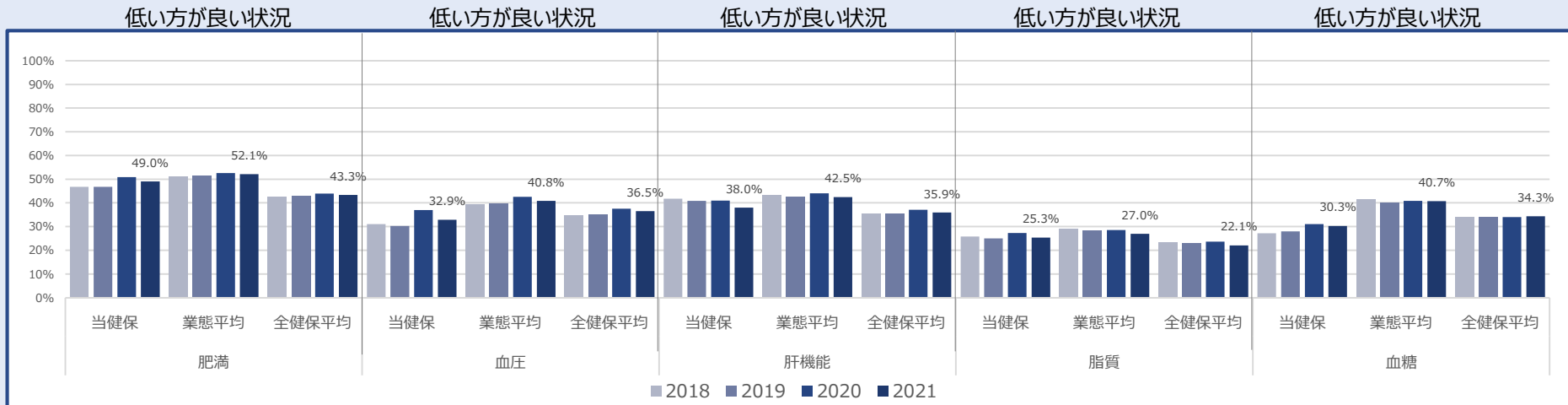


6. 健康リスクの状況

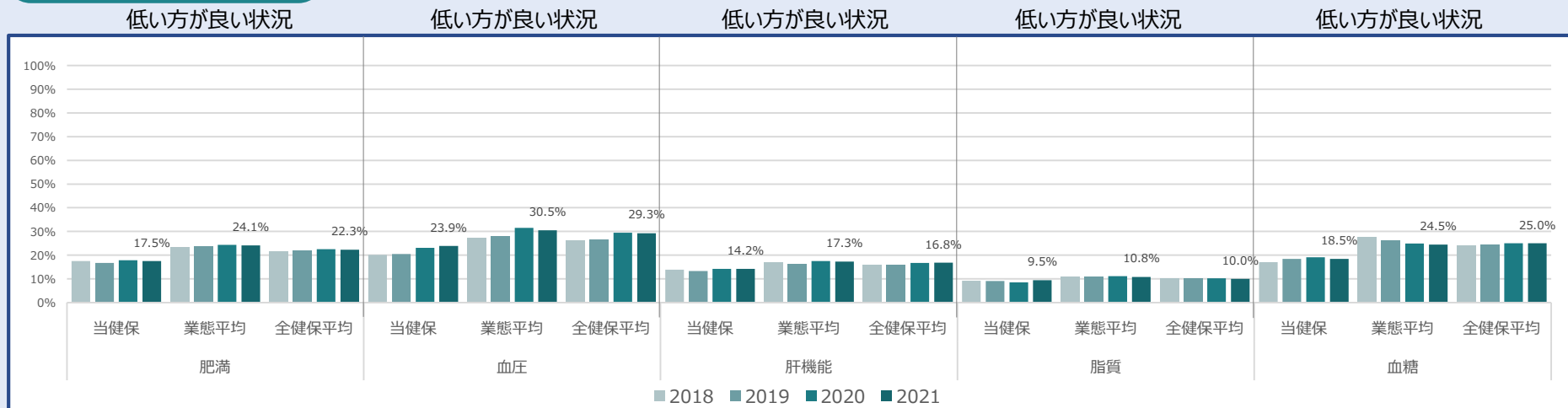
6-1. 健康スコアリングレポートから見る40歳以上の健康リスクの状況

2018-2021年度
※分母は40歳以上のみ

被保険者



被扶養者



<生活習慣病リスク者の定義>

1. 肥満（内臓脂肪型肥満のリスク保有者）：BMI25以上、または腹囲85cm(男性)・90cm(女性)以上 内臓脂肪面積は判定基準に使用しない
2. 血圧リスク（高血圧のリスク保有者）：収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上
3. 肝機能リスク（肝機能異常症のリスク保有者）：AST31以上、またはALT31以上、またはγ-GT51以上
4. 脂質リスク（脂質異常症のリスク保有者）：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
5. 血糖リスク（糖尿病のリスク保有者）：空腹時血糖値100mg/dl以上、またはHbA1c 5.6%以上、※HbA1cはNGSP値 ※随時血糖は判定基準に使用しない(空腹時血糖及びHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖値を優先)

6. 健康リスクの状況

6-2. 40歳未満を含む肥満リスク保有者 経年比較

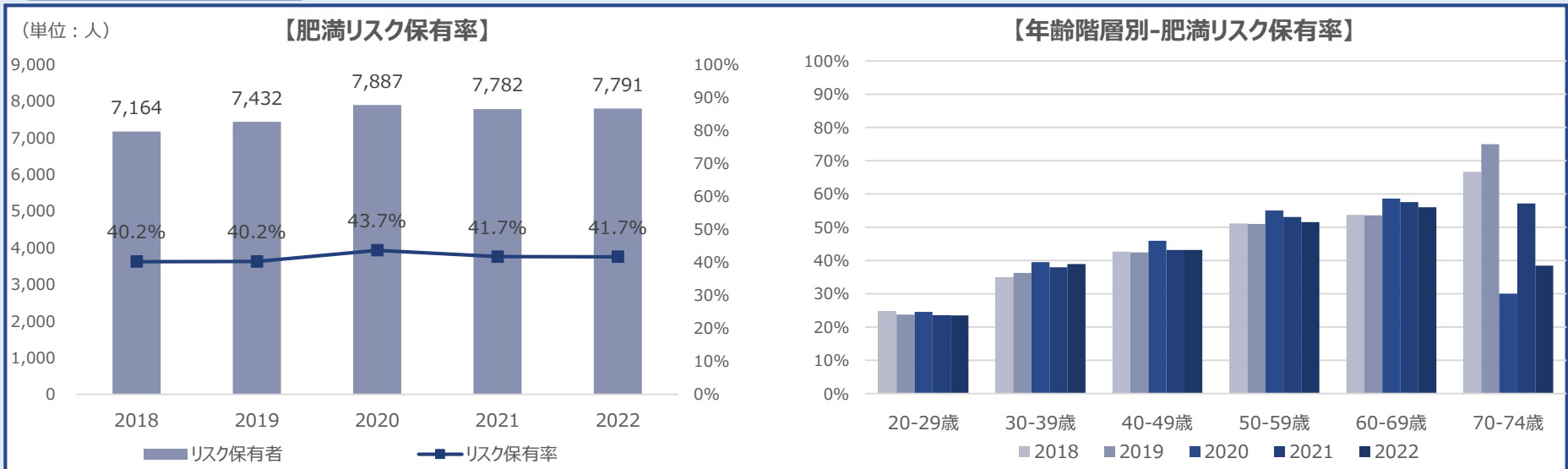
2018-2022年度

※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

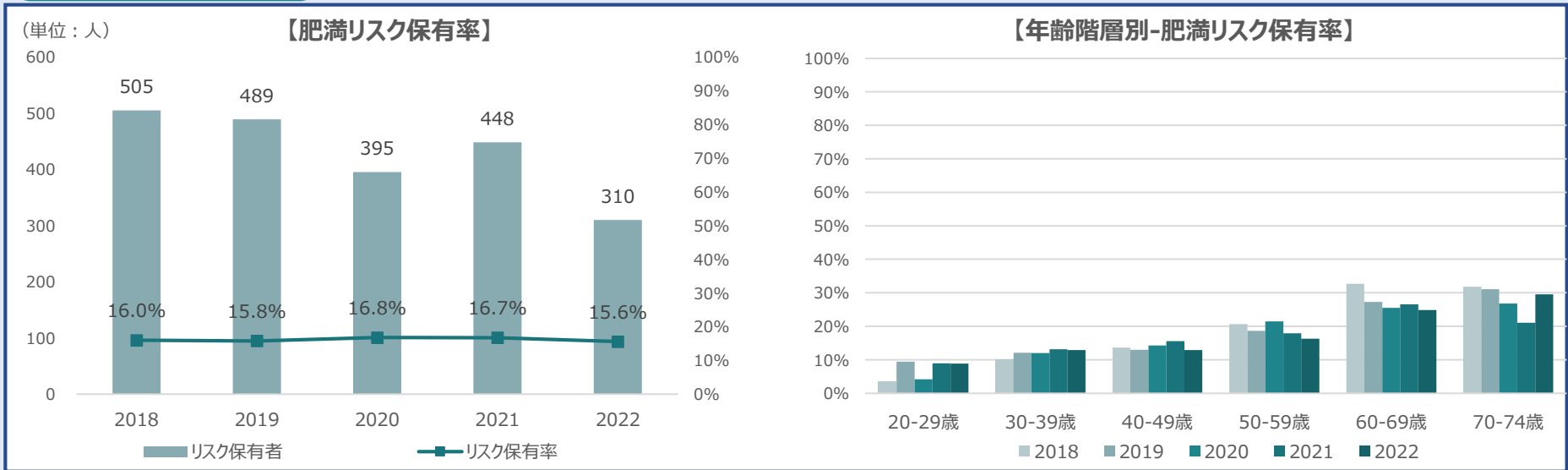
<肥満リスク保有者の判定基準>

BMI25以上、または腹囲85cm(男性)・90cm(女性)以上 ※内臓脂肪面積は判定基準に使用していない

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

6-3. 40歳未満を含む hypertension リスク保有者 経年比較

2018-2022年度

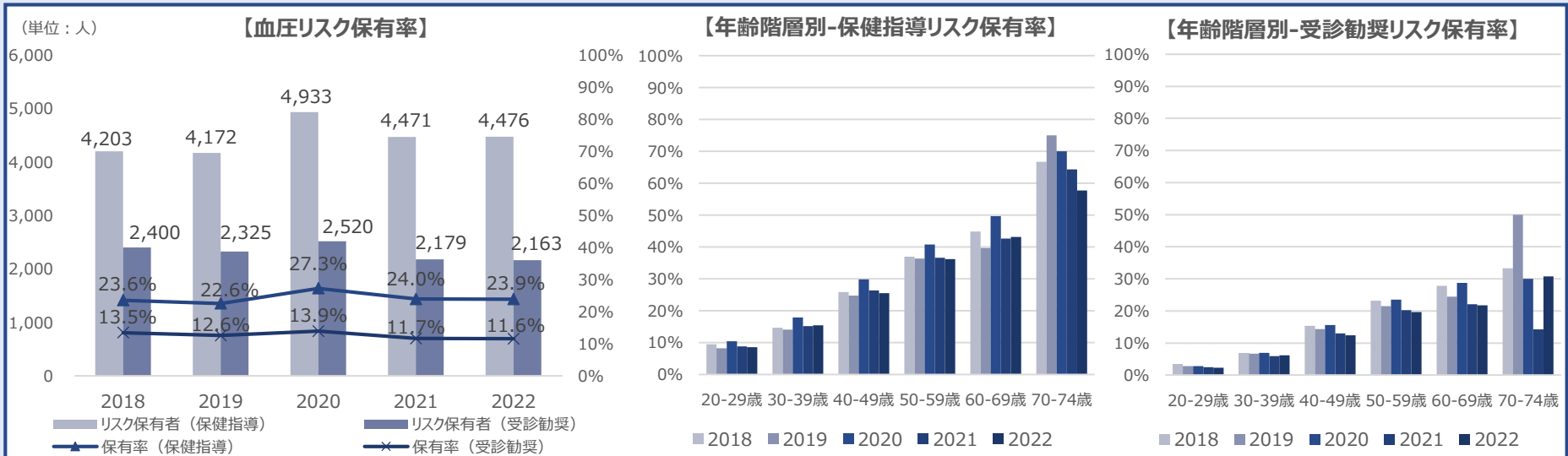
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

< hypertension リスク保有者の判定基準 >

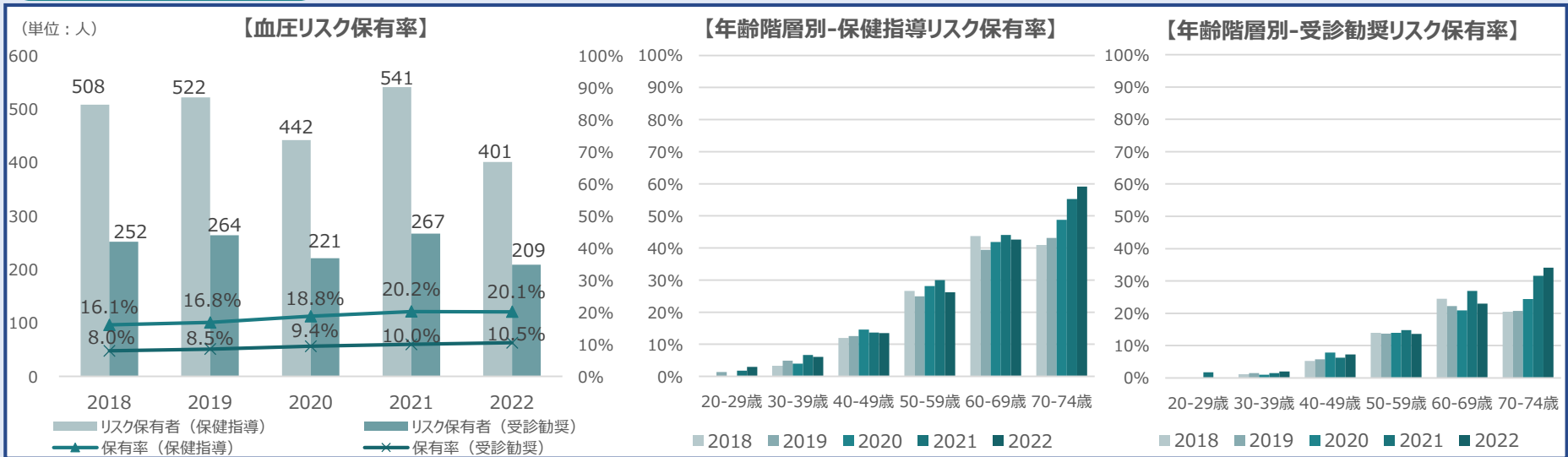
保健指導レベル：収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上

受診勧奨レベル：収縮期140mmHg以上、または拡張期90mmHg以上

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

6-4. 40歳未満を含む血糖リスク保有者 経年比較

2018-2022年度

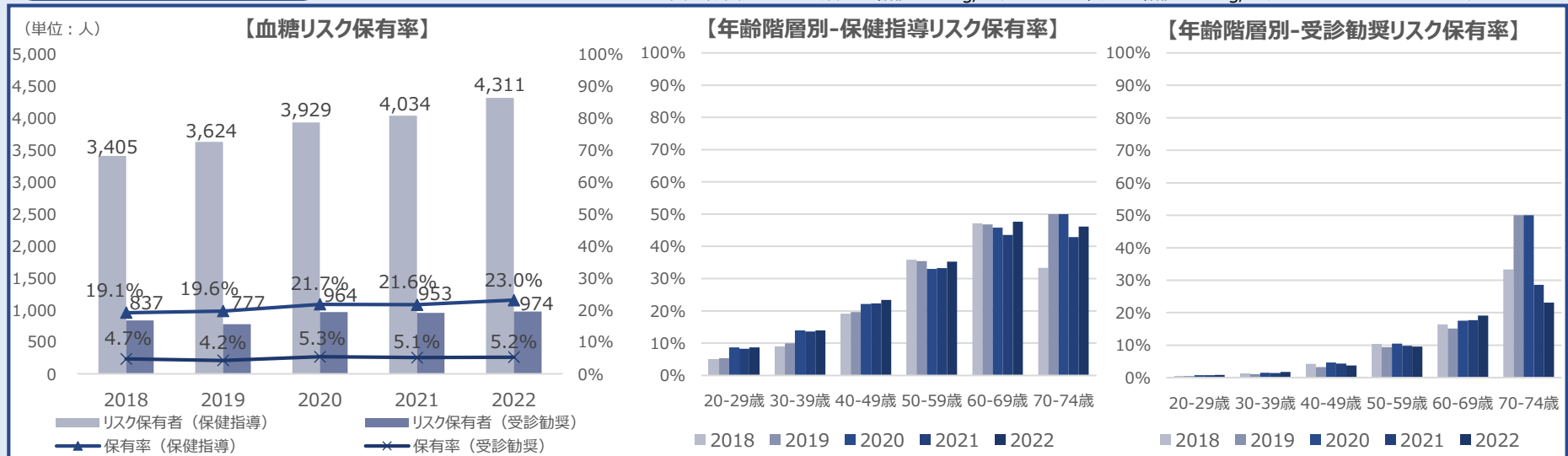
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

＜血糖リスク保有者の判定基準＞

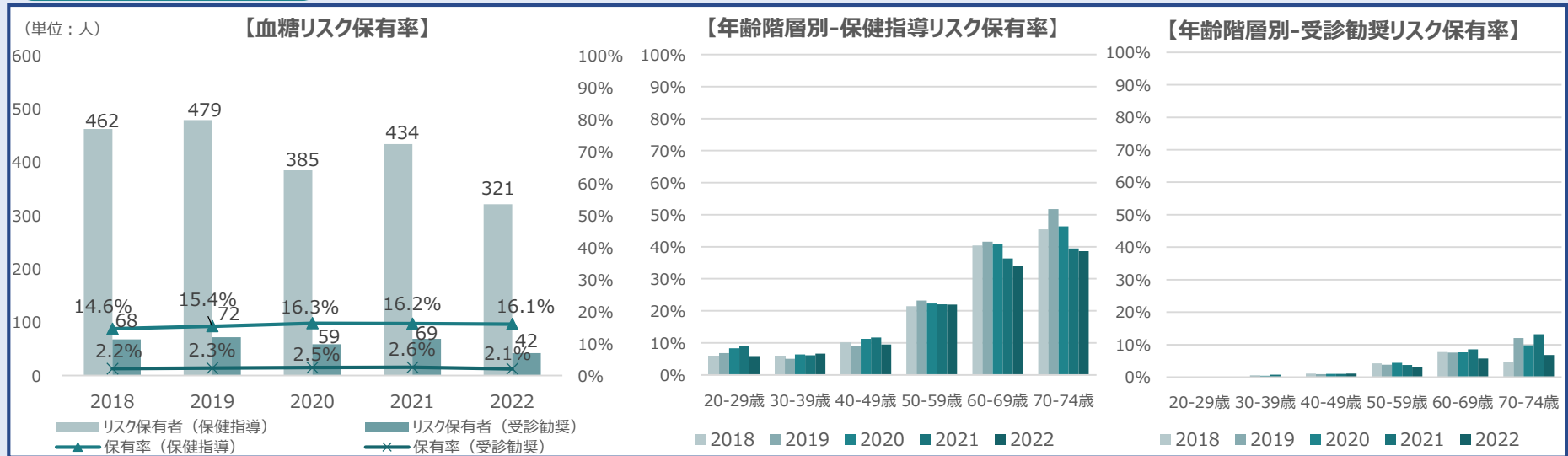
保健指導レベル：空腹時血糖値 及び HbA1c 両方に値がある場合は、空腹時100mg/dl以上で判定
片方だけの場合は、空腹時血糖値100mg/dl以上、HbA1c 5.6%以上で判定

受診勧奨レベル：空腹時血糖値126mg/dl以上、または随時血糖値126mg/dl以上、またはHbA1c 6.5%以上

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

6-5. 40歳未満を含む脂質リスク保有者 経年比較

2018-2022年度

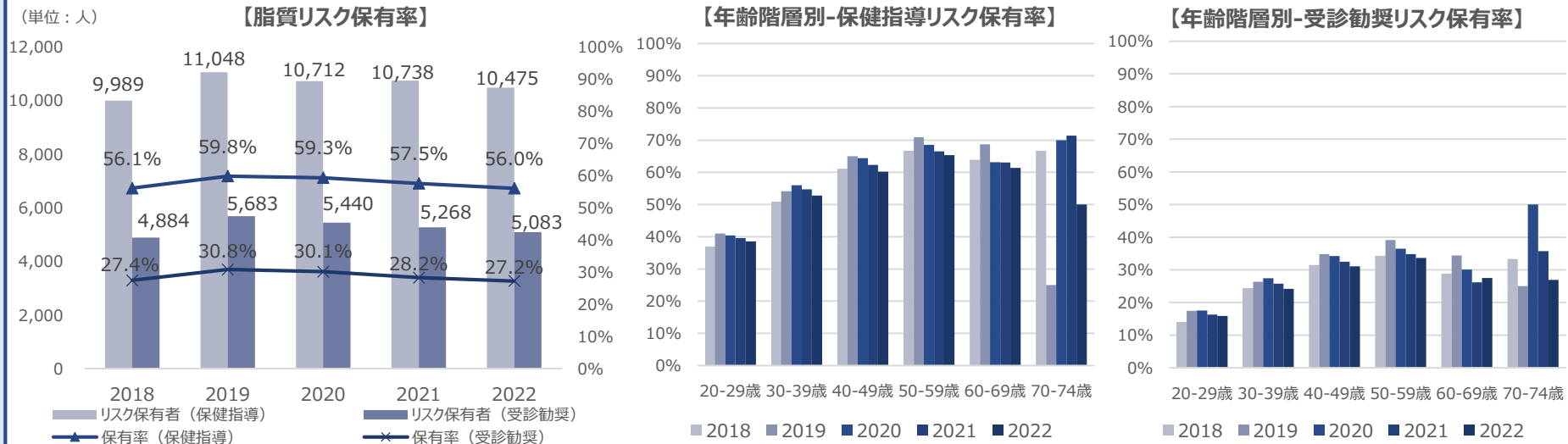
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

<脂質リスク保有者の判定基準>

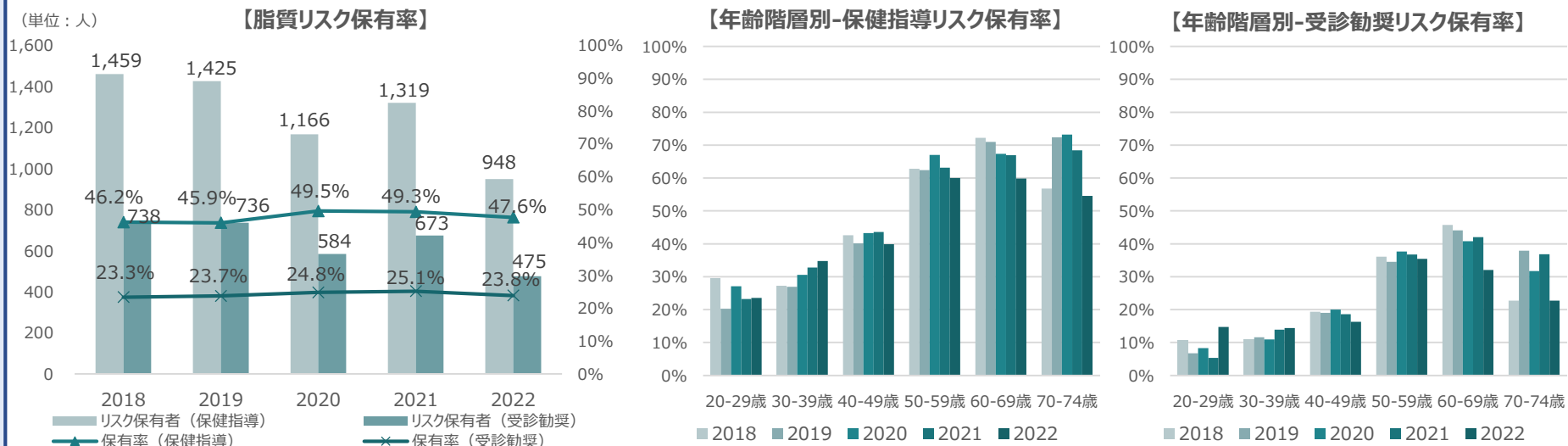
保健指導レベル：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール120mg/dl以上

受診勧奨レベル：中性脂肪300mg/dl以上、またはLDLコレステロール140mg/dl以上

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

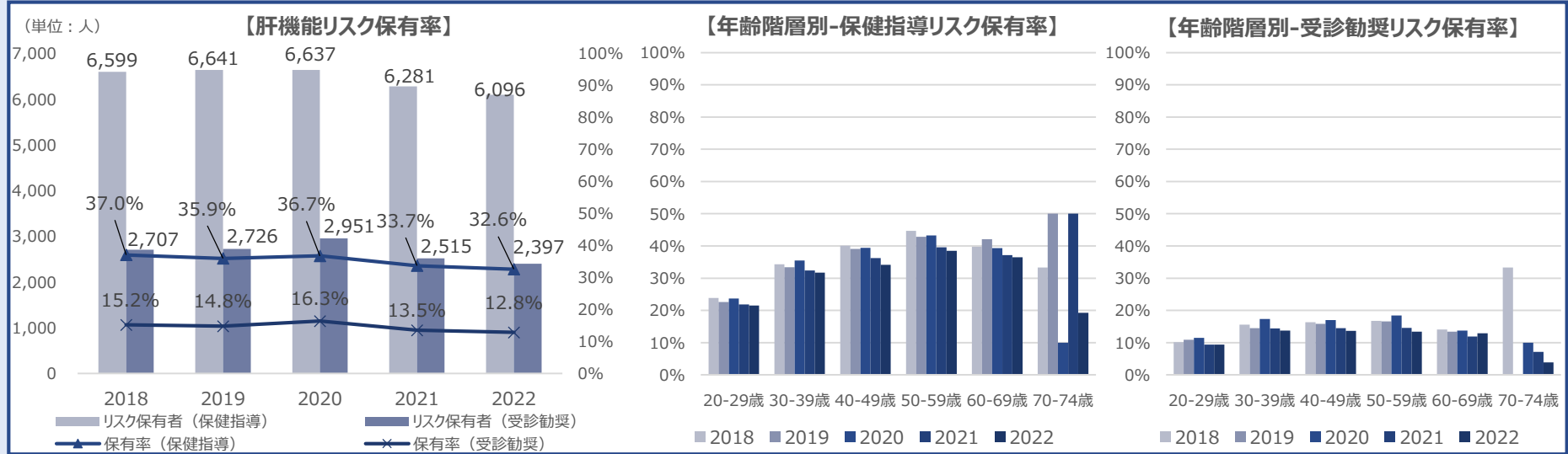
6-6. 40歳未満を含む肝機能リスク保有者 経年比較

2018-2022年度

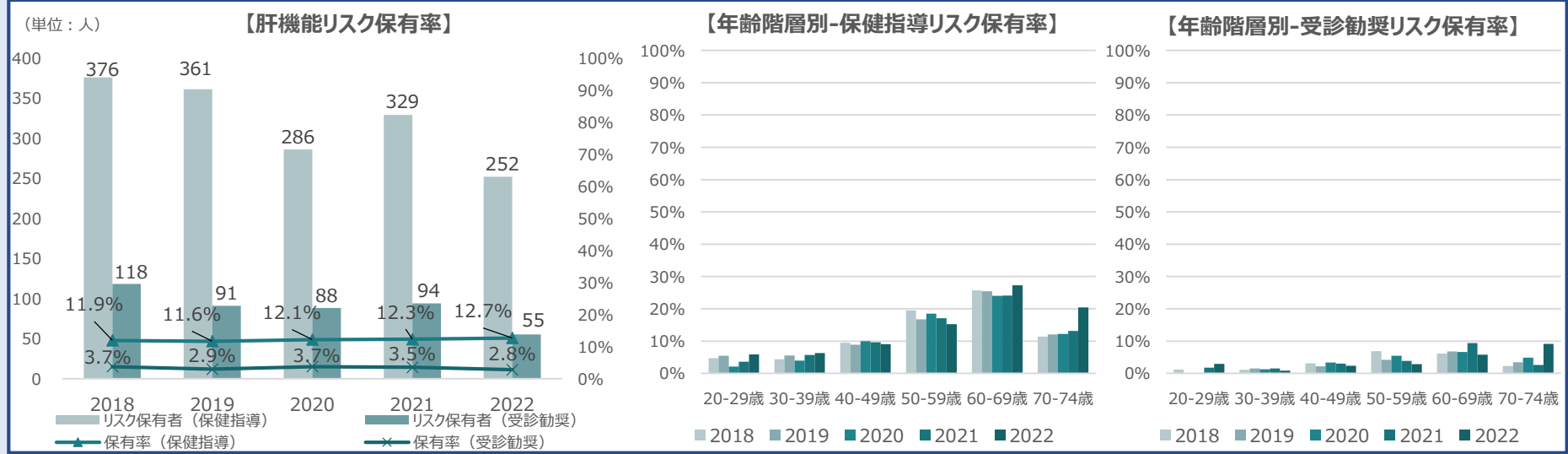
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

＜肝機能リスク保有者の判定基準＞
 保健指導レベル：AST31以上、またはALT31以上、またはγ-GT51以上
 受診勧奨レベル：AST51以上、またはALT51以上、またはγ-GT101以上

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

6-7. 40歳未満を含む腎機能リスク保有者 経年比較

2018-2022年度

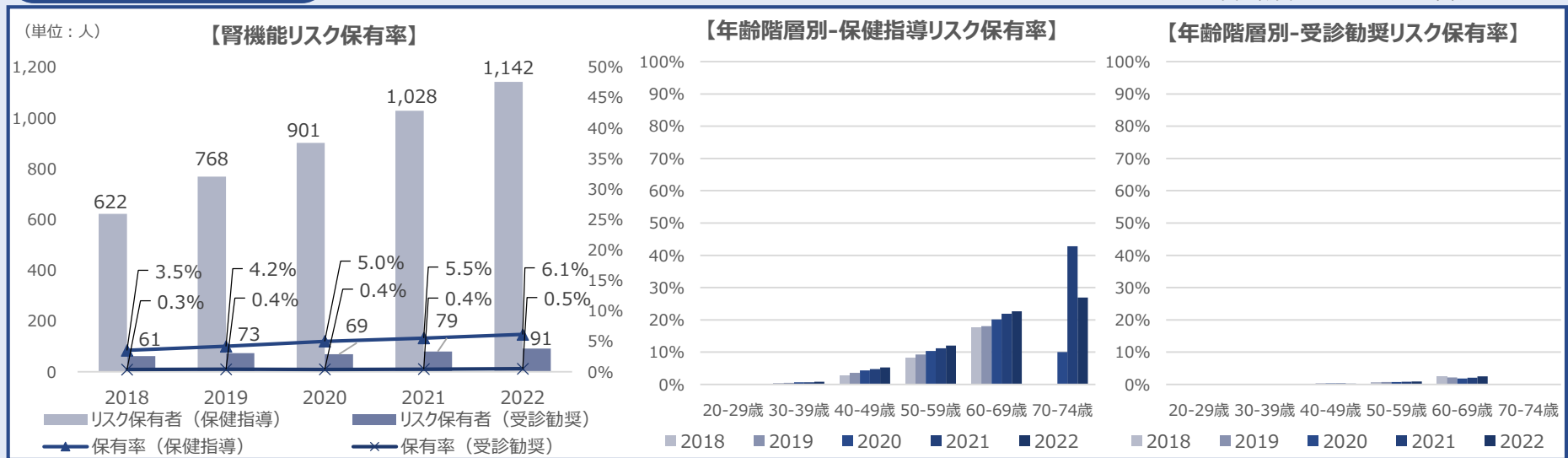
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

＜腎機能リスク保有者の判定基準＞

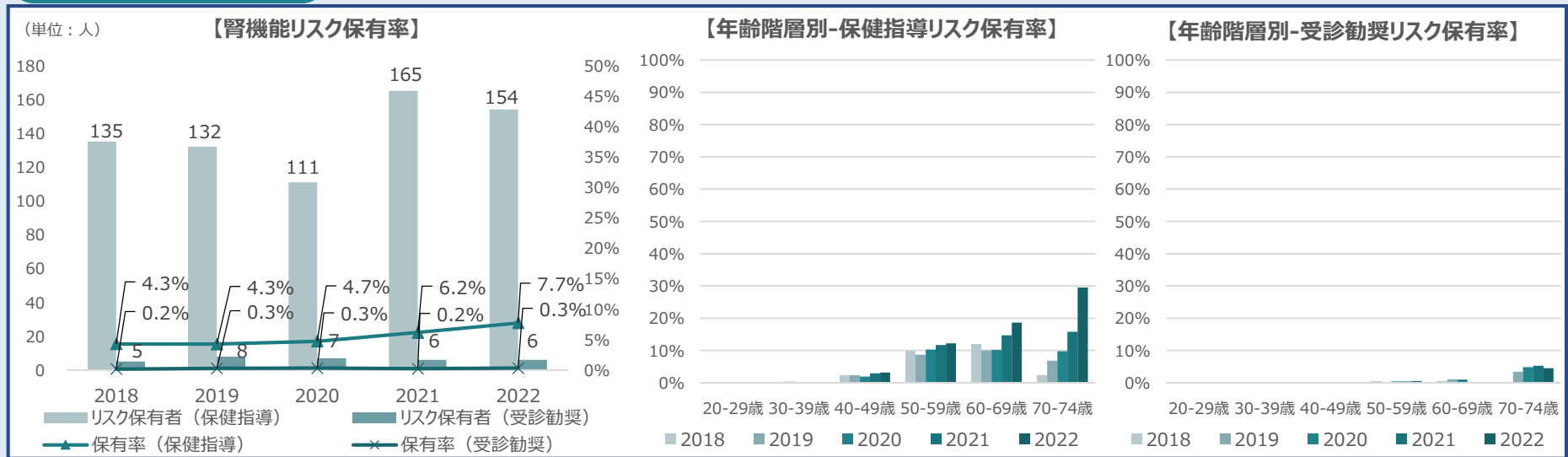
保健指導レベル：eGFR 60未満

受診勧奨レベル：eGFR 45未満

被保険者



被扶養者



6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 2022年度該当者数及び受診状況等

2022年度

<通院の定義>

下記ICD-10の発生有無により判定
 血圧：I10, I11, I12, I13, I15
 血糖：E10, E11, E12, E13, E14
 脂質：E78

<服薬の定義>

各疾病の医薬品が処方されていること
 (健診の服薬回答ではない)

加入者全体

カテゴリ	レベル	項目	検査値	該当人数	通院有無人数			服薬人数	割合			
					通院なし	通院あり			未通院率	通院率	服薬率	
						疑いなし	疑いあり					合計
血圧	早期通院	収縮期	180以上	101	21	79	1	80	65	20.8%	79.2%	64.4%
		拡張期	110以上									
	要通院	収縮期	160~179	435	145	288	2	290	222	33.3%	66.7%	51.0%
		拡張期	100~109									
	受診勧奨	収縮期	140~159	1,836	1,186	647	3	650	535	64.6%	35.4%	29.1%
		拡張期	90~99									
血糖	早期通院	空腹時血糖 随時血糖	180以上	253	21	231	1	232	211	8.3%	91.7%	83.4%
		HbA1c	8.0以上									
	要通院	空腹時血糖 随時血糖	140~180	353	16	314	23	337	264	4.5%	95.5%	74.8%
		HbA1c	7.0~7.9									
	受診勧奨	空腹時血糖 随時血糖	126~139	410	55	303	52	355	190	13.4%	86.6%	46.3%
		HbA1c	6.5~6.9									
脂質	早期通院	LDL	-	35	9	25	1	26	17	25.7%	74.3%	48.6%
		中性脂肪	1,000以上									
	要通院	LDL	180以上	777	220	530	27	557	257	28.3%	71.7%	33.1%
		中性脂肪	500~999									
	受診勧奨	LDL	140~180	4,746	2,821	1,777	148	1,925	614	59.4%	40.6%	12.9%
		中性脂肪	300~499									

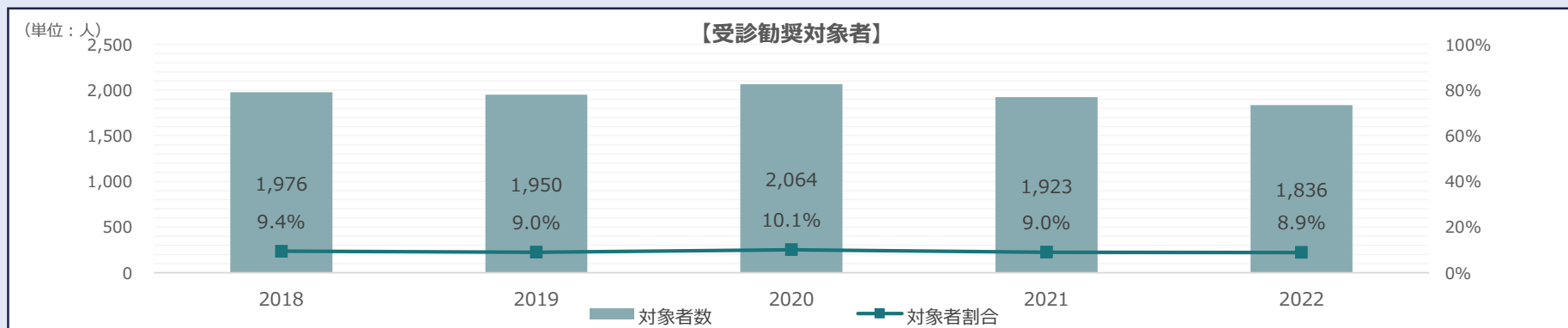
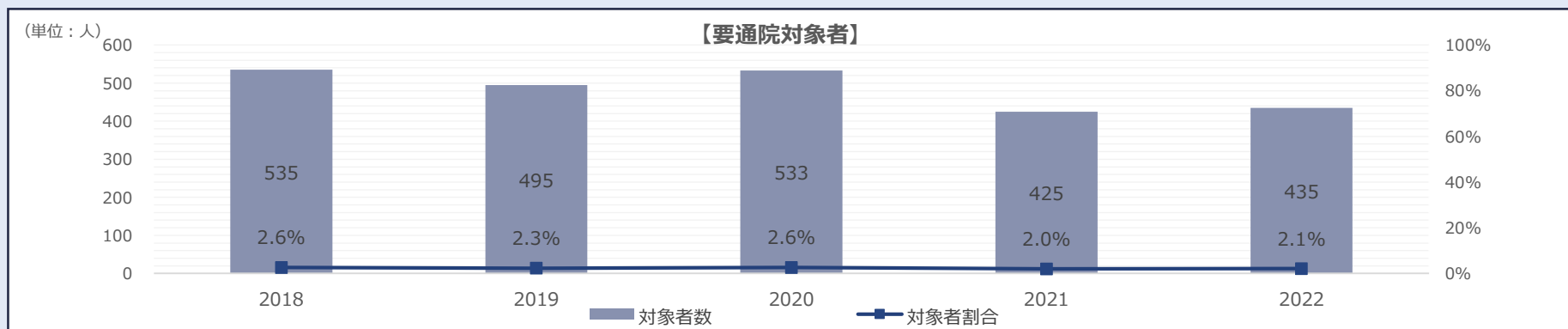
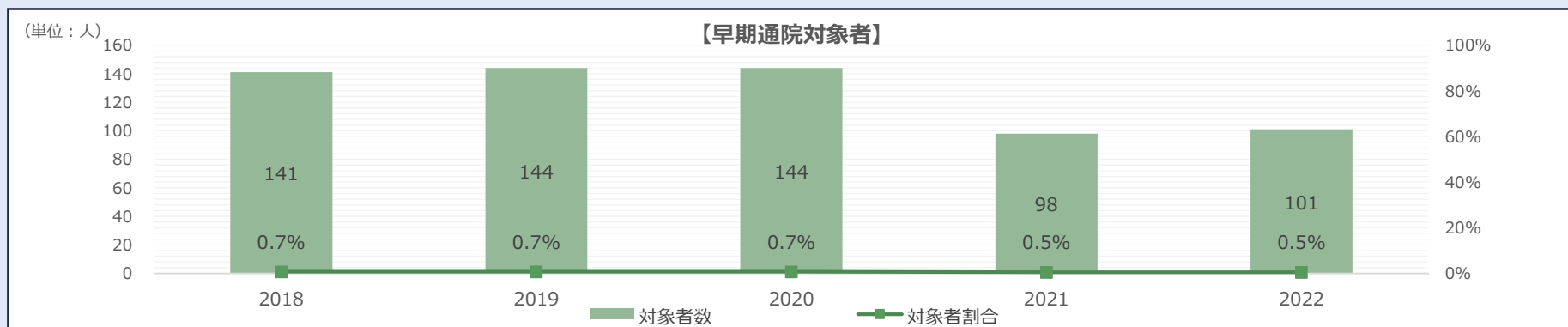
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 血圧経年比較

2018-2022年度

※分母は健診受診者全員

加入者全体



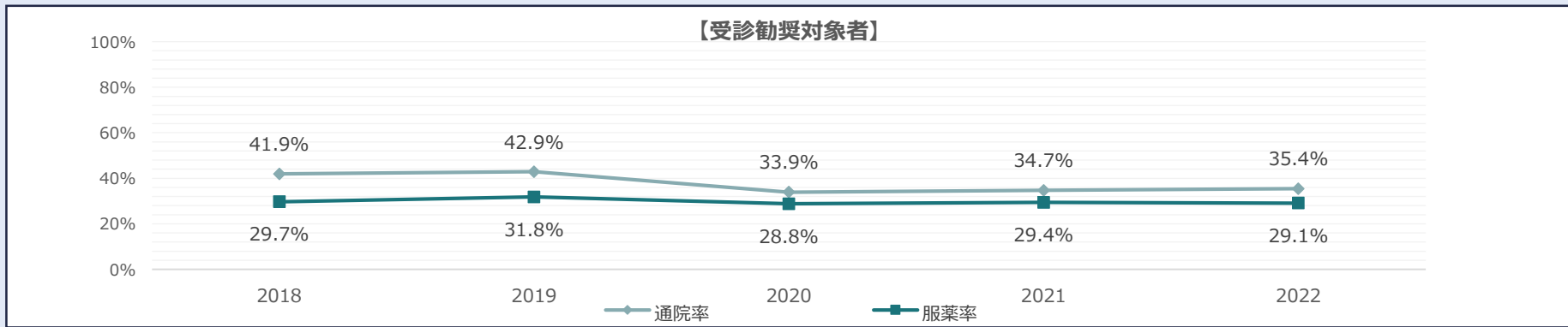
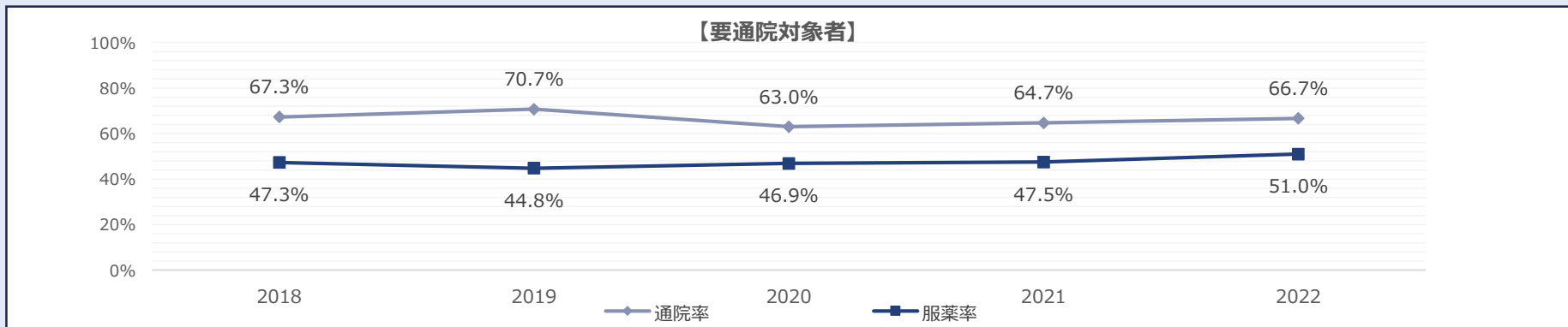
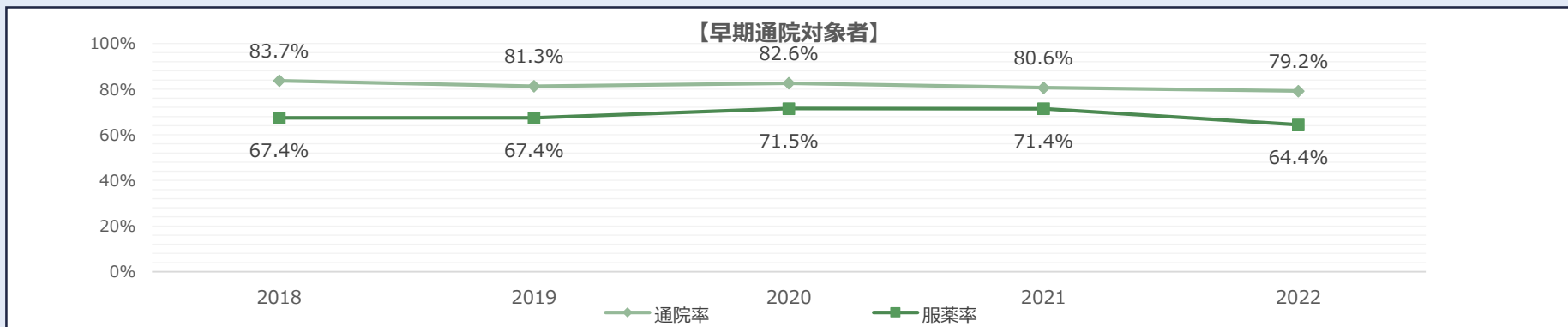
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 血压 通院・服薬状況 経年比較

2018-2022年度

※分母はカテゴリの該当者数

加入者全体



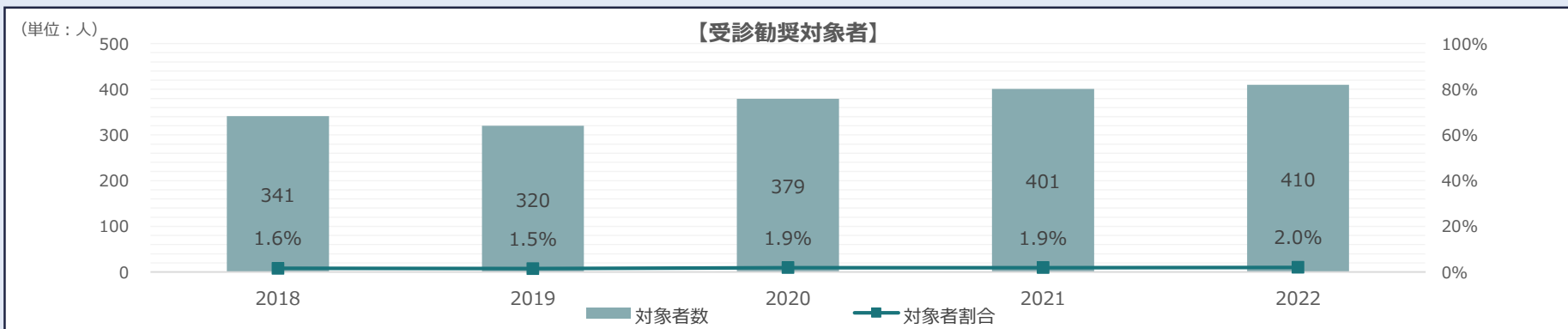
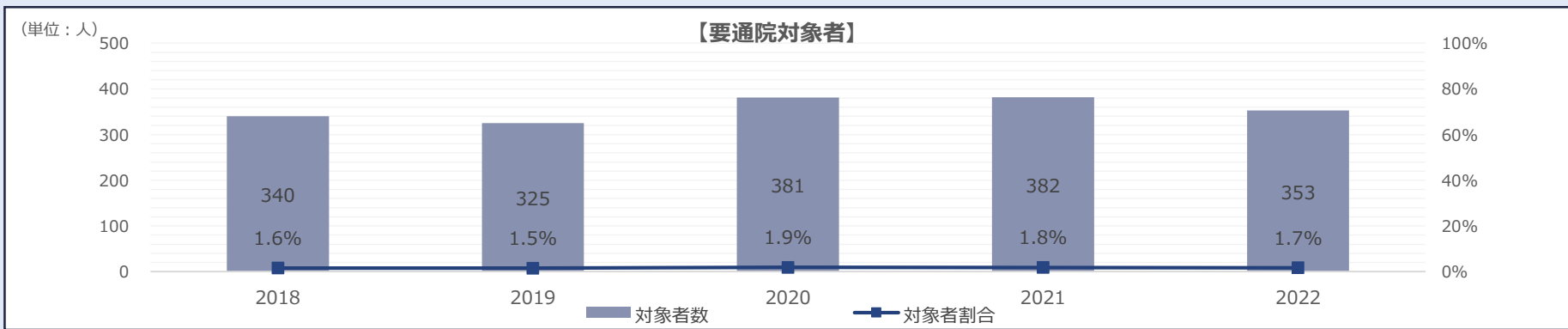
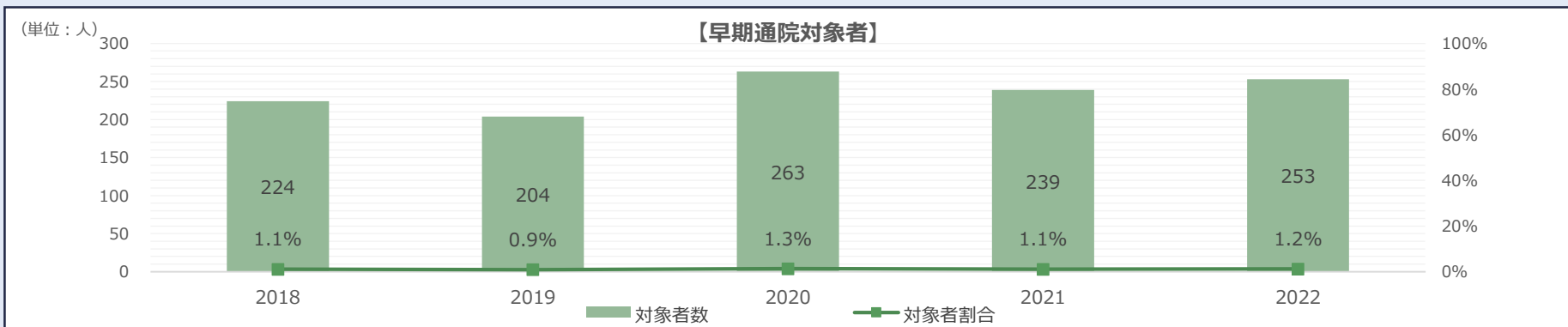
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 脂質経年比較

2018-2022年度

※分母は健診受診者全員

加入者全体



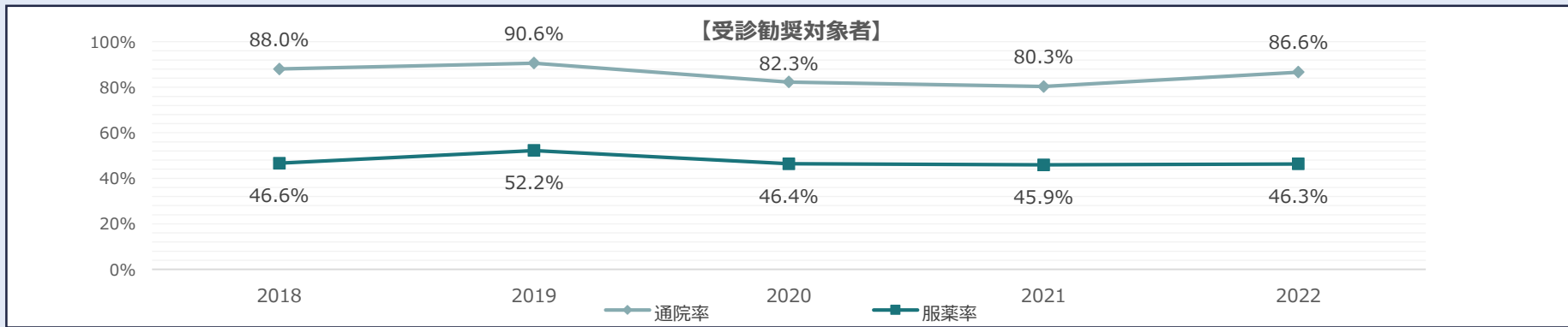
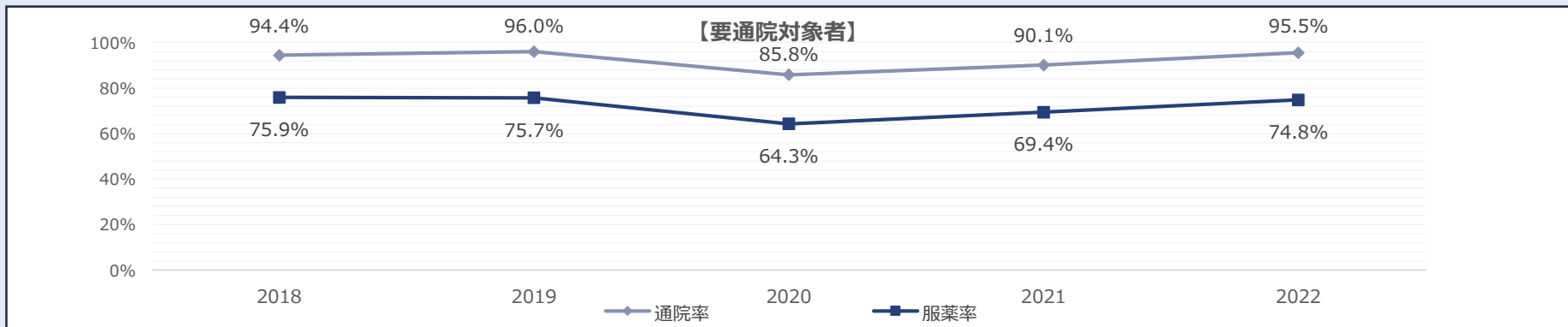
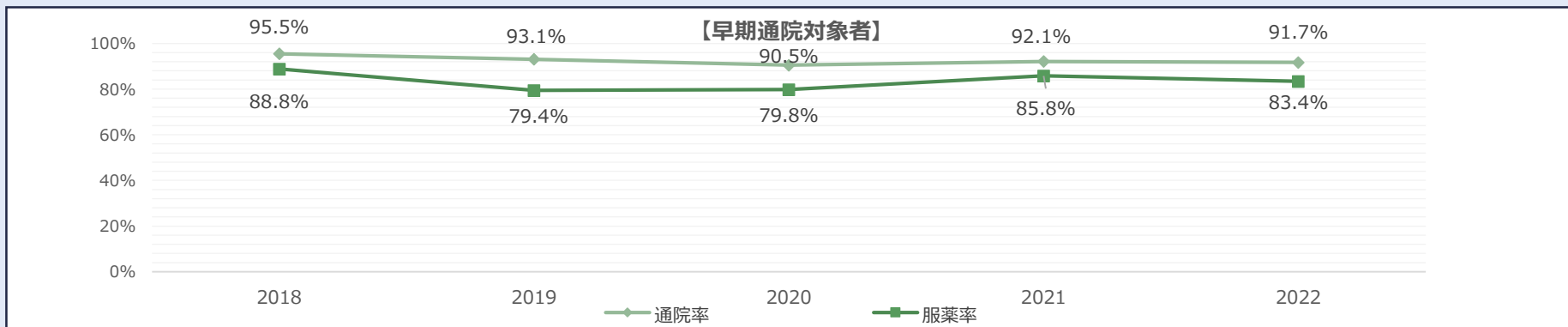
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 血糖 通院・服薬状況 経年比較

2018-2022年度

※分母はカテゴリの該当者数

加入者全体



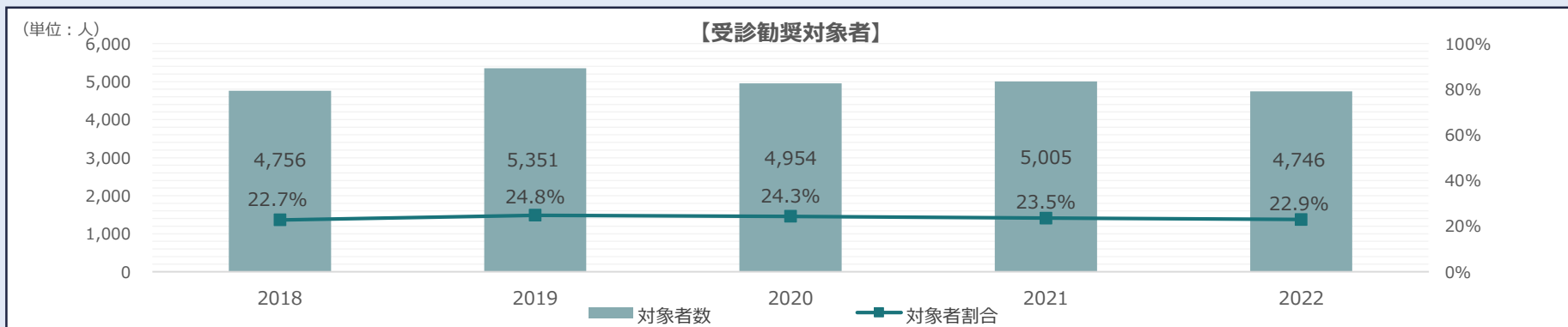
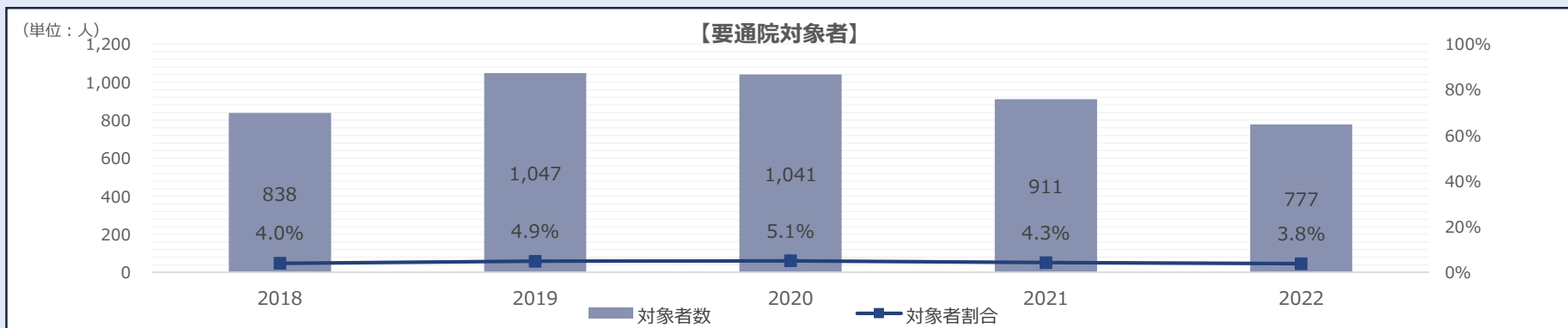
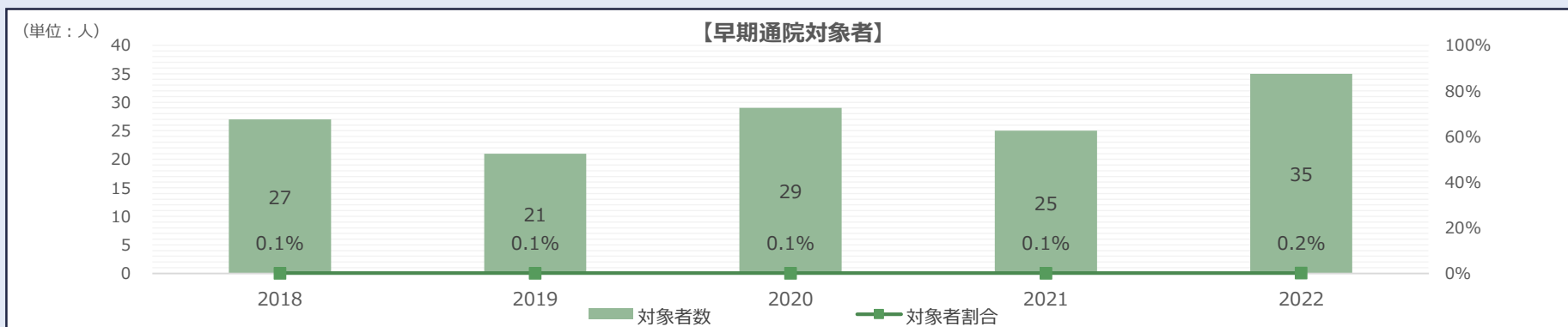
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 脂質経年比較

2018-2022年度

※分母は健診受診者全員

加入者全体



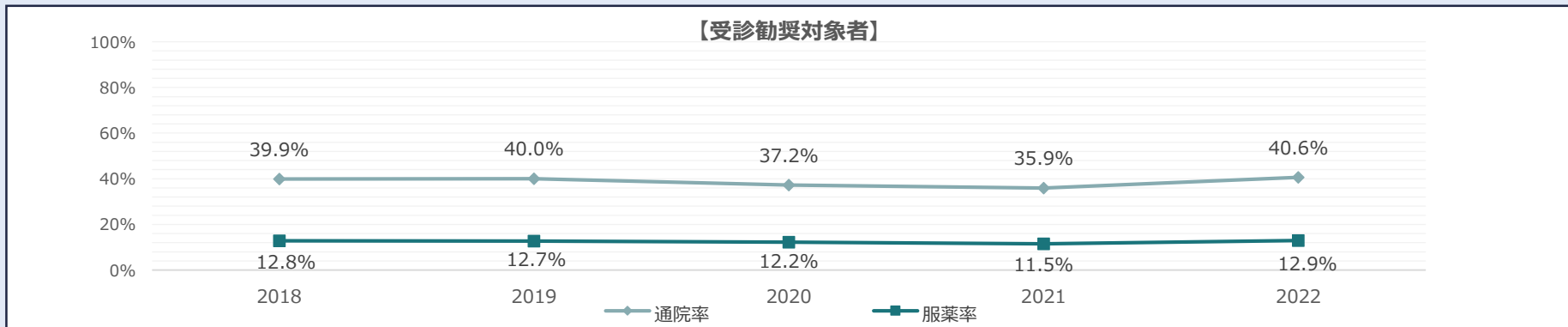
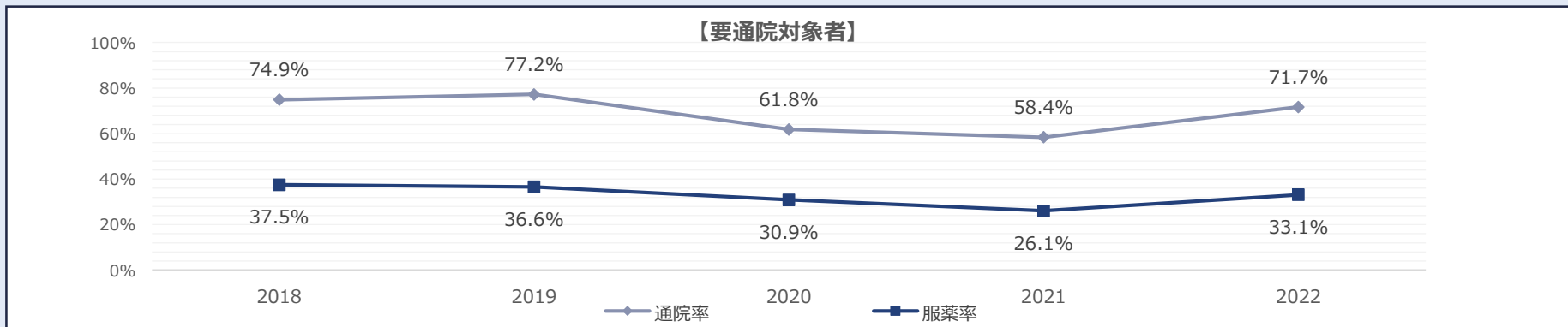
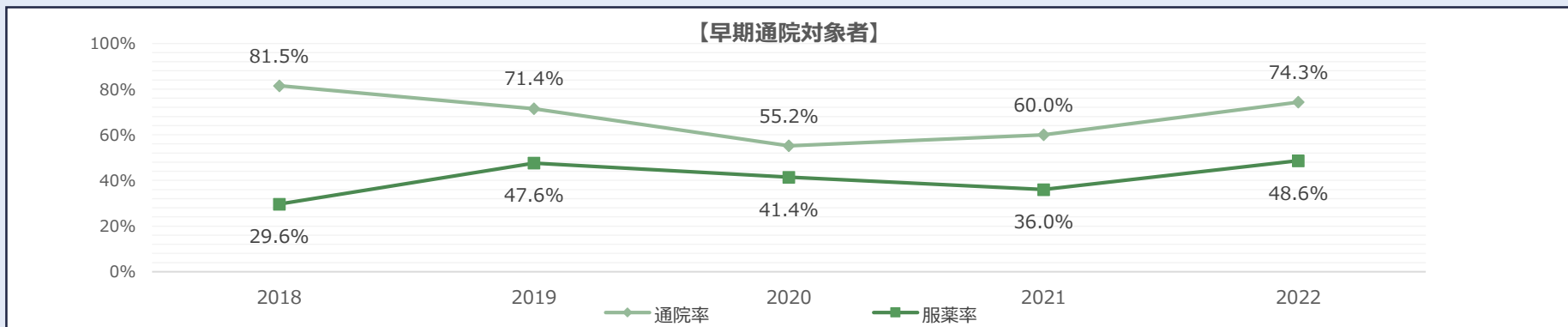
6. 健康リスクの状況

6-8.高リスク者 - 脂質 通院・服薬状況 経年比較

2018-2022年度

※分母はカテゴリの該当者数

加入者全体

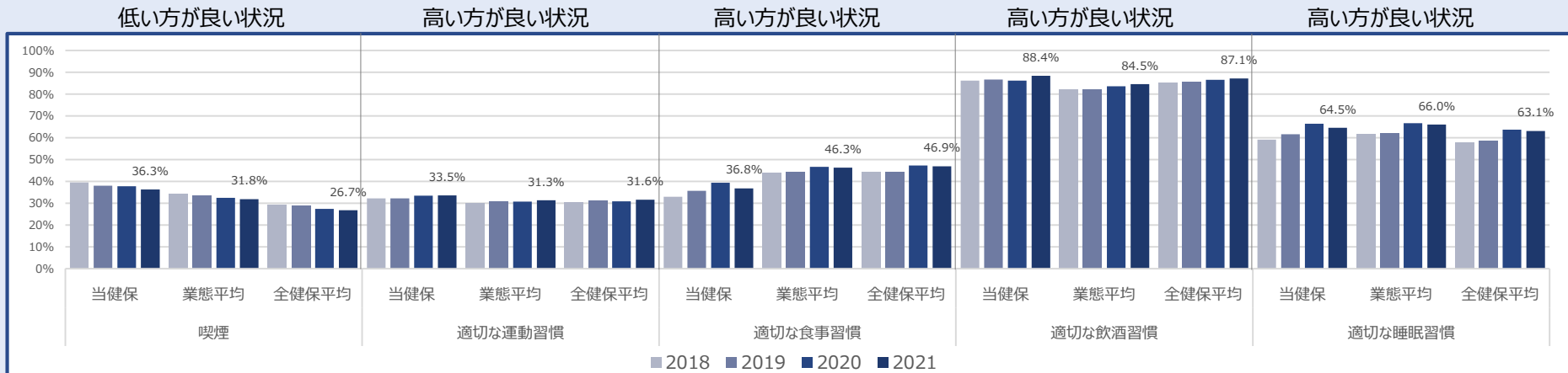


7. 生活習慣の状況

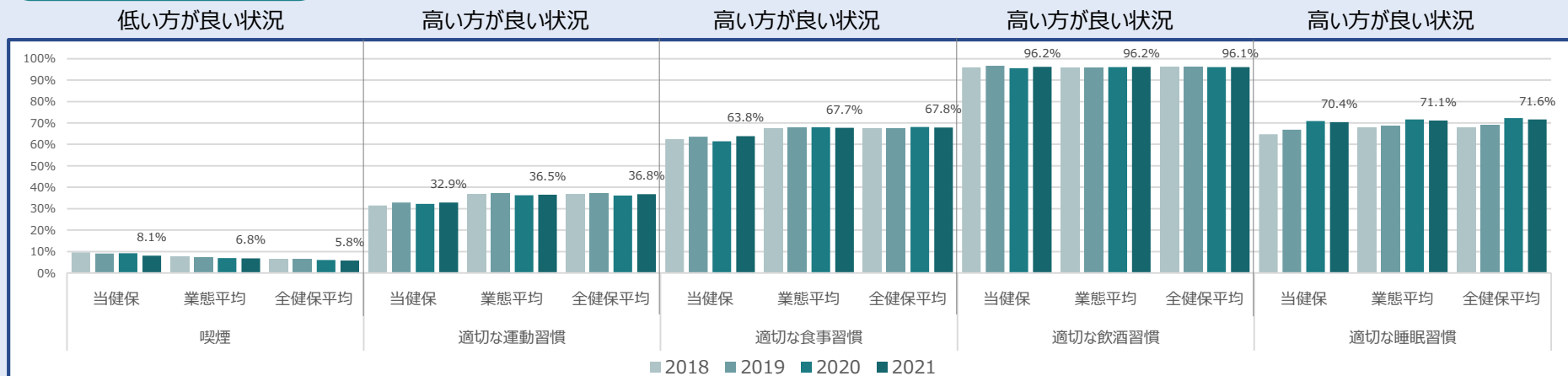
7-1. 健康スコアリングレポートから見る40歳以上の生活習慣の状況

2018-2021年度
※分母は40歳以上のみ

被保険者



被扶養者



<適正な生活習慣を有する者の定義>

- 喫煙：問診「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者
- 適切な運動：運動習慣に関する3つの問診項目 ①から③のうち2つ以上が適切
運動習慣に関する問診項目の「適切」の該当基準 ①「1回30分以上の軽く汗をかき運動を週2日以上、1年以上実施」の回答が「はい」 ②「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」の回答が「はい」 ③「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」の回答が「はい」
- 適切な食事：食事習慣に関する4つの問診項目 ①から④のうち3つ以上が適切 ※2017年度以前は③が「夕食後に間食をしていますか」であったため、2018年度から「適切な食事習慣」の割合が下がっている
食事習慣に関する問診項目の「適切」の該当基準 ①「人と比較して食べる速度が速い」の回答が「ふつう」または「遅い」 ②「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」の回答が「いいえ」 ③「朝食夕方の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか」の回答が「ほとんど摂取しない」 ④「朝食を抜くことが週に3回以上ある」の回答が「いいえ」
- 適切な飲酒：「多量飲酒群」（①または②）に該当しない者 ①飲酒頻度が「毎日」で1日あたり飲酒量が2合以上の ②飲酒頻度が「時々」で1日あたり飲酒量が3合以上の者
- 適切な睡眠：問診「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者

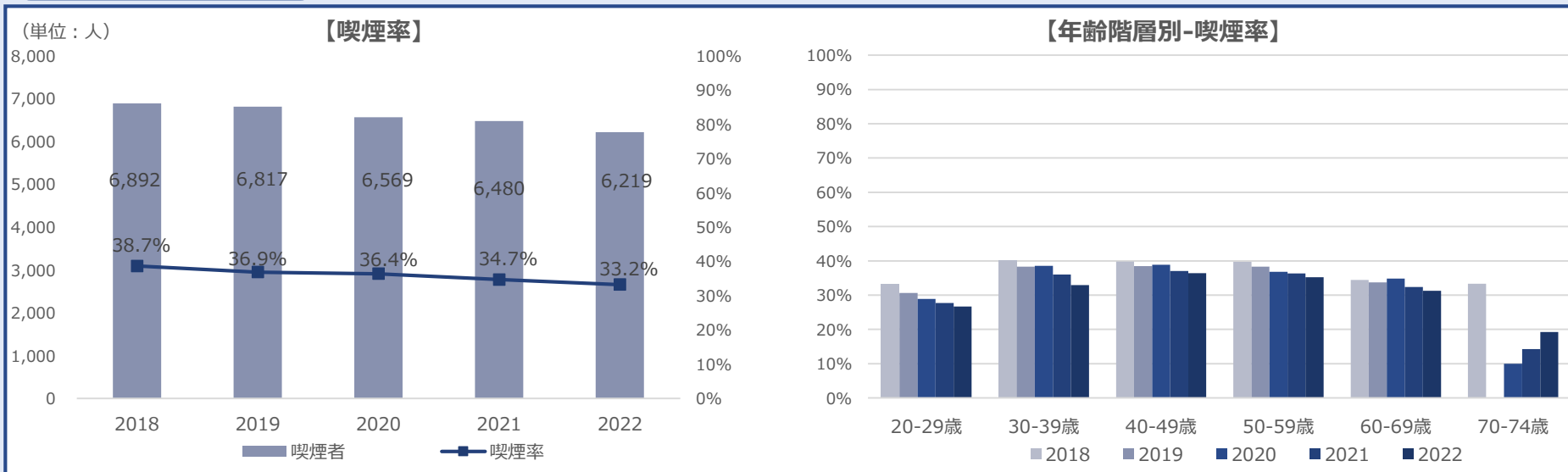
7. 生活習慣の状況

7-2. 40歳未満を含む喫煙 経年比較

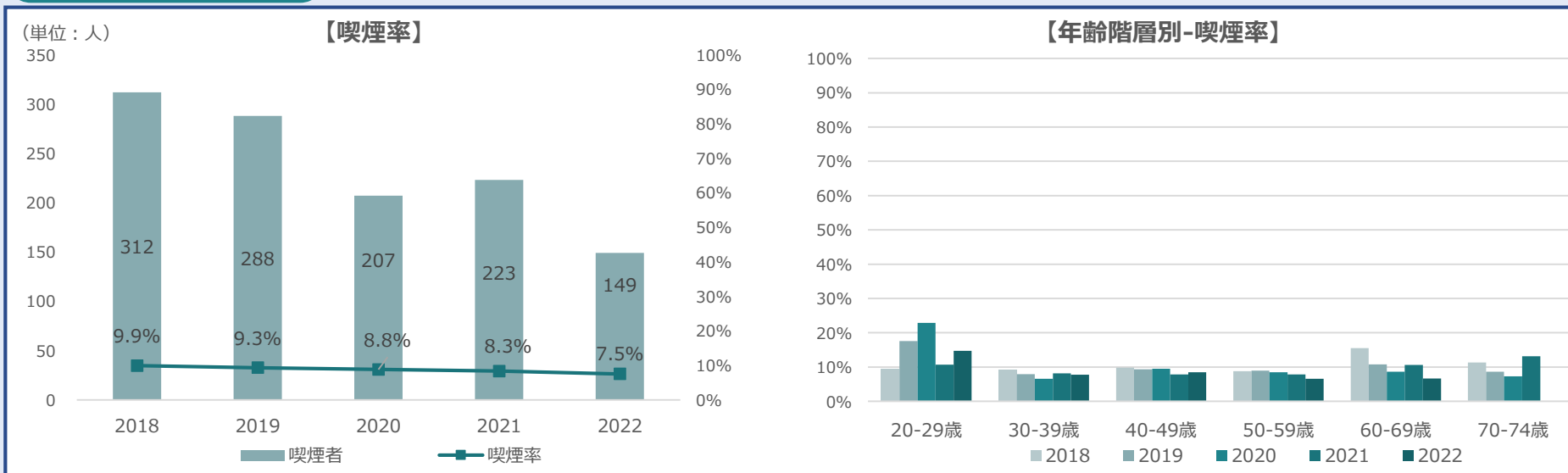
2018-2022年度

※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

被保険者



被扶養者



7. 生活習慣の状況

7-3. 40歳未満を含む運動習慣 経年比較

2018-2022年度

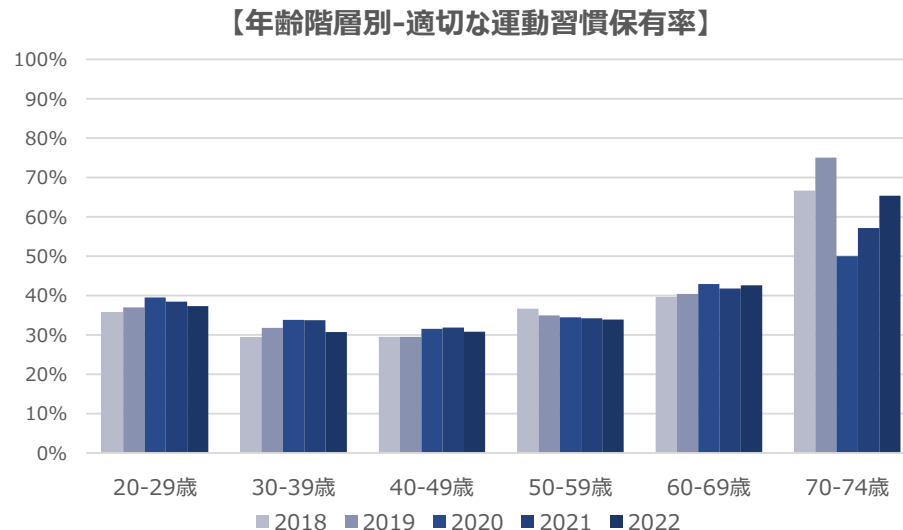
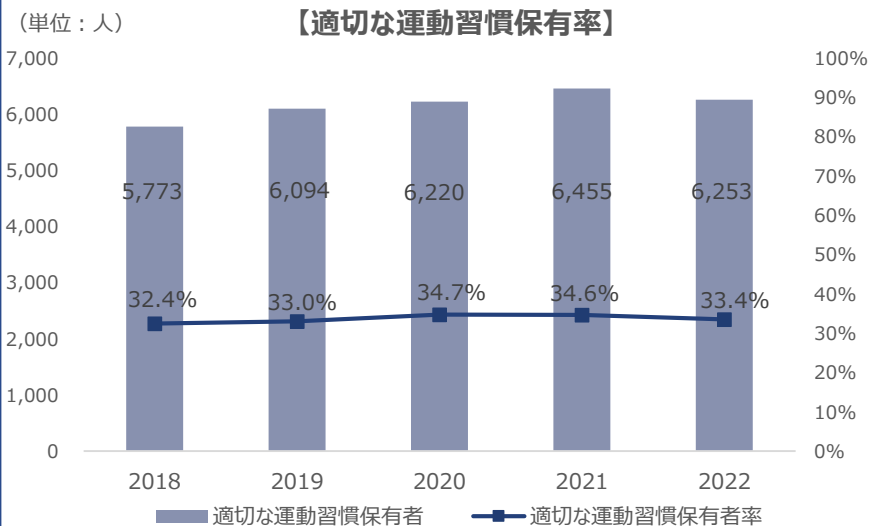
被保険者

<適切な運動習慣の判定基準>

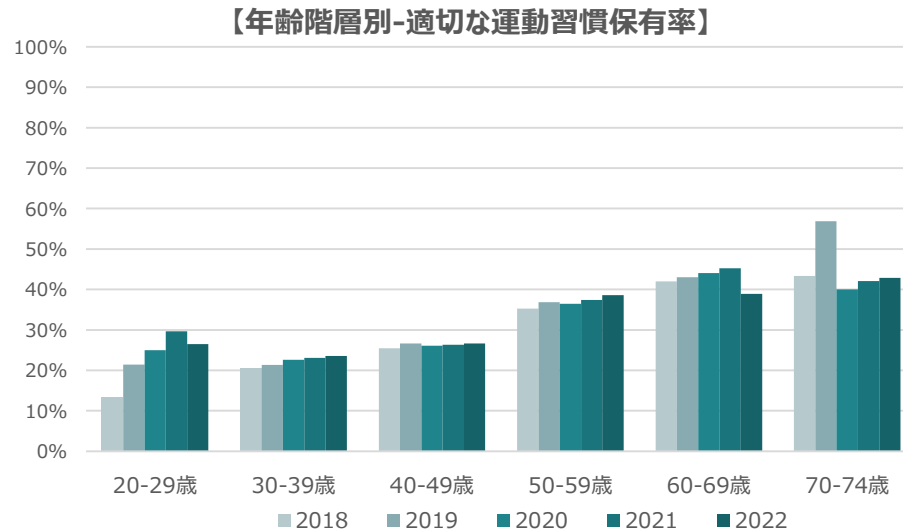
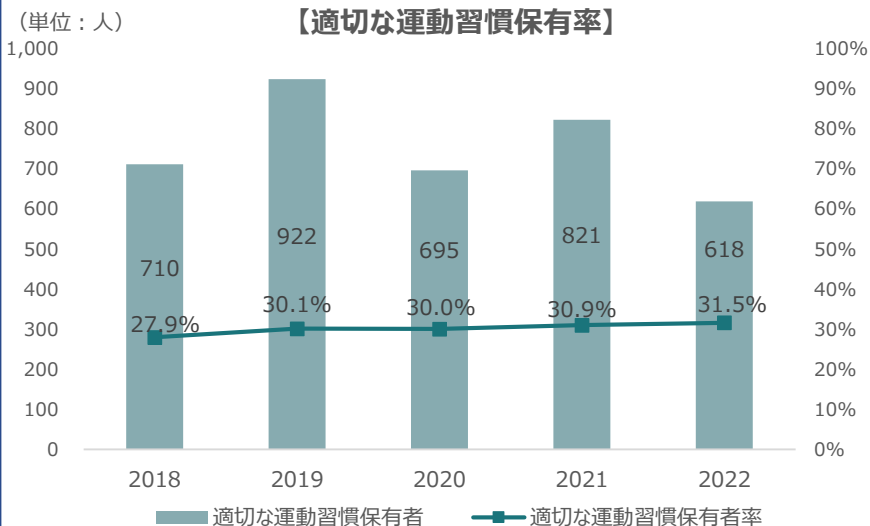
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

運動習慣に関する3つの問診項目のうち2つ以上が適切と回答

（スコアリングレポートの集計基準と合わせて問診項目に2つ以上回答している方だけを集計対象とする）



被扶養者



7. 生活習慣の状況

7-4. 40歳未満を含む食事習慣 経年比較

2018-2022年度

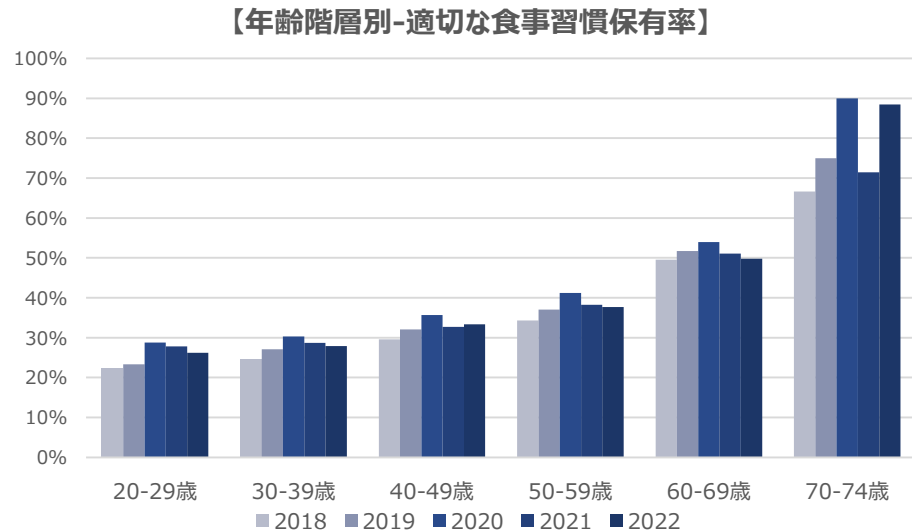
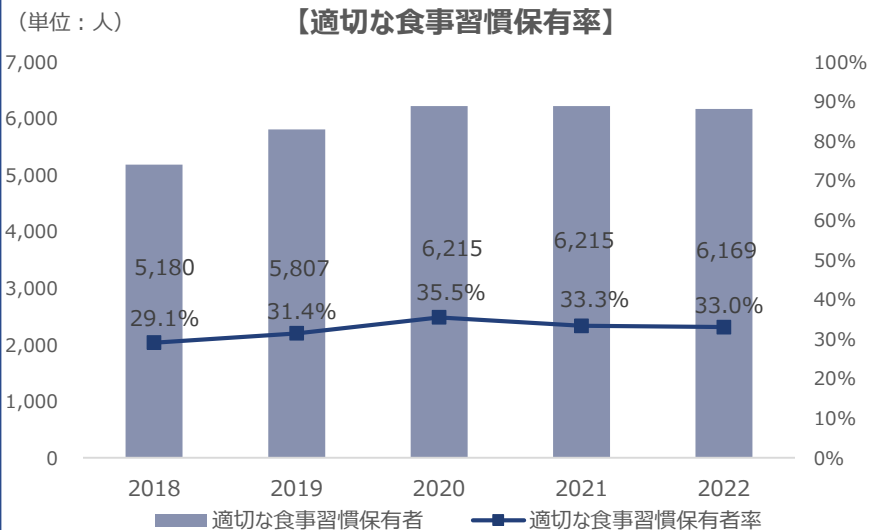
被保険者

<適切な食事習慣の判定基準>

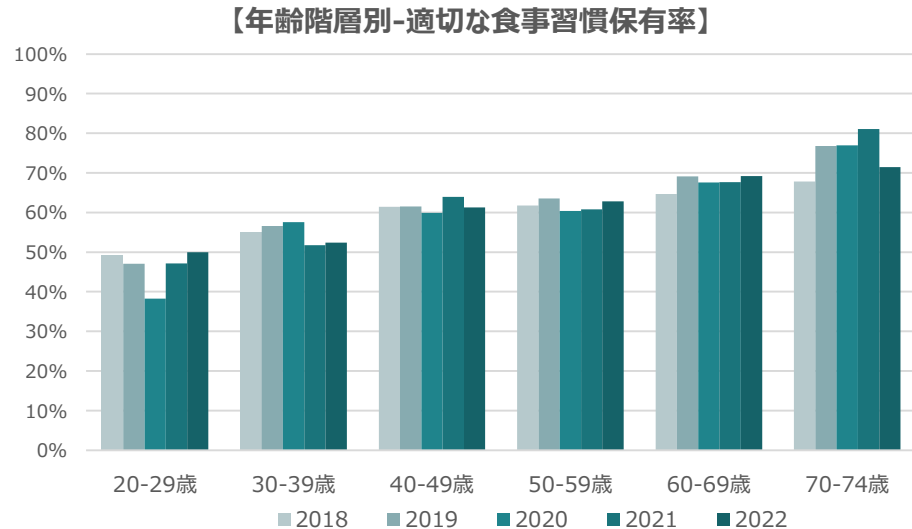
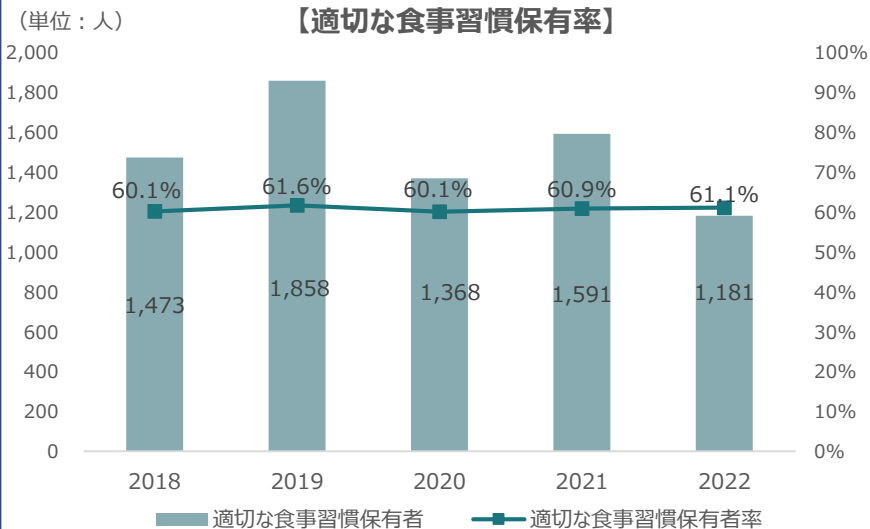
※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

食事習慣に関する4つの問診項目のうち3つ以上が適切と回答

（スコアリングレポートの集計基準と合わせて問診項目4つ全てに回答している方だけを集計対象とする）



被扶養者



7. 生活習慣の状況

7-5. 40歳未満を含む飲酒習慣 経年比較

2018-2022年度

※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

＜適切な飲酒習慣の判定基準＞

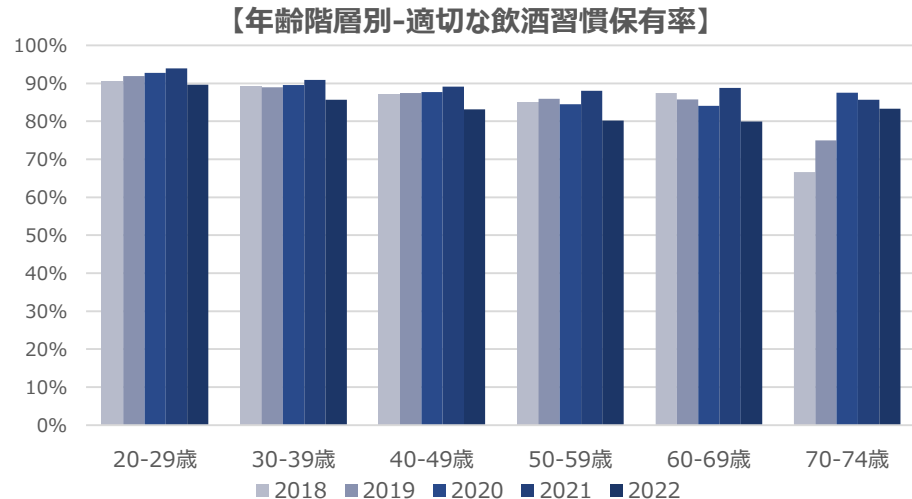
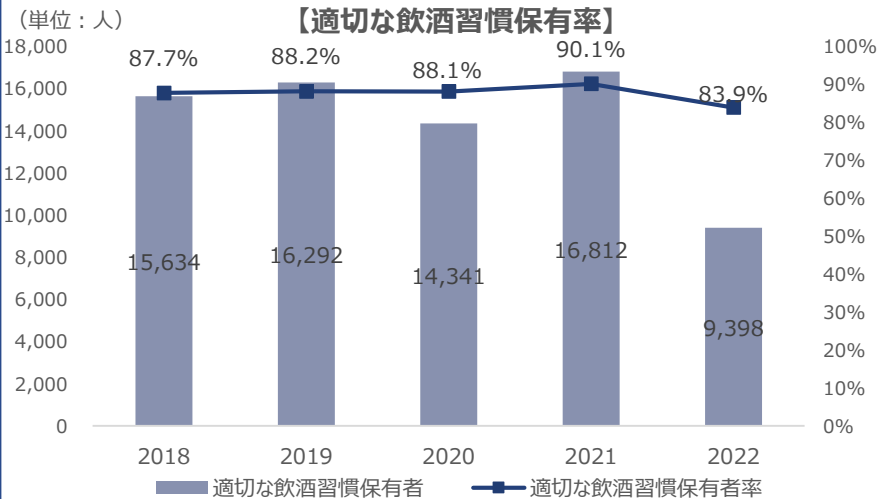
「多量飲酒群」（①または②）に該当しない者

① 飲酒頻度が「毎日」で1日あたり飲酒量が「2合以上」の者

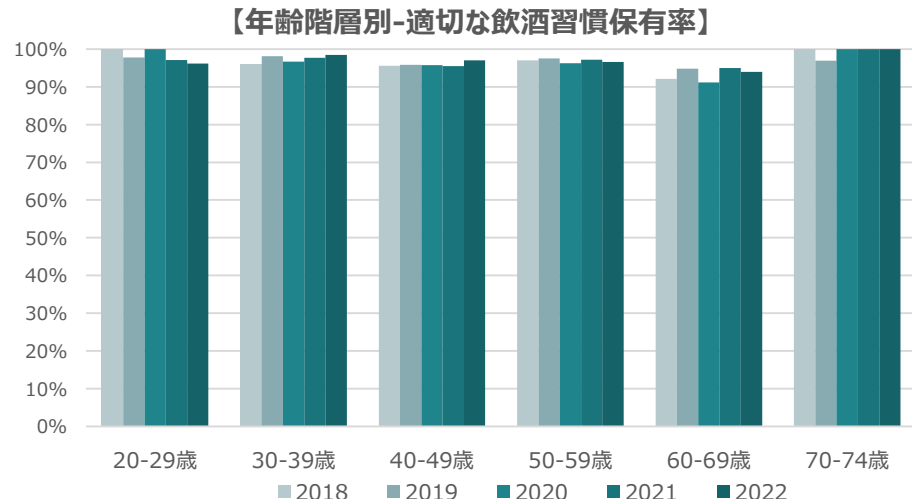
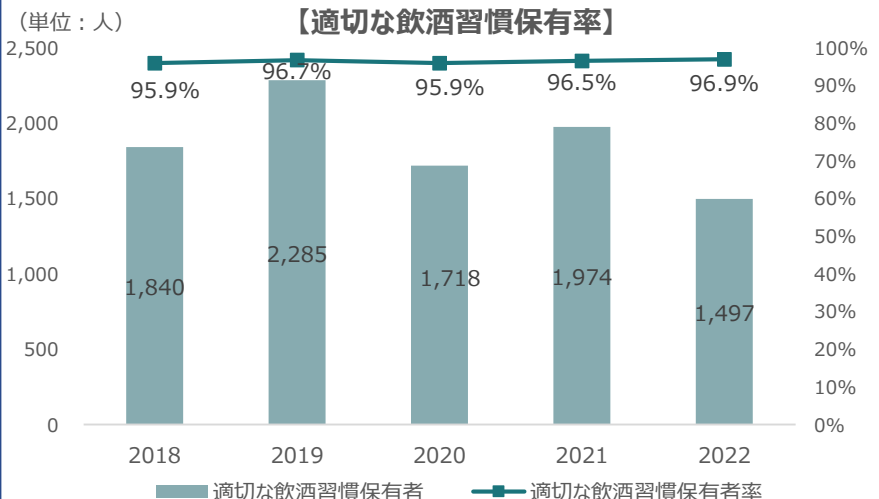
② 飲酒頻度が「時々」で1日あたり飲酒量が「3合以上」の者

（スコアリングレポートの集計基準と合わせて両項目に回答している方だけを集計対象とする）

被保険者



被扶養者



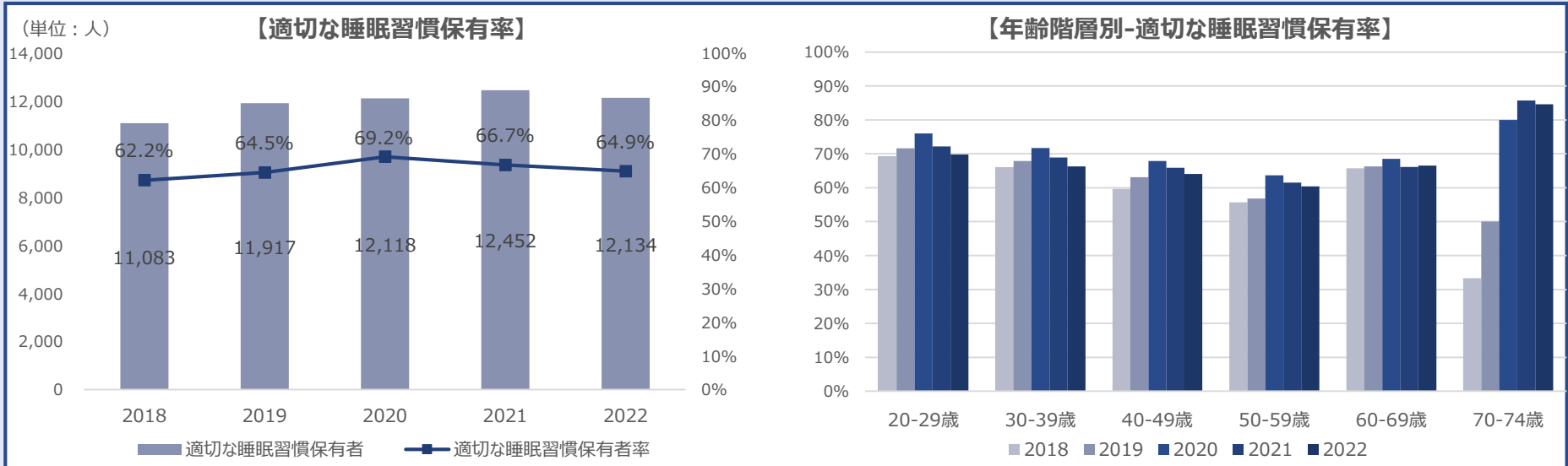
7. 生活習慣の状況

7-6. 40歳未満を含む睡眠習慣 経年比較

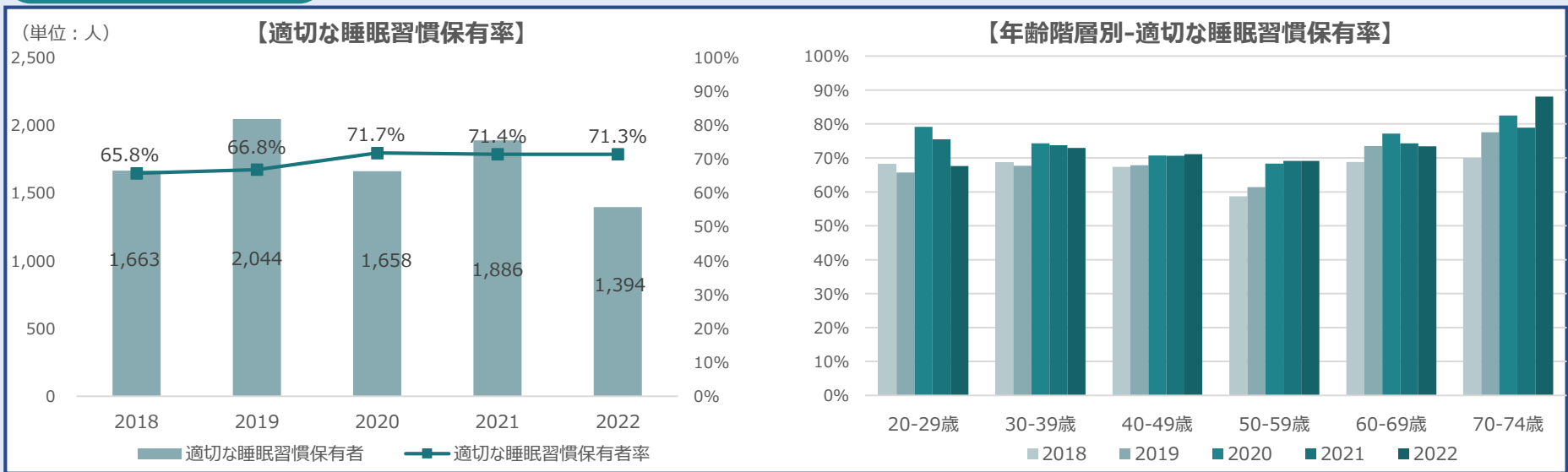
2018-2022年度

※分母は健診受診者全員（40歳未満も含む）

被保険者



被扶養者



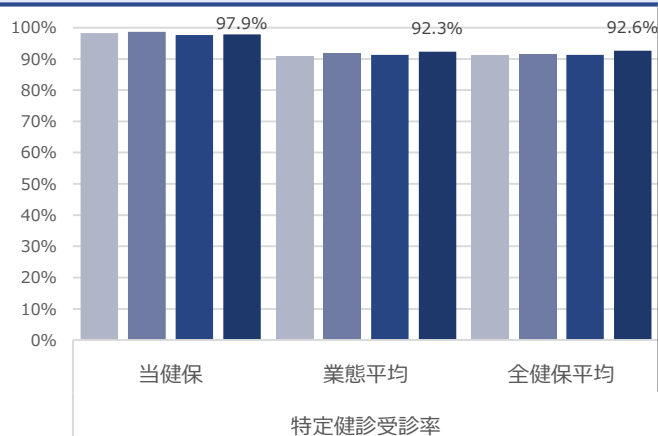
8. 特定健診・特定保健指導の状況

8-1. 健康スコアリングレポートから見る特定健診・特定保健指導の状況

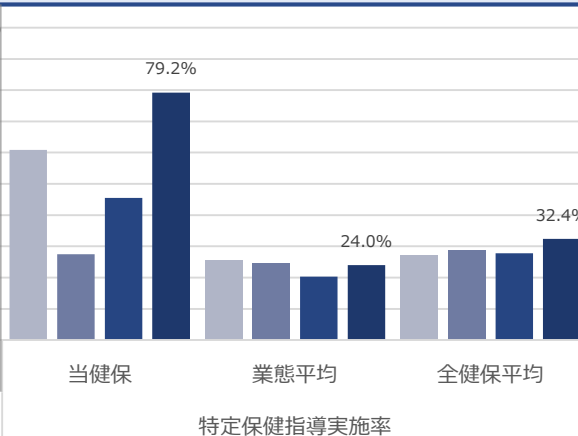
2018-2021年度

被保険者

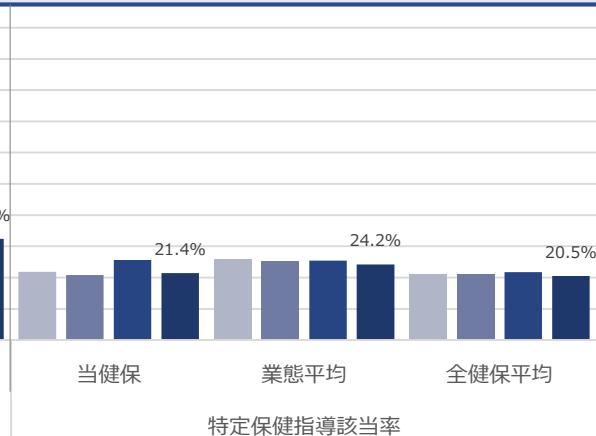
高い方が良い状況



高い方が良い状況



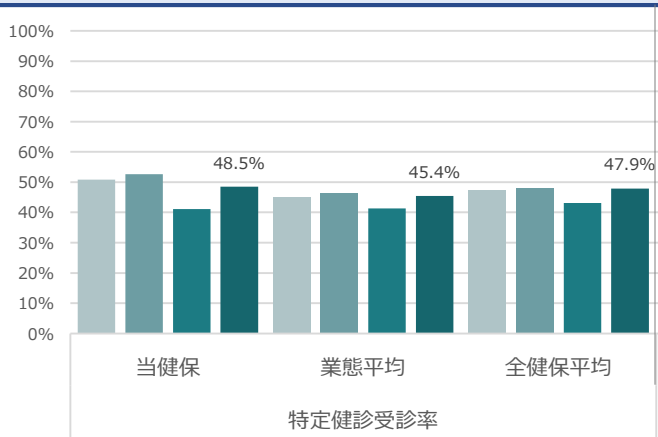
低い方が良い状況



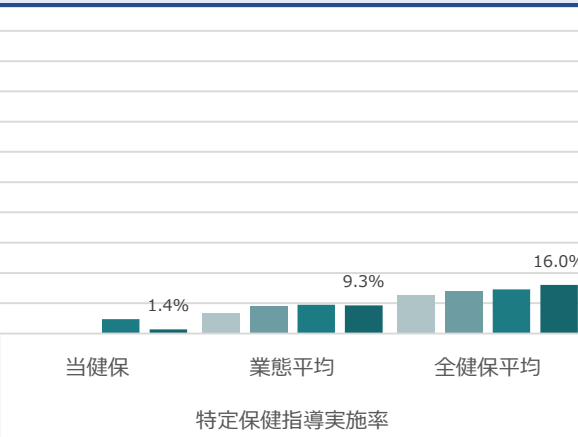
■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021

被扶養者

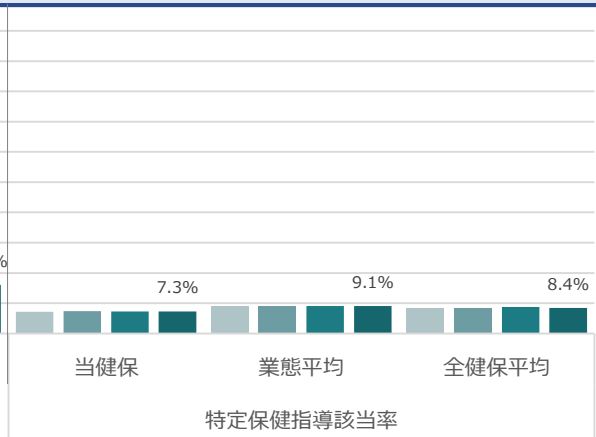
高い方が良い状況



高い方が良い状況



低い方が良い状況



■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021

8. 特定健診・特定保健指導の状況

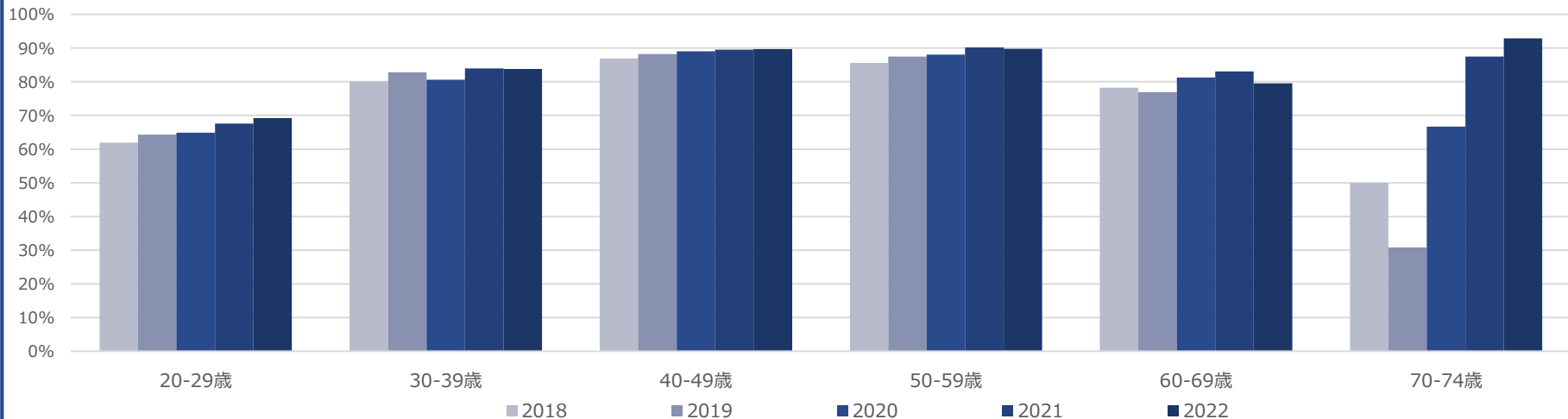
8-2. 40歳未満を含む健診受診率 経年比較

2018-2022年度

※分母は当該年度に在籍履歴がある方全員

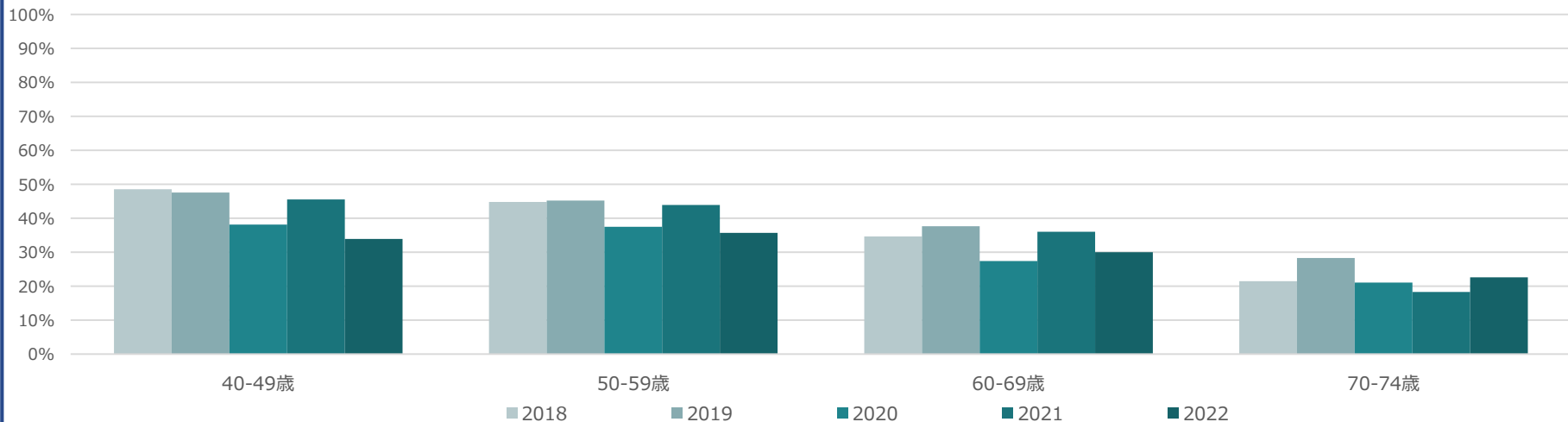
被保険者

【年齢階層別-健診受診率】



被扶養者

【年齢階層別-健診受診率】



8. 特定健診・特定保健指導の状況

8-3. 特定保健指導実施率 経年比較

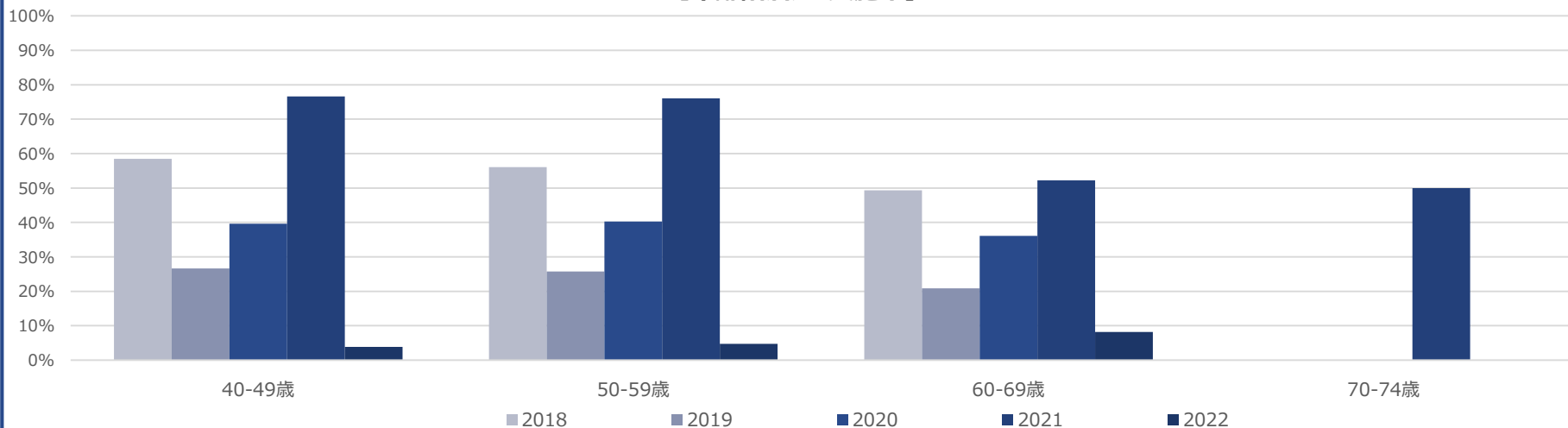
2018-2022年度

※40歳以上の特定健診対象者

※服薬などによる除外対象者も分母に含まれているため差異が発生します

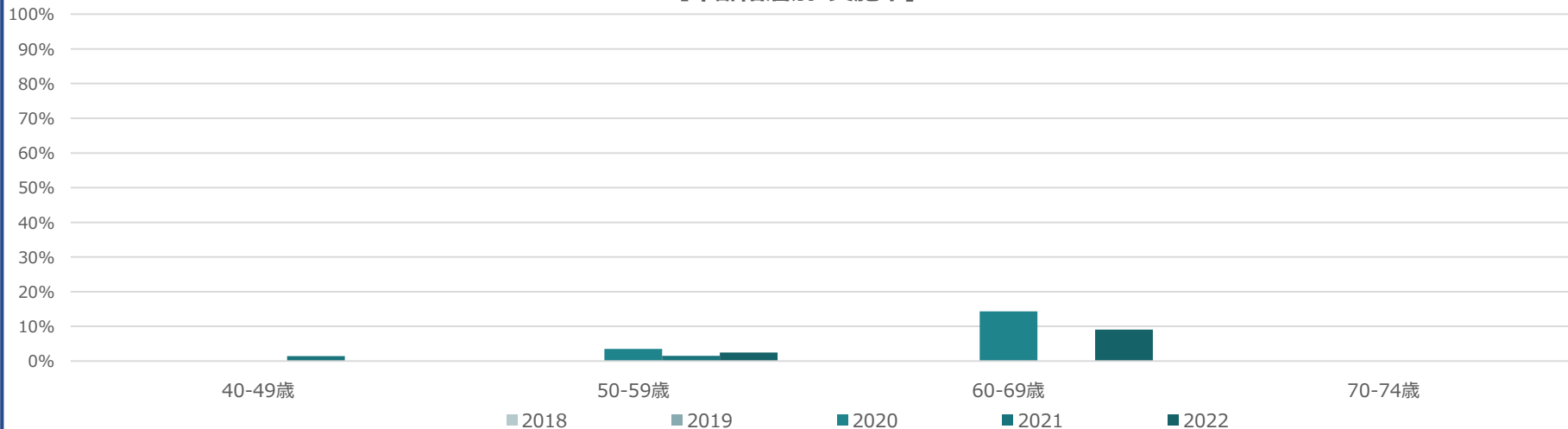
被保険者

【年齢階層別-実施率】



被扶養者

【年齢階層別-実施率】



8. 特定健診・特定保健指導の状況

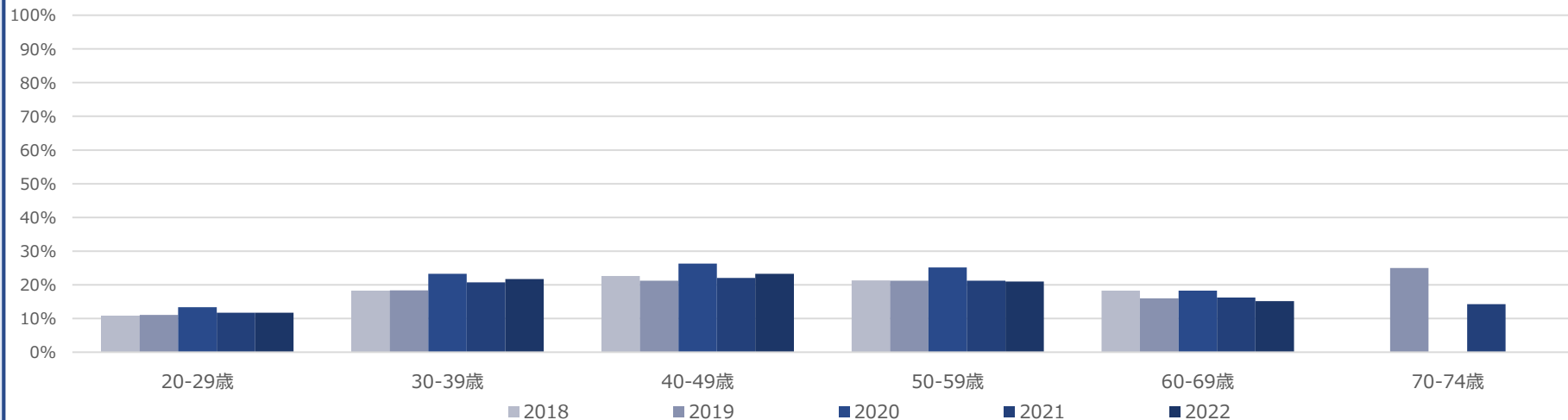
8-4. 40歳未満を含む保健指導該当率 経年比較

2018-2022年度

※分母は当該年度に在籍履歴がある方全員

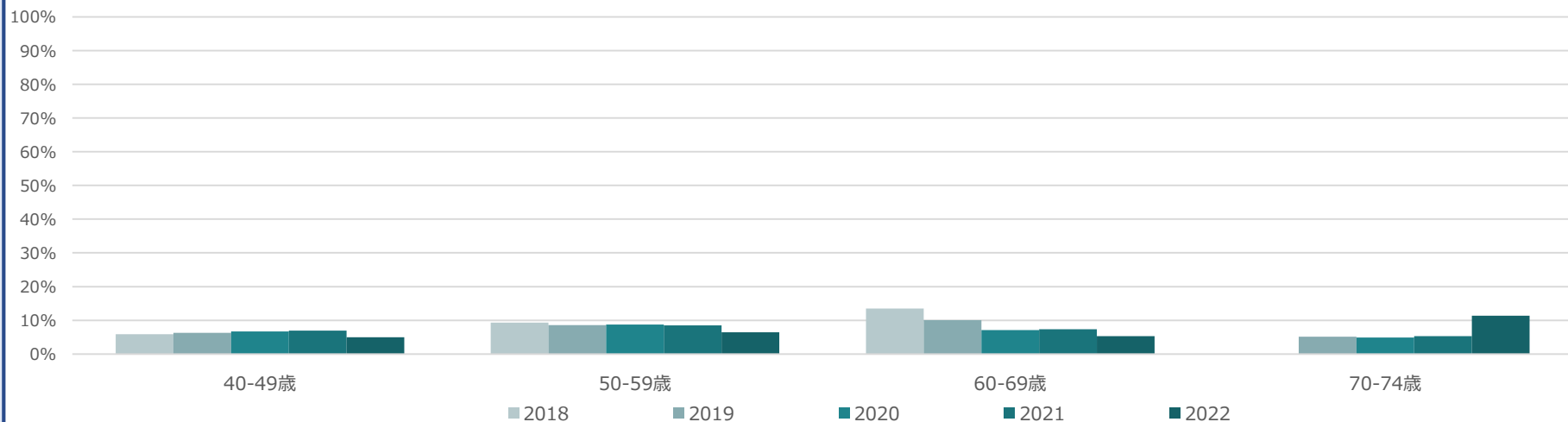
被保険者

【年齢階層別-保健指導該当率】



被扶養者

【年齢階層別-保健指導該当率】



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	キ	<p>【生活習慣】</p> <p>適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進アプリを利用したポピュレーションアプローチの強化 特定保健指導等リスク者へのアプローチの継続 ハイリスク者への介入 	✓
2	ア, ウ, エ	<p>【生活習慣病重症化疾患】</p> <p>生活習慣病、特に主要な3疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症）については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者への介入 軽度リスク者への介入 	✓
3	ク	<p>【特定健康診査受診状況】</p> <p>特定健康診査の受診率は、2021年度実績においては、被保険者・被扶養者とも、業態平均・全健保平均を上回っているが、扶養率が高いこともあり、加入者全体としては、84.1%と国の参酌基準を下回っている状況である。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者を中心とした受診率向上施策の実施 	✓
4	ウ, エ	<p>【がん】</p> <p>がんの罹患者の状況では、乳がんの罹患者が被保険者・被扶養者とも最も多く、医療費も高額で推移している。その一方で、被保険者男性の大腸がん、肺がん罹患者は増加し続けており、特に大腸がんの医療費は高騰している。罹患者の増加はがん検診の成果でもあるが、より早期発見・早期治療につなげることが重要となる。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> がん検診受診率の向上 要精密検査者の精密検査受診率の向上 	
5	ア	<p>【前期高齢者医療費】</p> <p>前期高齢者納付金については、令和6年度から1/3が総報酬割になるものの、引き続き2/3は当健保の前期高齢者医療費を元に算出される。当健保の高額医療費上位者やハイリスク者の状況を見ると、前期高齢者も多数存在している。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> 前期高齢者の医療費適正化施策の実行 	
6	ア	<p>【性年齢構成】</p> <p>被保険者は、2022年度においては、45歳～54歳が人数が多くなっており、第3期データヘルス計画の期間には50歳代がボリュームゾーンとなり、生活習慣病やがんなどの医療費の更なる高騰が想定される。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> 特に加齢による医療費への影響が大きい「生活習慣病」と「がん」への対策の強化 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・第2期で推進した「生活習慣の改善」と生活習慣の改善による「健康リスクの低減」をさらに推進する。

事業全体の目標

- ・特定健康診査受診率と特定保健指導実施率を国の参酌基準まで引き上げる。
- ・被保険者の健康意識の醸成と能動的な生活習慣の改善を図るために、事業主の健康経営と運動し、健康ポータルサイトと健康増進アプリの利用促進を図る。
- ・生活習慣の中でも喫煙は生活習慣病のみならずがんの主要な要因ともなり得るため、オンライン禁煙プログラムを積極的に推進する。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	生活習慣病重症化予防通知
保健指導宣伝	腎疾患リスク通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知
保健指導宣伝	8週間の運動記録チャレンジ
保健指導宣伝	電話健康相談
保健指導宣伝	健康ポータルサイト
保健指導宣伝	健康増進アプリ
保健指導宣伝	健診結果改善チャレンジ
保健指導宣伝	eラーニング
保健指導宣伝	重複受診・多剤処方通知
疾病予防	被保険者健康診断
疾病予防	被扶養者健康診断
疾病予防	3大疾病リスク検査 補助金制度
疾病予防	無料歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	禁煙外来治療補助金
疾病予防	オンライン禁煙プログラム
疾病予防	禁煙達成&支援・成功事例紹介ポイント
疾病予防	医薬品販売
体育奨励	ウォーキングラリー
その他	被扶養者電話健康指導

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連											
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度										
アウトプット指標												アウトカム指標																		
職場環境の整備																														
加入者への意識づけ																														
個別の事業																														
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40~74	基準該当者	1	エ,オ,キ,ク,ケ,サ	特定保健指導対象者に該当する40歳以上の被保険者に対し、初回面談及び継続支援を実施	ア,イ	事業主と連携し、就業時間内に事業所での面談を実施	43,400	-	-	-	-	-	【生活習慣】適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性には被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。 【生活習慣病重症化疾患】生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。											
													ICT面談実施被扶養者への指導を実施	ICT面談実施被扶養者への指導を実施	ICT面談実施被扶養者への指導を実施	ICT面談実施被扶養者への指導を実施	ICT面談実施被扶養者への指導を実施	ICT面談実施被扶養者への指導を実施		生活習慣病改善に関する指導の実施により、特定保健指導該当率の減少を図る。										
													指導完了率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：48.4% 令和7年度：50.7% 令和8年度：53.0% 令和9年度：55.3% 令和10年度：57.7% 令和11年度：60.0%) 国への実績報告値(被保険者+被扶養者)												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：30.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：30.0% 令和11年度：30.0%)-					
													-												高血圧予備群の状態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：73.5% 令和7年度：74.0% 令和8年度：74.5% 令和9年度：75.0% 令和10年度：75.5% 令和11年度：76.0%)-					
													-												糖尿病予備群の状態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：96.8% 令和7年度：97.0% 令和8年度：97.0% 令和9年度：97.0% 令和10年度：97.0% 令和11年度：97.0%)-					
													-												脂質異常症候群の状態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：74.4% 令和7年度：74.9% 令和8年度：75.4% 令和9年度：75.9% 令和10年度：76.4% 令和11年度：76.9%)-					
													-												肥満解消率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10.6% 令和7年度：11.1% 令和8年度：11.6% 令和9年度：12.1% 令和10年度：12.6% 令和11年度：13.1%)-					
保健指導宣伝	4	既存	生活習慣病重症化予防通知	全て	男女	18~74	基準該当者	1	イ,エ,キ,ク	健康診断の結果、生活習慣病のリスクが高いと判断された者に対し、医療機関の受診を勧奨	カ	被保険者：健康ポータルサイト・封書での通知 被扶養者：封書での通知	50	-	-	-	-	-	【生活習慣病重症化疾患】生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。											
													通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与		生活習慣病リスクのある者に対する受診勧奨により、放置による重症疾患受療率を下げる。										
													受診勧奨者の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：19.0% 令和7年度：20.0% 令和8年度：21.0% 令和9年度：22.0% 令和10年度：23.0% 令和11年度：24.0%) 3大生活習慣病：血糖・脂質・血圧												高血圧疾患群の病態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：59.9% 令和7年度：60.4% 令和8年度：60.9% 令和9年度：61.4% 令和10年度：61.9% 令和11年度：62.4%)-					
													受診勧奨者の受診率対象者の医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：90.5% 令和7年度：91.0% 令和8年度：91.5% 令和9年度：92.0% 令和10年度：92.5% 令和11年度：93.0%)-												糖尿病疾患群の病態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：32.6% 令和7年度：33.1% 令和8年度：33.6% 令和9年度：34.1% 令和10年度：34.6% 令和11年度：35.1%)-					
													-												脂質異常症疾患群の病態コントロール割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：44.6% 令和7年度：45.1% 令和8年度：45.6% 令和9年度：46.1% 令和10年度：46.6% 令和11年度：47.1%)-					
-												50																		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
4	新規	腎疾患リスク通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ,キ,ク	将来慢性腎臓病を発症するリスクの高いと判断された者に、専門医の受診を勧奨する通知を送付	カ	封書送付により通知	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	医療機関受診の勧奨	将来慢性腎臓病（CKD）を発症するリスクの高い方に医療機関の受診を勧奨することにより、人工透析が必要となる慢性腎不全等の重大疾病を予防する。	【生活習慣病重症化疾患】生活習慣病、特に主要な3疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症）については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。
通知対象人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：48人 令和8年度：46人 令和9年度：44人 令和10年度：42人 令和11年度：40人)-												CKD患者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：180人 令和7年度：175人 令和8年度：170人 令和9年度：165人 令和10年度：160人 令和11年度：155人)-								
7	既存	ジェネリック医薬品差額通知	全て	男女	17～74	基準該当者	1	エ,キ,ク	ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減見込み者に通知	シ	健康ポータルサイト内の健康情報通知機能及び封書送付により通知	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	通知確認者へのインセンティブ付与	調剤費の抑制	該当なし
WEB閲覧率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20.0% 令和7年度：22.0% 令和8年度：24.0% 令和9年度：26.0% 令和10年度：28.0% 令和11年度：30.0%)-												ジェネリック利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：83.5% 令和7年度：83.6% 令和8年度：83.7% 令和9年度：83.8% 令和10年度：83.9% 令和11年度：84.0%)-								
2	既存	8週間の運動記録チャレンジ	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,エ,キ,ケ	エクササイズ動画視聴やランニング・サイクリング等の運動記録を実施	ア	健康増進アプリ内の運動メニューへの記録によりインセンティブポイント付与	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	運動習慣化による肥満改善・生活習慣病予防・健康維持増進	【生活習慣】適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
運動記録割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：8.0% 令和7年度：8.5% 令和8年度：9.0% 令和9年度：9.5% 令和10年度：10.0% 令和11年度：10.5%)-												健診における運動に関する問診の改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12.5% 令和7年度：13.0% 令和8年度：13.5% 令和9年度：14.0% 令和10年度：14.5% 令和11年度：15.0%)-								
6	既存	電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	24時間無料の電話健康相談及び電話・面接によるメンタルヘルスカウンセリング	ウ,シ	匿名での相談・カウンセリング実施	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	母体企業イントラでの相談件数公開による事業周知	事業の十分な周知により相談件数増加を図り、心身の健康維持・増進を目指す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
広報回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												相談件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：400件 令和7年度：400件 令和8年度：400件 令和9年度：400件 令和10年度：400件 令和11年度：400件)-								
2,5	既存	健康ポータルサイト	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,エ	マイページよりWEB上で自身の健康情報を通知・保健事業参加によりインセンティブポイント付与	ク	メール又は封書による登録案内送付	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	新規メニュー導入検討登録促進	健康ポータルサイト上での医療費通知・補助金申請・健診結果閲覧、その他健康チャレンジ等の実施により、利便性・健康リテラシーの向上を図る。	該当なし
登録率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80.0% 令和7年度：82.0% 令和8年度：84.0% 令和9年度：86.0% 令和10年度：88.0% 令和11年度：90.0%)-												肥満リスク保有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：41.2% 令和7年度：39.7% 令和8年度：39.2% 令和9年度：38.7% 令和10年度：38.2% 令和11年度：37.7%)-								
活用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30.0% 令和7年度：34.0% 令和8年度：38.0% 令和9年度：42.0% 令和10年度：46.0% 令和11年度：50.0%)【分子】 月1回以上ログインしたユーザー数（アクティブユーザー数）【分母】 ポータルサイトの登録者数												血圧リスク保有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23.4% 令和7年度：22.9% 令和8年度：22.4% 令和9年度：21.9% 令和10年度：21.4% 令和11年度：20.9%)-								
												血糖リスク保有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22.5% 令和7年度：22.0% 令和8年度：21.5% 令和9年度：21.0% 令和10年度：20.5% 令和11年度：20.0%)-								
												脂質リスク保有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：55.5% 令和7年度：54.5% 令和8年度：53.5% 令和9年度：52.5% 令和10年度：51.5% 令和11年度：50.5%)-								
												肝機能リスク保有率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：32.1% 令和7年度：31.6% 令和8年度：31.1% 令和9年度：30.6% 令和10年度：30.1% 令和11年度：29.6%)-								
4,000																				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
2,5	既存	健康増進アプリ	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ	アプリをダウンロード・登録の上、運動習慣化・食生活改善につながる各種コンテンツ・プログラムにより生活習慣改善をサポート	ア,ク	加入者にてアプリをダウンロードの上、各自登録実施	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	母体企業イントラ・社内報等での周知	訴求力のある健康増進ツールにより、加入者の健康意識向上・行動変容を図る。	【生活習慣】適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
登録率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：25.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：35.0% 令和9年度：40.0% 令和10年度：45.0% 令和11年度：50.0%)-												翌年度健診における生活習慣の問診改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22.1% 令和7年度：22.6% 令和8年度：23.1% 令和9年度：23.6% 令和10年度：24.1% 令和11年度：24.6%)-							
利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5% 令和7年度：6% 令和8年度：7% 令和9年度：8% 令和10年度：9% 令和11年度：10%)【分子】週2回以上アクセス者数【分母】登録人数												運動習慣リスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65.1% 令和7年度：63.1% 令和8年度：61.1% 令和9年度：59.1% 令和10年度：57.1% 令和11年度：55.1%)-							
-												食事習慣リスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：62.4% 令和7年度：60.4% 令和8年度：58.4% 令和9年度：56.4% 令和10年度：54.4% 令和11年度：52.4%)-							
-												飲酒習慣リスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：14.0% 令和7年度：13.5% 令和8年度：13.0% 令和9年度：12.5% 令和10年度：12.0% 令和11年度：11.5%)-							
-												睡眠習慣リスク保有者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：33.7% 令和7年度：33.2% 令和8年度：32.7% 令和9年度：32.2% 令和10年度：31.7% 令和11年度：31.2%)-							
2,3	既存	健診結果改善チャレンジ	全て	男女	17～74	被保険者	1	ア,エ,キ	健診受診後、前年からの改善程度に応じてポイント付与	ク	健康状態の改善程度に応じて健康ポータルサイト内でインセンティブポイント付与	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	結果閲覧促進 値未改善者への改善促進 インセンティブポイント付与条件の見直し	目標を持った健診受診・自発的な健康増進意識の向上を目指す。	【生活習慣病重症化疾患】生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。
改善チャレンジ結果WEB閲覧率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10.0% 令和7年度：12.0% 令和8年度：14.0% 令和9年度：16.0% 令和10年度：18.0% 令和11年度：20.0%)健診結果改善チャレンジページの閲覧ユーザー数/登録者数												健診値改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：11.0% 令和7年度：12.0% 令和8年度：13.0% 令和9年度：14.0% 令和10年度：15.0% 令和11年度：16.0%)「大幅改善者」及び「改善者」と判断された者の割合							
5	既存	eラーニング	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ,ケ	健康ポータルサイト内のeラーニング機能を活用し「プレテスト・学習コース・確認テスト」を実施	ク	健康ポータルサイト内の「Pep Up learning」より実施	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	母体企業イントラ・社内報等での周知 事業主との連携	ヘルスリテラシー向上及び健康に関する知識習得の機会提供を図る。	【生活習慣】適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5.0% 令和7年度：6.0% 令和8年度：7.0% 令和9年度：8.0% 令和10年度：9.0% 令和11年度：10.0%)-												翌年度健診における生活習慣の問診改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22.1% 令和7年度：22.6% 令和8年度：23.1% 令和9年度：23.6% 令和10年度：24.1% 令和11年度：24.6%)-							
5	新規	重複受診・多剤処方通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ク	医療機関への重複受診・多剤処方対象者への通知送付	カ	封書送付により通知	改善同意の取得	改善同意の取得	改善同意の取得	改善同意の取得	改善同意の取得	改善同意の取得	医療機関への重複受診及び重複・多剤処方を防ぐことで、健康上の悪影響を防止する。	該当なし
改善同意取得率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100.0% 令和7年度：100.0% 令和8年度：100.0% 令和9年度：100.0% 令和10年度：100.0% 令和11年度：100.0%)多剤処方該当者の改善同意取得率												重複・多剤投薬の患者割合重複投薬率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.2% 令和7年度：0.2% 令和8年度：0.2% 令和9年度：0.2% 令和10年度：0.2% 令和11年度：0.2%)-							
-												重複・多剤投薬の患者割合多剤投薬率(6剤)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：28.6% 令和7年度：28.5% 令和8年度：28.4% 令和9年度：28.3% 令和10年度：28.2% 令和11年度：28.1%)-							
-												重複・多剤投薬の患者割合多剤投薬率(15剤)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.7% 令和7年度：0.7% 令和8年度：0.6% 令和9年度：0.6% 令和10年度：0.5% 令和11年度：0.5%)-							
-												重複・多剤投薬の患者割合多剤投薬率(10剤)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：8.1% 令和7年度：8.0% 令和8年度：7.9% 令和9年度：7.8% 令和10年度：7.7% 令和11年度：7.6%)-							
505,000																			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
疾病予防	3	既存(法定)	被保険者健康診断	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ,サ	事業主からの委託により、労働安全衛生法上の定期健康診断に加え、年齢・性別等に応じ、がん検査等法定外検査を実施	ア,イ,カ	提携医療機関での通院形式による健診受診	アウトプット指標					アウトカム指標					<p>【がん】 がんの罹患者の状況では、乳がんの罹患者が被保険者・被扶養者とも最も多く、医療費も高額で推移している。その一方で、被保険者男性の大腸がん、肺がん罹患者は増加し続けており、特に大腸がんの医療費は高騰している。罹患者の増加はがん検診の成果でもあるが、より早期発見・早期治療につなげることが重要となる。</p> <p>【特定健康診査受診状況】 特定健康診査の受診率は、2021年度実績においては、被保険者・被扶養者とも、業態平均・全健保平均を上回っているが、扶養率が高いこともあり、加入者全体としては、84.1%と国の参酌基準を下回っている状況である。</p> <p>【生活習慣病重症化疾患】 生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。</p>
													特定健診受診率(被保険者) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：97.2% 令和7年度：97.5% 令和8年度：97.8% 令和9年度：98.1% 令和10年度：98.4% 令和11年度：98.7%)-	内臓脂肪症候群該当者割合 (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：18.2% 令和7年度：18.0% 令和8年度：17.8% 令和9年度：17.6% 令和10年度：17.4% 令和11年度：17.2%)-									
													肺がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：95.3% 令和7年度：95.8% 令和8年度：96.3% 令和9年度：96.8% 令和10年度：97.3% 令和11年度：97.8%)-	特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：21.2% 令和7年度：21.0% 令和8年度：20.8% 令和9年度：20.6% 令和10年度：20.4% 令和11年度：20.2%)-									
													大腸がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：96.6% 令和7年度：97.1% 令和8年度：97.6% 令和9年度：98.1% 令和10年度：98.6% 令和11年度：99.1%)-	5大がんの精密検査受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：73.0% 令和7年度：74.0% 令和8年度：75.0% 令和9年度：76.0% 令和10年度：77.0% 令和11年度：78.0%)-									
													胃がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：91.1% 令和7年度：91.6% 令和8年度：92.1% 令和9年度：92.6% 令和10年度：93.1% 令和11年度：93.6%)-										
													乳がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：95.1% 令和7年度：95.6% 令和8年度：96.1% 令和9年度：96.6% 令和10年度：97.1% 令和11年度：97.6%)-										
													子宮がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：84.0% 令和8年度：85.0% 令和9年度：86.0% 令和10年度：87.0% 令和11年度：88.0%)-										

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3		既存(法定)	被扶養者健康診断	全て	男女	16～74	被扶養者,任意継続者	1	ケ	特定健康診査・婦人科系がん検査(乳がん・子宮頸がん)を実施	ア,カ	全国の提携医療機関・ホテル等会場での健診受診	事業主・被保険者を通じた受診促進	事業主・被保険者を通じた受診促進	事業主・被保険者を通じた受診促進	事業主・被保険者を通じた受診促進	事業主・被保険者を通じた受診促進	事業主・被保険者を通じた受診促進	がん検診を含めた健診受診により、疾病の早期発見・早期治療につなげる。	【がん】 がんの罹患者の状況では、乳がんの罹患者が被保険者・被扶養者とも最も多く、医療費も高額で推移している。その一方で、被保険者男性の大腸がん、肺がん罹患者は増加し続けており、特に大腸がんの医療費は高騰している。罹患者の増加はがん検診の成果でもあるが、より早期発見・早期治療につなげることが重要となる。 【特定健康診査受診状況】 特定健康診査の受診率は、2021年度実績においては、被保険者・被扶養者とも、業態平均・全健保平均を上回っているが、扶養率が高いこともあり、加入者全体としては、84.1%と国の参酌基準を下回っている状況である。 【生活習慣病重症化疾患】 生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。
特定健診受診率(被扶養者) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：45.7% 令和7年度：48.9% 令和8年度：52.0% 令和9年度：55.1% 令和10年度：58.1% 令和11年度：61.1%)-												内臓脂肪症候群該当者割合 (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3.6% 令和7年度：3.6% 令和8年度：3.5% 令和9年度：3.5% 令和10年度：3.4% 令和11年度：3.4%)-								
肺がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：43.6% 令和7年度：46.6% 令和8年度：49.6% 令和9年度：52.6% 令和10年度：55.6% 令和11年度：58.6%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5.6% 令和7年度：5.6% 令和8年度：5.5% 令和9年度：5.5% 令和10年度：5.4% 令和11年度：5.4%)-								
大腸がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：43.6% 令和7年度：46.6% 令和8年度：49.6% 令和9年度：52.6% 令和10年度：55.6% 令和11年度：58.6%)-																				
胃がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：18.0% 令和7年度：23.0% 令和8年度：28.0% 令和9年度：33.0% 令和10年度：38.0% 令和11年度：43.0%)-																				
乳がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：35.5% 令和7年度：38.5% 令和8年度：41.5% 令和9年度：44.5% 令和10年度：47.5% 令和11年度：50.5%)-																				
子宮がん検診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：29.8% 令和7年度：32.8% 令和8年度：35.8% 令和9年度：38.8% 令和10年度：41.8% 令和11年度：44.8%)-																				
3		既存	3大疾病リスク検査補助金制度	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ,ケ	保険適用外で受検した3大疾病(がん・心疾患・脳血管疾患)の早期発見を目的とした検査費用に対する補助金支給	ア	・健康ポータルサイト内の補助金メニューにより申請 ・検査費用の70%(上限:35,000円)を補助	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	3大疾病(がん・心疾患・脳血管疾患)関連の検査受診機会の拡充を通じて、疾病早期発見による就業機会損失を防ぐ。	【生活習慣病重症化疾患】 生活習慣病、特に主要な3疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症)については、50代男性の保有者が最も多く、保有率も急上昇している世代である。また、高額医療費の状況を見ても、50歳代で生活習慣病の重症化により、医療費が急増している者が多数いる。今後、上記3のとおり、50代男性が性年齢構成上、最も人数が多い世代となることが見込まれることから、保有率、保有者数も増加し、それに伴い重症化疾患も増加することが想定される。
費用補助割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.0% 令和7年度：1.4% 令和8年度：1.8% 令和9年度：2.2% 令和10年度：2.6% 令和11年度：3.0%)-												受診者一人当たり医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：275千円 令和7年度：270千円 令和8年度：265千円 令和9年度：260千円 令和10年度：255千円 令和11年度：250千円)-								
3		既存	無料歯科健診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ウ,エ,ケ	歯科疾患の早期発見を目的に無料健診実施	カ	歯科健診センターへWEB申込み後、全国提携歯科医院で受診 受診者には健康ポータルサイト内にてインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	健保組合HP・母体企業イントラ及び社内報等で周知 受診者へのインセンティブポイント付与	歯科健診受診により異常放置を防止し、医療費抑制を図る。	該当なし
利用者(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：60人 令和8年度：70人 令和9年度：80人 令和10年度：90人 令和11年度：100人)-												無料歯科健診受診者の通院率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：71.0% 令和7年度：72.0% 令和8年度：73.0% 令和9年度：74.0% 令和10年度：75.0% 令和11年度：76.0%)-								
19,660																				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
8	既存	インフルエンザ予防接種補助金	全て	男女	0～64	加入者全員	1	キ,ケ,サ	インフルエンザ予防接種費用に対し補助金支給	ア,カ	健康ポータルサイト内の補助金申請（任意医療機関での接種）又は事業所集団接種申請により支給	接種促進	接種促進	接種促進	接種促進	接種促進	接種促進	インフルエンザ集団感染に伴う従業員の労働力損失を防ぐ。	該当なし
接種率（被保険者）（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23.0% 令和7年度：24.0% 令和8年度：25.0% 令和9年度：26.0% 令和10年度：27.0% 令和11年度：28.0%）-												インフルエンザ罹患率（被保険者）（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.5% 令和7年度：1.5% 令和8年度：1.4% 令和9年度：1.4% 令和10年度：1.3% 令和11年度：1.3%）-							
5	既存	禁煙外来治療補助金	全て	男女	20～74	被保険者	1	エ,ク,ケ	禁煙を目的とした外来治療費用に対する補助金支給	ア	健康ポータルサイト内の補助金申請メニューにより申請	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供 新規事業の導入検討	禁煙外来治療に対する補助金制度、事業主と協働による禁煙取組みにより、喫煙率を減少させる。	【生活習慣】 適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
利用者（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15人 令和7年度：15人 令和8年度：15人 令和9年度：15人 令和10年度：15人 令和11年度：15人）-												喫煙率（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：31.3% 令和7年度：29.6% 令和8年度：27.9% 令和9年度：26.3% 令和10年度：24.6% 令和11年度：23.5%）-							
-												補助金受給者数対喫煙者数（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.26% 令和7年度：0.27% 令和8年度：0.27% 令和9年度：0.27% 令和10年度：0.28% 令和11年度：0.28%）-							
5	新規	オンライン禁煙プログラム	全て	男女	35～55	被保険者、基準該当者	1	エ,キ,ク,ケ	以下の利用条件を満たす者に対して案内メールを送信。希望者が自身で申込 ①勤続年数5年以上 ②35～55歳喫煙者 ③特定保健指導対象者もしくはプリンクマン指数400以上またはその両方に該当	ア,ウ	オンライン診療アプリを活用しweb環境で2か月間に4回診察実施・診察後に禁煙薬配送・診察終了後10か月のアフターケア実施	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	健保HP、母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	喫煙者に対する禁煙機会提供により喫煙率を減少させる。	【生活習慣】 適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
受診率（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.2% 令和7年度：1.6% 令和8年度：2.0% 令和9年度：2.4% 令和10年度：2.8% 令和11年度：3.2%）-												受診者卒煙率（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：90.0% 令和7年度：90.0% 令和8年度：90.0% 令和9年度：90.0% 令和10年度：90.0% 令和11年度：90.0%）-							
5	新規	禁煙達成&支援・成功事例紹介ポイント	全て	男女	20～74	被保険者	1	ア,ケ	禁煙成功者・支援者及び禁煙成功事例紹介者にポイント付与 ※禁煙成功者：禁煙外来治療やその他の方法で禁煙に成功した被保険者 禁煙支援者：禁煙成功者に対して禁煙支援を行った家族・同僚等	シ	健康ポータルサイト内の補助金申請メニューにより申請	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	母体企業イントラ・社内報等での周知 会社別喫煙率目標値の公開 ピンポイントでの情報提供	禁煙支援者へのインセンティブ付与により周囲の協力・支援を受けた禁煙活動の促進	【生活習慣】 適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。
事例紹介人数（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：12人 令和8年度：14人 令和9年度：16人 令和10年度：18人 令和11年度：20人）-												喫煙率（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：31.3% 令和7年度：29.6% 令和8年度：27.9% 令和9年度：26.3% 令和10年度：24.6% 令和11年度：23.5%）-							
8	既存	医薬品販売	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ,キ	セルフメディケーション推進を目的に医薬品を安価に販売（一部の医薬品に健保補助）	コ	専用サイトにログインし、医薬品を購入	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	販売商品・健保補助額等見直し 販売促進	安価での医薬品斡旋によりセルフメディケーションを推奨し、薬剤費の増額を防ぐ。	該当なし
購入率（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12.0% 令和7年度：13.0% 令和8年度：14.0% 令和9年度：15.0% 令和10年度：16.0% 令和11年度：17.0%）-												購入世帯の医療費割合（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98.0% 令和7年度：97.0% 令和8年度：96.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：94.0% 令和11年度：93.0%）-							
8,420												-	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
体育奨励	5	既存	ウォーキングラリー	全て	男女	6～74	被保険者	1	ア,エ,キ,ケ	運動習慣化による生活習慣病予防を目的にウォーキングラリー実施	ア	健康ポータルサイト内の参加によりインセンティブポイント付与	達成基準見直し事業主との連携	達成基準見直し事業主との連携	達成基準見直し事業主との連携	達成基準見直し事業主との連携	達成基準見直し事業主との連携	達成基準見直し事業主との連携	チーム戦を含むキャンペーンの実施により、運動習慣の定着化を図る	【生活習慣】適切な生活習慣の保有者割合を業態平均と全健保平均と比較した場合、特に喫煙習慣と食事習慣において、平均との乖離が大きく悪い状況である。喫煙率については、徐々に改善してはいるものの、男性は若年層から高く、被保険者女性性は被扶養者女性と比較して2倍程度高い状況であり、被保険者の喫煙率の高さが際立っている。食事習慣については、若年層ほど適切な食事習慣ではない状況となっていることから、今後さらに悪化していくことも想定される。	
参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10.0% 令和7年度：12.0% 令和8年度：14.0% 令和9年度：16.0% 令和10年度：18.0% 令和11年度：20.0%)-												健診における運動に関する問診の改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12.5% 令和7年度：13.0% 令和8年度：13.5% 令和9年度：14.0% 令和10年度：14.5% 令和11年度：15.0%)-									
目標達成率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：60.0% 令和7年度：62.0% 令和8年度：64.0% 令和9年度：66.0% 令和10年度：68.0% 令和11年度：70.0%)-																					
その他	4,5	既存	被扶養者電話健康指導	全て	男女	60～73	その他	1	ウ,キ,ケ	高齢者の健康増進を目的に生活習慣・医療機関受診・服薬等に関する健康指導を実施	ア,イ	対象者に対し、電話による健康指導を実施	被保険者を通じた電話指導促進	6,600	-	-	-	-	-	面談実施による健康支援により、一人当たり医療費の低下を図る。	【前期高齢者医療費】前期高齢者納付金については、令和6年度から1/3が総報酬割になるものの、引き続き2/3は当健保の前期高齢者医療費を元に算出される。当健保の高額医療費上位者やハイリスク者の状況を見ると、前期高齢者も多数存在している。
実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50.0% 令和7年度：52.0% 令和8年度：54.0% 令和9年度：56.0% 令和10年度：58.0% 令和11年度：60.0%)-												高血圧予備群の状態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：69.3% 令和7年度：69.8% 令和8年度：70.3% 令和9年度：70.8% 令和10年度：71.3% 令和11年度：71.8%)-									
												糖尿病予備群の状態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：97.2% 令和7年度：97.4% 令和8年度：97.6% 令和9年度：97.8% 令和10年度：98.0% 令和11年度：98.2%)-									
												脂質異常症候群の状態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：75.5% 令和7年度：76.0% 令和8年度：76.5% 令和9年度：77.0% 令和10年度：77.5% 令和11年度：78.0%)-									
												高血圧疾患群の病態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50.1% 令和7年度：51.1% 令和8年度：52.1% 令和9年度：53.1% 令和10年度：54.1% 令和11年度：55.1%)-									
												糖尿病疾患群の病態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：57.6% 令和7年度：58.1% 令和8年度：58.6% 令和9年度：59.1% 令和10年度：59.6% 令和11年度：60.1%)-									
												脂質異常症疾患群の病態コントロール割合 (60歳以上) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：53.7% 令和7年度：54.7% 令和8年度：55.7% 令和9年度：56.7% 令和10年度：57.7% 令和11年度：58.7%)-									

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他